

# 演劇ぶっく

## 古田新太

[表紙のヒト]

全方向から  
見せます!

特集

『Drop』小林賢太郎  
『UFO』近藤良平  
『アマツカゼ』大野智  
『I WANT YOU I WANT YOU』  
加藤啓 辻修 中村まこと 中村たかし



[ロングインタビュー] 高橋洋

『さらば、わが愛 霸王別姫』東山紀之  
キャラメルボックス『きみがいた時間 ぼくのいく時間』上川隆也×坂口理恵





演出 サタケミキオ

コト・バニ・デ・キ・ナ・イ……

カ  
ゆう



永井 大  
越村 友一  
飯島 ぼほ  
永田 恵悟  
西村 清孝  
森本 信江  
川又 麻衣子  
丸山 麗  
武藤 晃子  
篠原 あさみ  
杉田 吉平  
浜丘 麻矢  
いとう あいこ  
木下 智恵  
宅間 孝行

「歌姫」に続いて、ファン待望の「タ」が再々演！  
長崎にある海の家兼民宿「あいかわ」には地元で「長崎のキングギドラ」と異名を取り恐れられる暴れん坊のヤンキー三兄弟がいた。相川欣弥、元弥、雅弥の三人だ。「あいかわ」の隣に住む幼なじみの三上タは次男坊の元弥「もっちゃん」にずっと恋心を抱いていた…。しかし当のもっちゃんはそんなタの想いをよそに、タの親友である薫に恋心を抱く。そして薫は、元弥の親友塩谷に恋をしていて…

東京公演 シアターサンモール 2008年 6月18日(水)～7月13日(日)  
新宿区新宿1-19-10 サンモールクレストB1 Tel.03-3352-5577  
(地下鉄丸の内線 新宿御苑駅 大木戸方面出口より徒歩3分)

| 6/18           | 19  | 20 | 21 | 22 |
|----------------|-----|----|----|----|
| 13:00<br>18:00 | ○   | ○  | ○  | ●  |
| 23             | 24  | 25 | 26 | 27 |
| 休演日            | ○   | ○  | ○  | ○  |
| 30             | 7/1 | 2  | 3  | 4  |
| 休演日            | ○   | ○  | ○  | ○  |
| 7              | 8   | 9  | 10 | 11 |
| ○              | ○   | ○  | ○  | ○  |

【問い合わせ】キョードー東京 03-3498-9999 <http://www.kyodotokyo.com>

大阪公演 そごう劇場 2008年 7月19日(土)～27日(日)  
大阪市中央区心斎橋筋1丁目8番3号そごう心斎橋本店14F  
(地下鉄御堂筋線・長堀鶴見緑地線 心斎橋駅 南北改札出口すぐ)

| 7/19                       | 20 |
|----------------------------|----|
| 13:00 14:00<br>18:00 19:00 | ●  |
| 21                         | 22 |
| ○                          | ○  |
| 23                         | 24 |
| ○                          | ○  |
| 25                         | 26 |
| ○                          | ○  |
| 27                         |    |
| ○                          |    |

【問い合わせ】テレビ大阪事業局 06-6947-1912 <http://www.tv-osaka.co.jp/event/>  
キョードーチケットセンター 06-7732-8888 <http://kyodo-osaka.co.jp>

料金 前売・当日 ¥4500(税込)  
全席指定  
2008年4月5日(土)発売 (東京・大阪公演初日より先着2008名様にプレゼントあり!!)

主催 (東京)東京セレンディパックス/(大阪)テレビ大阪  
企画制作 オフィスセレン/ピクチャーエンタテインメント  
協力 チアーズ/キョードー東京/キョードー大阪  
宣伝協力 プロジェクト・ブリーダー/ディップス・プラネット

<http://www.ts-dx.com/>  
東京セレクト  
TOKYO SELECTION DELUXE

太平洋戦争前夜、  
日本を守ろうとした男がいた。

作 木下順二 演出 鶴山 仁

# オットーと呼ばれる日本人

世界を震撼させた20世紀最大のスパイ事件といわれる

“ゾルゲ事件”をもとに、

日本の将来を憂い、信念を持ってスパイ活動に関わった

尾崎秀実の生き方に劇作家・木下順二が焦点をあてた不朽の名作。

日本人のアイデンティティを現代に問う！

5月27日(火)～6月8日(日) 中劇場

S席6,300円 A席5,250円 B席3,150円

|      | 5/27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 6/1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|------|------|----|----|----|----|-----|---|---|---|---|---|---|---|
| 1:00 |      |    |    |    | ●  | ●   | 休 | 貸 |   |   |   | ● | ● |
| 2:00 |      |    | ●  |    |    |     |   | 演 | ☆ |   |   |   |   |
| 7:00 | ●    | ●  |    | ●  |    |     |   |   | ● | ● | ● |   |   |

☆終演後シアター・トーク有 \*託児室有

## シリーズ・同時代 — 注目の若手劇作家3人の新作に、異世代の演出家が挑む！—

失われた海をめぐる、ある家族の夏…

Vol.1 鳥瞰図—ちようかんず—

作 早船 聡 × 演出 松本祐子

出演：渡辺美佐子 浅野和之 野村佑香 八十田勇一  
弘中麻紀 浅野雅博 佐藤銀平 品川 徹



渡辺美佐子



浅野和之

| 6/11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 水    | 金  | 土  | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  |    |
| ●    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| ●    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| ●    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |

男女4人による夢のような大人のメルヘン

Vol.2 混じりあうこと、消えること

作 前田 司郎 × 演出 白井 晃

出演：園村 隼 橋爪 遼 初音映莉子 南 果歩



園村 隼



南 果歩

| 6/27 | 28 | 29 | 30 | 7/1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|------|----|----|----|-----|---|---|---|---|---|
| 金    | 土  | 日  | 月  | 火   | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| ●    | ○  | ○  | ○  | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ●    | ○  | ○  | ○  | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ●    | ○  | ○  | ○  | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

「生命」を語る6人の女たち それは祭りの夜物語…

Vol.3 まほろば

作 蓬萊電太 × 演出 栗山民也

出演：秋山菜津子 中村たつ 三田和代  
魏 涼子 前田亜季 黒沢ともよ



秋山菜津子



三田和代

| 7/14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|
| 月    | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  |
| ●    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| ●    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| ●    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |

☆終演後シアター・トーク有 \*託児室有

料金 ■A席5,250円 B席3,150円(全演目共通)

■【シリーズ・同時代3作品 特別割引通し券】3演目のお得なA席セット 14,250円(正価15,750円のところ)

好評発売中

チケットのお申し込み ボックスオフィス

03-5352-9999

<http://www.nntt.jac.go.jp>

ぴあ/イープラス/チケットWeb松竹/CN/ローソン

新国立劇場  
NEW NATIONAL THEATRE TOKYO

2007/2008シーズン・特別支援企業グループ

KONAMI TBS TOYOTA ぴあ ROHM/D-L





全方向から  
見せます!

[Kentarō Kobayashi  
Solo Performance Live Potsunen 2008]

# Drop

小林賢太郎  
野口毅、徳澤青弦

[コンドルズ]  
UFO

近藤良平、勝山康晴、小林顕作  
筒井昭善・坂本昭浩・原嶋紘平

[プーシリーズEpisode 1]  
アマツカゼ



大野智、きだつよし  
清家利一  
川口夏江  
松林克明

[モッカモッカ]  
I WANT YOU  
I WANT YOU

加藤啓・辻修  
中村まこと・中村たかし

俳優達の現在  
[赤坂RED/REVOLUTION] 東京  
[STAR Chart Project] TDL×USJ  
[はなとゆめ] はなとゆめとお菓子  
[TPT] ミステリア・ブッフ

シバのミカタ  
『ジャックとその主人』/ MONO / Quantum Leap\*  
『WILDE BEAUTY 〜オスカー・ワイルド、或いは幸せの王子〜』  
黒色綺譚カナリア派 / 『御前会議』

## 表紙のヒト ● 004 古田新太

[シアターコクーン・オン・レパトリー2008]  
さらば、わが愛 覇王別姫  
東山紀之

[演劇集団キャラメルボックス]  
きみがいた時間  
ぼくのいく時間

上川隆也・坂口理恵



[サモ・アリナンス]  
洞海湾 九州任侠外伝—  
小松和重・久ヶ沢徹

CLOSE-UP STAGE ●  
劇団EXILE  
『CROWN〜眠らない、夜の果てに…』  
HIRO・MATSU・USA・岡村俊一

NACSTYLE / PAGE.3  
大泉洋・内田けんじ

TAKARAZUKA 2008 NEW SCENE ●  
鳳稀かなめ、大月さゆ、愛原実花

[燐光群] だるまさんがころんだ / 坂手洋二

Power Push!  
チェルフィッチュ / ボツドール / 五反田団  
メタリック農家 / H・アール・カオス / 『春琴』

ロングインタビュー  
高橋洋

特捜! えんぶスクープ関西版 吉永美和子

インディ高橋のPatchy小道具研究所R

連載読み切り小説『蠅男』第八章 サナギマンⅢ 赤堀雅秋

えんぶ情報館  
束から1枚 / 久住昌之  
栗根まことの人物ウォッチング / 八代進一  
素晴らしきギャグ人生2008 / 西川浩幸  
フロム・リーダーズ  
プレゼント広場

[表紙MODEL]  
古田新太  
[PHOTOGRAPH]  
宮川舞子  
[EDIT]  
榎原和子 渡辺敏恵  
[HAIR&MAKE]  
小野智子  
[ART DIRECTION]  
釣巻敏康

東京公演: 7月10日(木) ~ 7月20日(日) 三軒茶屋シアタートラム



<チケット取扱>  
◎ ペンギンパイルパイルズ <http://www.penguinppp.com>  
◎ チケットぴあ <http://pia.jp/t> 0570-02-9999 (Pコード:386-063)  
◎ ローンチケット <http://l-tike.com> 0570-084-003 (Lコード:34127) .0570-000-407 (オペレーター対応)  
◎ イープラス <http://eplus.jp>  
◎ 劇場チケットセンター <http://setagaya-pt.jp> 03-5432-1515

大阪公演: 7月27日(日) 14時 / 19時 リサイタルホール

<チケット取扱>  
◎ ペンギンパイルパイルズ <http://www.penguinppp.com>  
◎ チケットぴあ <http://pia.co.jp/kyodo-osaka> 発売日特電 0570-00-0032 十ぴあ各店舗 5/25以降0570-02-9999 (Pコード:385-918)  
◎ ローンチケット <http://l-tike.com> 発売日特電 0570-08-4657 十ローン各店舗 5/25以降0570-08-4005 (Lコード:52549) .0570-08-4888 (オペレーター対応)  
◎ CNプレイガイド <http://cn.jp/k-o/> 発売日特電0570-03-9933 十ampm各店舗 5/25以降0570-08-9999 (オペレーター対応)  
◎ イープラス <http://eplus.jp>  
お問い合わせ: キョードーチケットセンター 06-7732-8888 (10:00AM-19:00)

福岡公演: 8月2日(土) 19時、3日(日) 14時 西鉄ホール 提携: 西鉄ホール(西鉄ムーブ107)

<チケット取扱>  
◎ ペンギンパイルパイルズ <http://www.penguinppp.com>  
◎ 西鉄ホールホームページ <http://www.nishitetsu.co.jp/nri/solaria/hall>  
◎ チケットぴあ <http://pia.jp/t> 0570-02-9999 (Pコード:386-191)  
◎ ローンチケット <http://l-tike.com/> 0570-084-008 (Lコード:83641) 0570-000-407 (オペレーター対応)  
◎ イープラス <http://eplus.jp>  
お問い合わせ: 西鉄ホール 092-734-1370 (10:00AM-18:00)

2008年5月24日(土) チケット前売り開始

料金(全席指定) 前売 4,300円 当日 4,500円



戦いの末、帝国からの独立を果たした新生国家——  
グラグラの肉感とビリビリの外交に身を削る首脳陣と、まだ誰もプレイしたことのない《国技》のルールに苦しむ審判団……  
異なる階層に生きる人々が共通して見る夢は、無血で行き着く国家の未来

ペンギンパイルパイルズ #13

「審判員は来なかった」

作・演出 倉持裕

出演 小林高鹿、ぼくもとさきこ、玉置孝匡、近藤智行、吉川純広 / 安藤聖、片桐仁

[企画・製作/お問い合わせ] ペンギンパイルパイルズ TEL:03-5499-2739 MAIL:mail@penguinppp.com WEBSITE: <http://www.penguinppp.com>



## 基本、舞台俳優ですから!

06年から07年は、舞台俳優・古田新太の実力の幅広さと奥の深さを見せてくれた年だった。

いのうえ歌舞伎の大芝居で市川染五郎と渡り合える存在感。

蜷川演劇での人間くささや凄み、そして色気。

また究極のナンセンスコメディを演じて観客を不条理のなかに連れ込む。

そして、いまや古田新太は、演劇というフィールドだけではおさまらずに、

映像やラジオ、活字などの分野まで席卷中である。

**ラブストーリーのほすが  
徹底的なナンセンスに**

——昨年10月の「犯さん戯」の古田さんが、とても面白かったのですが、あれはKERA(ケラリ)・サンドロウイチさんと古田さんのアイデアから始まったと聞きましたが？

いちばん元をたどれば、10年以上前にやったナイロン100℃(下北ビルトラス)(96年のときに始まっているんです。あれはちょっとお芝居寄りの話だったんですが、打ち上げでKERAさんが「今度は、もう少しスラップスティック・ギャグ色の濃い、コントに近いものやりたいね」と言っていたんです。ところが間に「SLAPSTICKS」(03年)という作品が入ってしまったくて、でもそれもKERAさんのなかでは、お芝居寄りの作品だったんです。どうしてもコント寄りの話があったらいいというので、2人でいろいろ考えて、「最初はどうせ2人でやるなら、恋愛物。をやるう」愛だの恋だの言っているやつに唾吐くような芝居をやるうというので、1年前くらいまでは完全にラブストーリーをするつもりでいましたね。構成は2階建てにして、1本目はまともなラブストーリーにして、2本目はシチエーションが変わるこんなにもくだらないということをやろう、というふうに作戦も立てていたんですよ。最初は綺麗な女の子と綺麗な男の子を真ん中において、周りをベテランでぐずぐずにしよつ、みたいなアイデアだったんですが、なかなか難航しました。途中でKERAさんが、「ごめん、ふるちゃん(古田)主演で二代記みたいなのでいいか？」という話になって、それなら最後までマトモに見えるシーンをなくそうと。ちよとズレてい

この人が出てくると画面も舞台も、ある種の面白み加わる。コメディアンでもないし、色物役者というわけではないのに、笑いと遊びと少し危険な毒のようなものが加わるのだ。それが魅力でもあるし、彼の武器でもある。また、さまざまな役を演じる演技力には定評があるが、同時に古田新太という役者の色をきちんと出してきた人でもある。そんな役者、古田新太の昨今を順を追って紹介していこう。

るよな。ではなくて「切会話になつていない、それでいこうということになって、しかも稽古開始間際に決めたんです。

——徹底したナンセンスという感じでしたね。

楽しかったですし、しんどかったです(笑)。体力があるなというのと脳疲れが激しかったですね。話が流れていかないうちからストーリーに乗っかっていける話ではなかったから。ストーリーがちゃんとあつてズレていたら「え」ってなるわけですが、何もなしに「え」って言わなきゃいけないとか、そんな話を聞いてないのに違う話をふらなきゃいけない、とかいうことばかりなんです。テンポで押していくコントではないから、ある程度、間を計算しなくてはいけないし、スベると落ちないみたいな世界に陥るんで。それをきわきわで選んでやっていくというのですから、かなり疲れました。

——そういう計算は、稽古場でみんなの反応とかを見ながら作るわけですか？

そうですね。でもいちばん怖いのは、本読みでゲラゲラ笑っちゃって、本を読んだら面白いのに、実際にやったら面白くない、となったら自分達のせいじゃないですか？ あんな面白かった本がオイフがやることで面白くなくなっているというの、いちばん恐いですね。へこみますし、手を変え品を変えてやるけど違うな、みたいな。逆に自分で納得できてれば、客がクスリとも笑わなくても「シメシメ」みたいなときもありますからね。

——「犯さん戯」は格好も面白かったですね。ハダカですか？笑。清々しかったですね。パンツ1つで、みんな暑くて汗をダラダラかいているのに、オイラは過ごしやすかったです(笑)。

——結果的には納得した舞台という感じですか？

3、4年したらまた観たくなると思うから、一応企んでおこうぜ、みたいな感じですね。

——確かに客としても毎年観たいかといったら(笑)、何本かの1本であるといいというか。でも、こういうものが演劇として成立するという意味でも、やっておいてもらいたい作品だと思います。

演劇ってジャンルは、デタラメが許される範囲が広いから、もつといろんな人に「デタラメをやってほしいですね。ものすごい計算とパワーとエネルギーが必要ではあるんですが。80年代の最初の頃は、もつといるるなデタラメがありましたからね。たとえばマシムロウエーブだったり東京グランギニョルだったり、種類の違うデタラメがあった。今は、いろいろ観たいのあまり種類がなくて、というのもこの作品をやった動機にはありました。

### 手練れと先輩ばかりのなかで座長を

——その一方で、古田さんは同じ年に「臆の森に棲む森」(1・2月)や「藪原検校」(5月)など、いわゆるお芝居もしています。まず「臆の」では、盗賊の頭のマダレ役でしたか？

マダレという役は、立場としては、(市川)染五郎さんがいて阿部サダヲくんがいて、一応その2人と絡んではいるけどけっこう傍観者のというか、納まっているという立場なので、落ち着いて芝居してましたね。それに「ライ染五郎」に対する思いとか、キンタ(阿部)やツナ(秋山菜津子)に対する思いとかも、それぞれ自分のなかでは分かります。最後は裏切りますが、1人だけ大すかつたし。最後は裏切り役だったなと思います。

——続いて出演した「藪原検校」では、蜷川幸雄さんの稽古場はいかがでしたか？

本当に自由でした。なんのダメ出しもなく好き勝手に(笑)。「じゃあ、ファーストシーンからやってみよう」という感じで始まって。周りが全員先輩なんです。松田洋治くんなんて年下なんです。芸歴はオイラより長いから(笑)。そういうなかで一番後輩の立場で主役をさせてもらったんですが、すく自由になりましたね。

——叱られるというところはなかったんですか？

ないです。何も言ってくれないんですよ、蜷川さん。だから「1幕の頭から行きます」と普通に稽古を始めても、止められなかったらやめない、くらいの人たちばかりだから、危うく通し稽古になっちゃうという(笑)。蜷川さんはハ

表紙のヒト

# 古田新太







ふるたあらた○65年生まれ、兵庫県出身。大阪芸術大学在学中に劇団☆新感線に参加。エネルギッシュな迫力溢れる演技で定評がある。劇団公演や外部の舞台出演のほかに、映画・テレビ・ラジオ出演や文筆業での活躍もめざましい。最近の舞台作品は、『龍の森に棲む鬼』（07年）、『数原検校』（07年）、『犯さん哉』（07年）、レギュラー番組は『MANNINGEN』（CX）、近著に『魏志痴人伝』（メディアファクトリー刊）、また初主演映画『小森生活向上クラブ』が今年夏公開予定。

次回予定○バルコ・プロデュース『49日後…』5/9～11◎愛知厚生年金会館、5/14◎札幌市教育文化会館、5/22～25◎シアター・ドラマシティ◎新感線☆RX『五右衛門ロック』7/6～28◎新宿コマ劇場、8/8～8/24◎大阪厚生年金会館大ホール  
[五右衛門ロック]お問い合わせ／東京公演 0570-00-3337（サンライズプロモーション）大阪公演06-7732-8888（キョードーチケットセンター）  
公式HP <http://www.goemon-rock.com>

コをまず作って、そこで遊べという演出家ですから、それを自在に操る技量さえあれば、あとは注意くらいしかないんだと思います。なにしろ文学座、青年座の手練れに、六平直政さんに段田安則さんでしょう。できないわけがないんで、こいつがこちに行ったら俺はいく行くかというのを迷うようなキャストじゃないですか。確実に成立させるメンバーなんです。だからオイラがこちに來てたら、皆さんもいつの間にかこちに來てましたみたいな。何の苦労もいらなかったですね。ただ膨大なセリフを覚えなくてはけないという苦労だけで（笑）。――数原検校の役については、自分なりにやり違ふものを見せていきたい意気込みはあったでしょうね。

それは役者として当然あるべきものだし、数原という役をもらったからには、できれば先輩たちや木村（光二）先生がやってきたものとは別のものにしたいし。参考資料は山のようにあるわけで、そのなかで、オイラは、こはめちゃんくちや悪だけど少しチャミングにしてみようとか、最後まで市民に嫌われないようにしようとか、セコイ考えをしてみました（笑）。座組的には、皆さんが「座長、座長」とおだててくれたのでそれに乗って（笑）、かなり楽しく終わった公演でした。

## ホラーが観たくてプロデュースを始めた

――そのあとで新感線の『犬顔家の一族の陰謀』（7月）があつて。  
あれはもう、あんなに仕事です（笑）。客演に來ている宮藤（官九郎）くんとか勝地涼くんとか小松和重くんとかに「つまらないぞ！もっとやれ」とか言ってるだけでしたから（笑）。でも体力的にはギャグ芝居ってシンドイですね。そんなやつはいねーよ大会ですからね（笑）。等身大でいちやだめなわけですから。お客さんは氣楽に観てますけど、絶対ギャグ芝居のほうがたいへんで、血の涙を流しながらやってくるんですけどね（笑）。橋本（じゅん）さんとか（池田）成志さんとかオイラなんか、稽古場から笑かし合いですからね。昨日と同じ

ようなことしたら「さばってんじゃねーよ」とか、「もう終わりか」とか言われるわけですからね（笑）。――その成志さんとは、プロデューサーとしても一緒に仕事してますね。ちようどの号が出る頃に公演中の『49日後…』も、アイデアは池田成志さんと古田さんから出たとか。  
最初はスペースゼロでやった三谷幸喜さんの『VAMP SHOW』（92年）から始まったんですが、あれも成志さんとオイラがホラーをやりたいね、ということになって、制作はサードステージに頼んだわけですが。作家を中島らもさんにするか、三谷幸喜さんにするか、みたいなことから始めたんです。

――究極の選択ですね。  
そのときは三谷幸喜さんをお願いしようということになって、成志さんはスペース寄りのホラーが好きなんです。オイラはスプラッター寄りが好きで、でも、とにかくホラーが演劇にはないなと。すごくお化け屋敷が好きで、2人から見たら、お化け屋敷的な芝居がない。あえていうなら唐十郎さんとか大略駝艦とかもお化け屋敷といえはそうなんですけど（笑）、もつとゲラゲラ笑える、観終わって「恐かったねー」って言いながら、それで『VAMP SHOW』をやって、そのあとに、オイラはどうしても中島らもさんに書いてほしくて、スプラッターで、らもさんの本を喰始さんが演出した『日の出通り商店街いきいきデー』（95年）をやったんですが、で、久しぶりにやりたいなと思って動き出したところへ、生瀬勝久さんが池田と古田が楽しそうなこやつてるとなと思つたらしく「混ぜて」と手を挙げてきて（笑）、それで「ねずみの三銃士」を結成してやったのが『鈍獣』（04年）だったんです。最初は、生瀬さんの的にはウルメイドな芝居がやりたかったらしくて「再演がきく芝居がやりたいね」とか言ってるから「いやいやそんなつもりはさらさらないから。感じワルイものを作るユニットだから」と言ったら、ちよつとやる気なくしたみたいでした（笑）。でもやつてみたら楽しかったみたいですけど。

## できあがったあとに「また変えるからね」

――今度の企画も「ねずみの三銃士」の二環なんです。  
初めは、宮藤くんとか「鈍獣」の演出をした河原（雅彦）くんとかも、「一緒にやりたい」と言ってたんですが、スケジュールが合わなくて。（長塚）圭史くんに書いてもらおうかなと思つたり。彼とは『LAST SHOW』（05年）で風間杜夫さんとオイラと組んでましたし、気持ち悪いもの作りますからね。でもやはりスケジュールが埋まっていた。それじゃ、みんながまだ知らないような人を引張り出すというのはどうだろうとか。その人はその人で商業演劇は初めてだろうから、いろいろオイラたちも口出しできる（笑）。あちらもこういう形の公演をするのはい経験になるだろうというので、デス電所の竹内佑くんを声をかけたらやりたいというので、彼に頼んだんです。もちろん書いてきたものにガンガン文句言って書き直させて（笑）、それでやつてできあがったあとも「ありがとう、でも変えるからね」と（笑）。先日一応通してみても、ここからまたどこまで捨てられるかというところに來てますね。成志さんは今回演出をしているんで守ろうとするでしょうが、そこをどれだけ、オイラが権限を持つてぶつ切れるかです。

――そういう権限は古田さんにあるんですか。  
はい。  
――恐い話になりそうですか？  
そんな恐い話ではないですね、成志さんです（笑）。感じワルイ話にはなってますけどね。竹内くんには、ホラーのなかでも、ジョーカー系にしてほしいと言ったんです。「あ、ビックリした!!」みたいな、でも成志さんの好みで「なんだ、いい話になってるんじゃないの」という感じですね（笑）。でもまだ捨ててないですけど（笑）。いわゆる遺品整理屋さんという職業があつて、家族がいなくて死んだ人の遺品を分けていく仕事なんです。それを書いた本をオイラが本屋で見つけて、余りにも非日常的な面白さがあるからこれやりたいところ

から始まったわけです。舞台は孤独死した女の人やいて、警察が引き上げたあとの部屋で、そこはゴミ屋敷みたいになって、男4人がそこに片づけに來てる。でも全然仕事しねえ奴らみたいな。最終的には片づけていくわけですが、後見人の葬儀屋さんが小田茜ちゃんや、その葬儀屋さんがどうも関係あるらしいというものも、だんだん見えてくるわけですね。オイラはもつとも働かない社員をやってます（笑）。――しばらくぶりに軽い優男で女に弱いやつ

――それが終わると劇団☆新感線で『五右衛門ロック』ですね。これは新宿コマ劇場で初めての新感線公演、言つてみればエンターテインメントの殿堂に登場ですね。  
オイラたちも下の劇場のシアターアプルでやっていた時代に、「コマの大看板にみんなの顔が丸抜きで出たらおもしろいよな」と言つて、今回、あの看板描こうぜという感じになつてますから。それができるのがちよつと嬉しいというか、ゲラゲラですね。

――劇場の形が独特というか。  
広い！客席も遠いから、じゅんさんの変な顔とか通用しないんだろなとか心配したり（笑）。

――もう台本は出来上がつてるそうですね。もちろん古田さんが石川五右衛門ですね。

そうですね。今回は昔の新感線の、ふるちん。みたにやつてみようかなと思つて、軽い優男系ですね。『「ロー」におまかせ！シリーズ』の「ロー」さんがやつた、ああいう女に弱くてみたにかな。そういうのはしばらくやつてませんでしたが。

――色っぽい古田さんが出てくる感じですね？  
というか、おねえちゃん大好き、みたいな（笑）。ちよつと軽めのオジサンですかね。ストーリーはあんまり期待しないでほしいというか「応時代劇なんですけど歌謡ショーのノリですね、昔の『東海道五十三次地獄旅』踊れーいど屋敷ー』（00年）みたいな感じになればいいかなと。  
――パフエティのなかに筋があるような？

そうですね。物語は、五右衛門が釜ゆでになる寸前に逃げ出して、月生石という財宝を盗むためにタタラ島という南の島に向かうんです。それを『ルパン三世』でいうところの銭形のとつとあんみんたいのながいて追いかけてくる。追いかけてくるのが江口洋介さんで、オイラの逃げる手引きをするのが女盗賊の松雪（泰子）さん、まさに峰不二子です。タタラ島の国王が北大路欣也さんで、森山未來くんは北大路さんを恨む隣国の王子ですね。川平慈英さんも出るから、慈英さんと未來くんのタップが観られるかもしれないです。それにしても、北大路さんにうちの殺陣師が動きをつけていいかという（笑）。

## 新感線の古田新太が25周年を迎えます

――他の活動も聞かせてほしいのですが、映画で主演をされましたね。  
もう撮り終わつていんですが『小森生活向上クラブ』という作品です。原作は『小森課長の優雅な日々』という小説で、子ども2人の父親で新興住宅地に住む、うだつのあがらないサラリーマンなんです。ある日、本当に頭にきたというので人を殺してしまつたら、そのあとすごく元氣が出たんです。そこで必殺仕事人きどりになって、こいつは悪いなと思ったらどん殺していく。で、がんが元氣になつていくから家族からは尊敬され、会社では人気者になるわけです。そのうち、彼が人を殺していることがバレしてしまうんですが、課の尊敬が変わらないどころか「手伝います」みたいなやつが出てきて、しかも増えていくんですよ。そうなるそれはそれで、またストレスが溜まって……みたいな、そういう話なんです。  
――映画の主役って、やはり面白かったですか？  
いやー、映像は朝早いのがやですね（笑）。舞台は朝10時までは寝られますから。夜は飲みたいですからね。いや、楽しかったんですけど（笑）。

――本も出版されたとか。  
オイラの周りの頭の悪い人を紹介しようとして

いうので『魏志痴人伝』というタイトルで、オイラの知人という意味とバカという意味の痴人とかをかけてます。妖精を見たと言ひ張るアイドルくんとか学生服を着たまふシャワーを浴びる小説家さんとか全部実話です。特定されると困るので職業は変えてますが。知ってる人は知ってるエンジョーもありますね。  
――さらにDVDで、懐かしい番組が出ますね。  
昔、関西のテレビ番組で『現代用語の基礎体力』というコト番組をやつて、たしか20年くらい前に3～4年間、升毅さんと羽野晶紀ちゃん、生瀬勝久さんとかが出てたんですが、その復刻版が出るんです。それで昨年末にまたそのメンバーが集まつて新しいもの撮つて、それもDVDで出るので、見比べると面白いと思います。やつてことは全く変わつてないのがかしいんですが。  
――そして来年まで、ずっと舞台が続くとか？  
この『五右衛門ロック』に始まって、来年の夏くらいまで舞台演じてですね。  
――やはり古田さんは、基本は舞台やりたい人なんですか？  
オイラは舞台俳優ですから（笑）。ゴルフとか釣りとかそういう趣味がないんですよ。いつも演劇を観るかやつてるか、あとは飲んでいるかです（笑）。ドラマや映画とかの映像を撮ってる。その2カ月とか3カ月は素敵なパケーションみたいな（笑）。

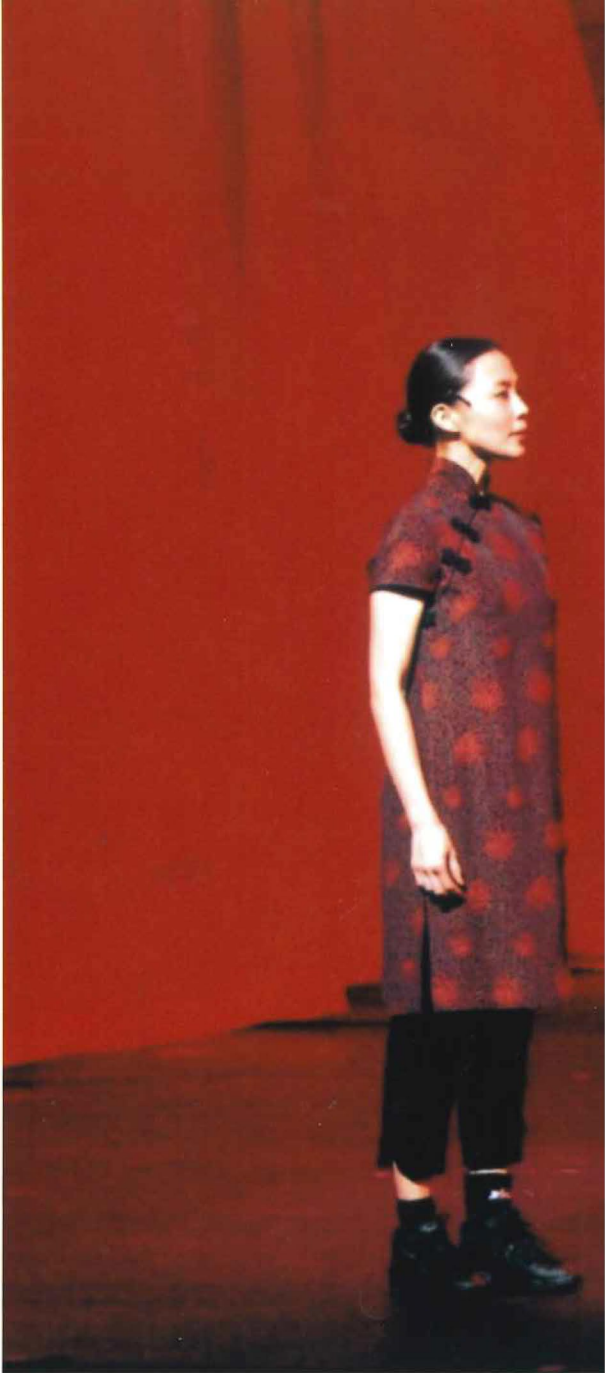
――そんな古田さんが新感線に入つて来年で25年だそうです。同じ劇団に25年というのはすごいんですね。古田さんがそこまでいた理由はなんなのでしょう？  
いのうえひでのりさんも、中島かずきさんにも、「まだこのユニットでやれていいよな」というものがあると思うんですね。あれもやりたいし、これもやりたいというのがあつて。劇団って座長がやり尽くして解散ということが多いじゃないですか。いのうえさんは「今度は、これやるから」というのが必ずあるから、みんなは「ええー!」とか言いながら、ついやつちゃう。かなり「ええー!」率は高いんですけどね（笑）。だから劇団の30周年もきつと「ええー!」とか言いつつ盛り上がるんじゃないかな。



原作・手塚眞 脚本・梶田理生 演出・宮川孝雄 演出・松川幸雄  
出演・山根寿澄 木村佳乃 西岡和久 高田中村友也 戸田 他  
3 9-11 Granma 4 5 13 梶田真樹劇場シアター・マニア

取り巻く世界が交わるうご、人の心が去るうご、化粧して衣裳をまごえれば命は輝く。華やかで哀切な「霸王別姫」の物語に、1人の女形の愛と死を、激動の中国近代史を、重ねて描いたこの舞台は、彼らが流した血のように悲しく鮮烈である。

ば、わが愛  
覇王別姫



孤独な魂と  
集団の  
楽しさ

京劇の女形俳優として育てられ、芸への執念と誇りを抱いて生きるチョン・テイエイ、だが彼が愛した相手役シャオロウは、テイエイの想いを裏切り続ける。壮絶で悲劇的な主人公の生涯を、燃える心と気品溢れる佇まいで生きた東山紀之。5年前からの念願が叶って取り組んだ舞台で、改めて感じた「今だからこそ」の実感とは。

愛ゆえに生かされる

——念願の『霸王別姫』ですが、実際の舞台上でいちばん感じることとは？

全てが新鮮ですし、楽しいですね。5年前に『霸王別姫』をやらないかと蛭川さんに言っていたいたと時から、僕にとってはいつかはやるはずの舞台でしたから。稽古場で毎日蛭川さんがわくわくするようなイメージを語ってくださるのが楽しかったです。舞台上に出るのときも難しさと苦労とかを感じられるよりも、素敵なアトラクションに乗せられているという感じがすね。

——東山さんの演じるチヨン・ティエイは数々の苦しみを背負いつつ生きていきますが、役へのアプローチは？

人間つて誰もが困難にぶち当たっていると思うんですよ。でも自分のなかに信念があれば乗り越えられると思うし、困難が困難でなく好き。テイエイはシャオロウが思案中で大好きで愛していて、その想いがずんずんとあつた。彼がいなかったら中国という大きな国の流れのなかで埋もれてしまったかもしれない。彼の愛ゆえに生かされたし、シャ

オロウへの愛が生きる礎になっていたと思います。それから、ある種の政治批判ではないのですが、反骨精神のようなものが作品にはあつて、それもテイエイを支えていたと思います。

——政治にも愛にも翻弄されながら  
 テイエイは強くて、それは芸への想いも  
 あるのかなと？

孤独でも孤独ではない

——女形としての形が綺麗で、ふだんのシーンでもなりきっているのが見事です  
すね。

なりきるためには、まずある時点からきちんと意識することが大事なんです。逆にいえばなりきるための切り替えポイントをはっきり持つことで、今回の僕の場合は舞台上上がる寸前ですね。そして舞台上にいるときは、女形ならこういう動きはしないというのを常に考えています。すごく冷静です。でも役者というのは冷静でないといけないと思っていますから。

——東山さんのティエイは、孤独と悲しみを滲ませていますが、東山さん自身にも表現者の孤独とか悲しみはあるのでしょうか？

文化は消えない

——同時にこれは逆説的ですが、演劇はみんなで作り上げていく。このチーム

の力もまた実感しているのでは？  
それはすぐありますね。知り  
者同士が出合って、分かり合って

に作ら上げていく作業は楽しい。だから、孤独を演じてますが、演じてるときは孤独じゃない幸福感もあるんです。今回の皆さま、遠藤さんとも木村さんも西岡さんも、本当にプロフェッショナルで、作り上げていく過程が面白くて、それそれが役を考えてきて、稽古場でたくさんさんの試行錯誤があったんです。たとえば西岡さんは足を引きずっていますが、それはコンプレックスが同性愛に向かわれるという解釈でやっていますけど、遠藤さんの死に方は彼のアイデアだし、僕も剣の踊りでクルクルと回す振付けは、殺陣の先生と一緒に考えたりしました。

——皆さん、自分の役を楽しむという  
感じですね。

人間を学ばないちばんの方法という  
か、自分はどういう存在だとか、そうい  
うことを考えるのに演劇は最高の空  
間だと思えますね。それに、自分の可  
能性もがんばったぶんだけ広がるし、広  
げてくれる人がいる。そういう意味で

は孤独感 wasn't だったですね。でも、だからこそ ティエイの孤独を表現できたのかも しろないとも 思います。

——激動の政治の流れのなかで、ティ  
エイは国に追いつめられますが、今の日  
本の自由と比較して感じることはあり  
ましたか？

文化の強さを感じました。迫害を受けても京劇は残ってますし、どんな抑圧にあつても素晴らしい文化は消えない。政治や社会の矛盾のなかでも、本当に表現したいものがある人間は生きていく。そういう点では日本は自由ですが本当に幸せなのかと。でも、大事なことは「続けていく」ということだし、よいものを引き継いでいくことだと思います。そして蛭川さんはその王道を行っているなと。どんなに非難を受けても自分を貫いていく。僕が初めて蛭川さんの芝居を観た渡辺謙さんの『ハムレット』（86年）は、批評家さんとって立看板を出したそうですが、僕にとっては凄まじい衝撃を受けた舞台でした。そんな蛭川さんに演出してもらったこの作品は、僕にとつてますますぶれない心を作ってくれたと思います。

東山紀之



ひがしやまのりゆき○85年に少年として「仮面舞踏会」でレコードデビュー。以来、テレビ・映画・舞台で活躍。最近の出演舞台は「ロミオとジュリエット」(04年)、「WEST SIDE STORY」(04年)、「ツキコの月、そして、タンゴ」(05年)など。毎年恒例の少年ミュージカル「PLAYZONE」は86年から通算900回を超える。テレビのキュラー番組は「世界まる見え!テレビ特捜部」(日本テレビ)「バース・デイ」(TBS)。映画「山桜」が5月31日公開予定。





演劇集団キャラメルボックス

# きみがいた時間 ぼくのいく時間

原作◇梶尾真治「クロノス・ジョウターの伝説∞インフィニティ」(朝日新聞社刊)

脚本・演出◇成井豊  
出演◇上川隆也 西山萌子 西川浩幸 坂口理恵 岡田達也 岡内美喜子 青山千洋 温井麻耶 三浦剛 簡井俊作 左東広之 渡邊安理 阿部丈二 小林千恵  
2/28~4/7◇サンシャイン劇場、4/12~17◇新神戸オリエンタル劇場、4/23~28◇大阪厚生年金会館 芸術ホール

タイムマシンをモチーフにしたクロノスシリーズは、シリーズを通して、大切な人へのひたむきな想い、を描いている作品。今回の主人公・秋沢里志も、亡き妻への想いを胸に、39年前にタイムトラベルする……。キャラメルボックス初の二幕構成となった『きみがいた時間ぼくのいく時間』は、39年間という時間の流れを60分強(二幕の上演時間)で体感できる、正にタイムスリップもの。テンポのよさは元々この劇団の醍醐味ですが、この体験はまた格別！ 新たな試みと変わらぬ心意気が螺旋のように混ざり合い、演劇でしか味わえないエンターテインメントが、そこにあった。

住島重工の研究員・秋沢里志(上川隆也)が、ニューヨークから5年ぶりに帰国した。里志に命じられた新たな仕事は、物質を39年後に送り出す機械、いわゆるタイムマシンの開発に参加すること。その開発を夢物語のように感じ、仕事への情熱を失いかけた里志だったが、5年前に別れたはずの恋人・梨田結未(西山萌子)から励まされ、次第に熱意をもって取り組むようになる。やがて2人は自分たちの変わらぬ想いを再確認し、結婚。公私共に充実した日々を過ごした。しかし、タイムマシン“クロノス・スパイラル”の実験初日、結未は不慮の交通事故で帰らぬ人となってしまった。絶望の中で苦しみぬいた里志が出した結論は、クロノス・スパイラルを完成させ、その事故から結未を救い出すこと。39年前にしか飛べないタイムマシンに乗り、里志の長い長い旅が始まった――。







きみがいた時間  
ぼくのいく時間





きみがいた時間

ぼくのいく時間

# 役者はお客様を信じていいんですよ、きつと

インタビュ中、上川隆也はそう言った。  
「芝居は劇場で観客と一緒に作るもの。だから、役者はお客様を信じていい」——。  
3年ぶりの劇団出演作となる今作で、主役の秋沢里志を演じた上川隆也。  
そして、過去に飛んだ秋沢を常に支え続けた柿沼純子を好演した坂口理恵。  
劇団同期にあたるこの2人が、きみとぼくの関係性について語ります。

そのしごき様ったら、  
中々のモノがありました

——いきなりですが、お2人は劇団の同期にあた  
るそうですね。

坂口 参加した時期は一緒なんですけど、彼は役  
者として、私は衣装スタッフとして入ったんです。

上川 そのキャラメル初のオーディションは男性限  
定だったので、坂口さんはスタッフ募集に応募する  
という実に巧妙な手段を、まず潜入する、と。

——当時のこと、覚えてますか？

上川 当時はバラックみたいな所で稽古をしてい  
たんですよ。その一方でお客様の伸び率もハンパ  
じゃない時期で。僕も含めて新しい人間がどんどん  
舞台に乗りましたし、成井(豊)もガンガン新作を  
書いていて……と、成長期の高校生の膝が痛くな  
るみたいに、どっか軋ませながら劇団がグワッと  
大きくなっていった時期でした。

坂口 「高校生の膝が痛くなる」って、上手い表現  
するよね。面白いね、昔から。

上川 どうもアリガト(笑)。

坂口 その年は、本当に男優が足りなくなつたか  
らこそ男優オーディションをやったんですけど、成  
井がすごく嬉しそうでしたわ。嬉しいから、新人  
をして(笑)。

上川 しこれましたね。そのしごき様ったら、  
中々のモノがありました。今では伝説になっている  
メソッドとありましたね。最早、誰もやらされ  
ないっていうような。

坂口 あれが良かったのか悪かったのかさ分かん  
ないよね。でも、昨日今日入った男をしていて、準



想定している演技や役柄の性格。等がある筈な  
んですけど、敢えてそれを僕らに強く提示する事  
無く「お前達がやるものを見せてくれ」というスタ  
ンスで臨んでるのが如実に見て取れる。それがペテ  
ランの俳優にも若い子にも押しなべてそうなん  
です。なので、設定されてない分、日によつての楽しみ  
方や演技の持っていく方を練習して行こうと思  
えるんですよ。

坂口 練習、また難しい字を(笑)。

上川 「ココに行け」で急ぎ立てられると見えな  
くなくてしもうモノを、毎日見ていられる。今回の  
本の性格上もあるかもしれませんが。

坂口 固まってるから毎日違う様に感じる。飽  
きないよね、今回の芝居。

上川 飽きないです。

キャラクターを尊敬しながら……

坂口 私はまず、柿沼純子を演じることが単純に  
楽しいなあと思っています。今回は29歳から68歳まで  
やっているので、自分も含めて、人の生って面白  
いんですよ。どこでどういう風に転がっていくの  
か分からないです。物語の中にもあるんですけど  
「もし秋沢里志と会わなかったら、柿沼純子とい  
う人物はどうなつたんだろう？」と考えるんです  
よ。里志と会ったからこそ彼女は結婚もしなかつた  
し、いわゆる一般の女性の幸せな人生は送らなかつ  
たんですけど、それでも彼女は「幸せだ」と言っ  
てます。「感謝してる」って。そういう風に生きてい  
けることがとても素敵だなあと思っています。自分  
の役なんですけど、そのキャラクターを尊敬しなが  
ら演じています。

上川 今回はサブキャラクターたちが濃いとい  
うかそれぞれに色分けされているので、全体として  
里志というキャラクターをそんなに色濃く作り上  
げる必要がないんですね。コントラストで見れば  
いい役なんです。なので、舞台の彩りに当たる所  
は皆に任せています。だから、楽という意味ではな  
く、舞台上にいるのが容易ですね。居やすいんです  
よ。この、全体力、みたいなものが僕にはとても有  
り難い。当然なんですけど、シチュエーションを独り  
で作っているのが全然ないんです。みんながいて  
里志がいるという、この相対的な関係がとても心  
地よい空間になっているので、やっぱり全体像とし  
て見たいと思います。

同じドラマの目撃者になっている

——幕では約60分程度の上演時間内で、39年と  
いう時間の流れを描いていますね。観る側として  
は、その流れに身を任せた、あつという間の39年間  
ですが、演じる側のお2人はどう捉えていますか？

坂口 うん……。「なり」注・成り行きに任せ  
る。状況に身を委ねる」かなって(笑)。

上川 これ、実にね。的を射てるんですよ、こ  
の言葉が。

坂口 こういつ時間の経過って、やったことないね。  
上川 例えは「10年経ちました」というのを、岡内  
美喜子のセリフだけでお客様に放り投げしてしまっ  
ている。僕と坂口さんが特殊メイクを施して……  
ということはあるえてないんです。でも、これ、正  
解だつたんじゃないかと僕は思っています。

坂口 一幕も含めて、お客様は秋沢里志の人生を一  
緒に見て下さっているじゃないですか。時間の経過

と一緒に感じているから、長い時間が経つたような  
気がしてくるんですよ。それを「なり」に任せてい  
る感じで。

瞬間にこの2人の生活みたいなものが、お客様の  
中に丸ごと預けられてしまふ。劇場というのはい  
ういう空間なんですよ。お客様も一緒に生きて  
作っているし、役者はお客様を信じていいんですよ。  
きつと。あの時、役者とお客様は同一地平上にて、  
同じドラマの目撃者になっているんですよ。キャ  
ラメルボックスの芝居で毎回それが起こっていると  
は言いませんけど、今回は特に、そういう瞬間があ  
る芝居になっている気がします。

## 上川隆也

かみかわかや○65年生まれ、東京都出身。89年  
より演劇集団キャラメルボックスへ参加。95年の  
NHKドラマ「大地の子」への出演を契機に、数多く  
のTVドラマや映画に出演する。06年、NHK大河ド  
ラマ「功名が辻」にて山内一豊を演じ、好評を博し  
たのは記憶に新しい。今作が自身3年ぶりのキャ  
ラメルボックス出演作となる。

次回予定○「ウーマン・イン・ブラック ～黒い服の  
女～」7/10～13◎シアター・ドラマシティ、7/15・  
16◎アステールプラザ 大ホール、7/18・19◎愛  
知厚生年金会館、7/22・23◎札幌市教育文化  
会館、7/26◎福岡市民会館、7/30◎東京エレ  
クトロホール宮城、8/2・3◎リョーとび劇場、  
8/7～31◎PARCO劇場、9/9～13◎英国 フォー  
チュン・シアター ◎「表裏源内姓舎親」11月◎  
Bunkamuraシアターコウーン ◎映画「隠し砦の  
三悪人」5/10より全国東宝系公開 ◎映画「ハコ  
と魔法の絵本」9/13より全国東宝系公開

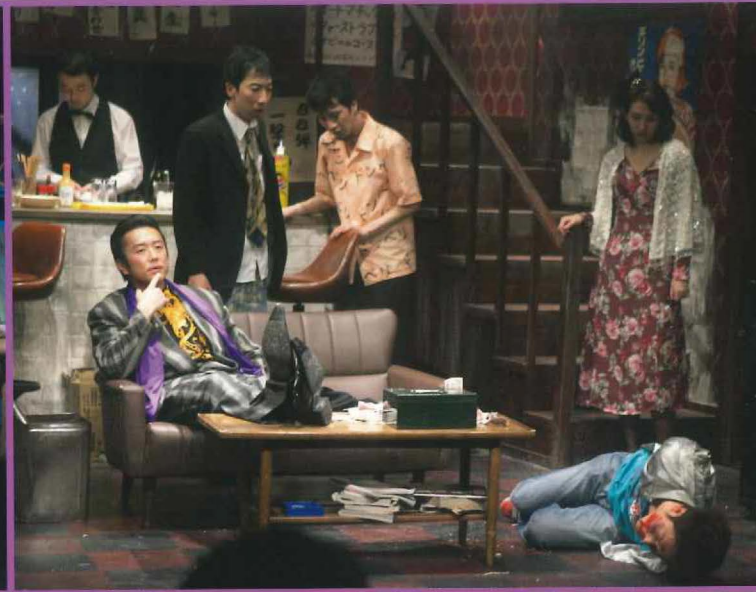
## 坂口理恵

さかぐちりえ○66年生まれ、長野県出身。90年より  
演劇集団キャラメルボックスへ参加し、以降劇団  
の看板女優として数多くの公演に出演する。その  
高い演技力には定評があり、今作では1人の女性の  
20代から60代までを演じ話題に。

次回予定○演劇集団キャラメルボックス「ハック  
ルベリ」にさよならを16/8～29◎シアター・アプル、  
7/6～13◎新神戸オリエンタル劇場、7/18～20  
◎名鉄ホール







サモ・アリナンスプロデュースNO.25

# 洞海湾

九州任侠外伝

作・演出◇松尾スズキ 共同脚本◇武沢宏  
出演◇小松和重 高木尚三 家納ジュンコ 佐藤貴史  
大政知己 中澤功 月野木歩美 平田敦子 宮沢紗恵子 オウイシュージ 久ヶ沢徹  
4/4~15◎サズナリ  
次回予定◇サモ・アリナンスproduce劇団ワンダフルズ「世界の博覧会」9/17~23(予定)◎駅前劇場



**小松和重**  
くまつかずしげ○68年生まれ、東京都出身。劇団便りの調査局を経て92年に故・倉森勝利と共にサモ・アリナンスを結成し、座長に。04年には劇団ワンダフルズを結成し、「小松チャンピオン」の名で活動。他、多くの舞台に参加する。  
次回予定◇青山円形劇場プロデュース「HYMNS」5/10~25◎青山円形劇場

**久ヶ沢徹**  
くがさわとある○62年生まれ、福岡県出身。サモ・アリナンスの旗揚げに参加、95年には脱退するもその後も客演として毎日出演。小林賢太郎プロデュース公演の常連としてもおなじみ。  
次回予定◇BIJYOGI-JCT「DEBUT LIVE」8/15~17◎世塚ファクトリー

長くなるついでにうぐいしか考えてないんです。  
——お休みと聞いて、久ヶ沢さんは思うところはありましたか？  
**久ヶ沢** 突然という感じはありますけども、でもまあ……いたしかたないに集約されますね。  
——次再開する時はもちろん出るし。  
**久ヶ沢** はい。まあ僕があまにもビッグになってギョウが見合えないという話になれば、この話は別問題ですけど……。  
小松 ははは！ まあギャラは出さないとですけどね。  
**久ヶ沢** 呼んでいただけなのであれば全然出ますけども、そんなに遠い未来でもないんじゃないかなという気がしますね。でも小松くんも忙しいですからね。それで生活できるようになつたらサモアリのことを忘れてくでしょう笑。  
小松 (笑) 忘れないよ、だって16年だよ？ 忘れないよ。  
**久ヶ沢** わかんないよ？ 2、3年後には六本木ヒルズ住んで「下北？どこだそれ」つてね(笑)。人つてそんなもんですよ。  
小松 そんなものかなあ？(笑) でもやりたくありませんよ、よその仕事してると、サモアリの外

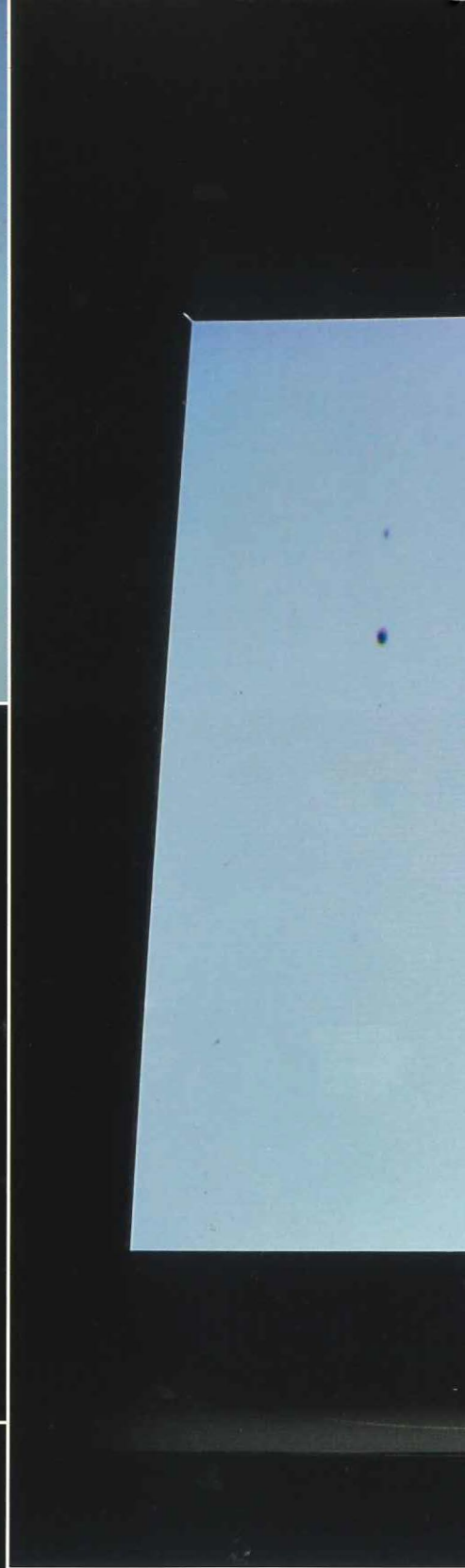
ではやりたくてもできないことを、ここではできるから。  
——50代になつてサモアリつていうのもおもしろそう？  
小松 そう、50代でバカなことしたいのはありますね。まあ今、40代でバカなことやってるんですけどね。  
**久ヶ沢** そんなこと言いますけど、僕なんかあと4年したら50だから。多分やつてますよ、バカなこと。50周年記念でとりあえずサモアリ復活させようつていうのはありますけども。  
制作 浅川 50歳になった人が主催するつていうのは？  
小松 それおもしろいねえ！  
**久ヶ沢** 第弾、俺だ！  
小松 久ヶ沢さんでしよう、高木さん、平田さん、オウイさん、俺か。でもまあ、ほんとにつかわかんないですけど、やりたい気持ちはつとありますからね。  
——気長に待っててね、という。  
小松 そうね、もう忘れてるぐらいのほうがいい。  
**久ヶ沢** 観る芝居は世の中いっぱいありますから(笑)。待つて間も飽きませんよ。

小松 うちには作演出がない劇団なので、まず松尾さんをお願いしたんですけど、「洞海湾」だったら出て来る人もちょうど10人だし、サモアリでやるのはおもしろそうじゃない？ つていつてその版權をいただいたんです。元々は30、40分のものでしたのを、共同脚本の武沢(宏)くんが1時間半ぐらいにした第1稿に、松尾さんの手が入って、ペーすは一緒なんですけど、ただ死を待つ人たちのどうでもい時間が増えて。そういうところがサモアリの遊びができる場所だったから楽しかったですね。  
**久ヶ沢** 不確定要素な部分に対するリアクションは日々違うけど、基本的な骨組みはかちつと決まってる。  
小松 今までのサモアリみたいに脱線してくと戻せない。どっかで横道にいつちやうとどこからやり直していいのがわかんなくなっちゃうんです。  
**久ヶ沢** ちゃんと作り上げないといけないストーリーがあるの、それを構築する段階をぶちこわしちゃつと全体的なおもしろみがなくなるから従来のサモアリの脱線の仕方は今回よろしくないつていう感じはみんなちゃんとありました。  
——構成的には、台本をそのままやるのが一番おもしろい？  
小松 ほんとそつです。こういうのはほんとに初めて。  
**久ヶ沢** サモアリでありながら舞台上でそのメンバーたちがちゃんとお芝居してるのを見るのは初めてです、16年やつて(笑)。  
小松 俺、本番中はカウンターのところでは見

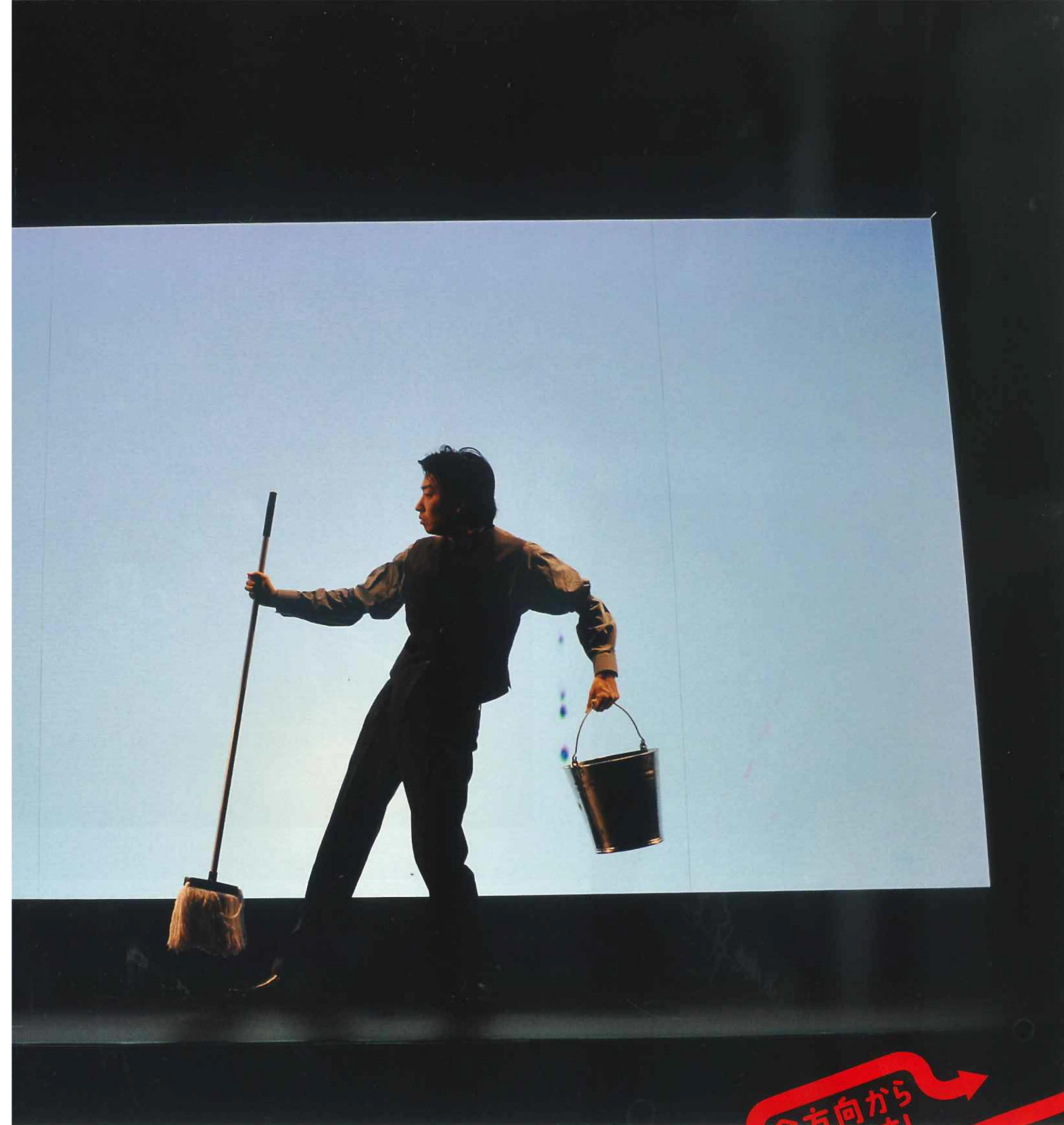
てますからね。ああ、生懸命やつてんなー、みんな芝居ができるんだなーつて笑。今までは若い子たちが、まあ若くもないんですけど笑、芝居できなかつたらその部分はカットしちゃつてたんですけど、松尾さんはちゃんと全員に愛情を持って、ちゃんとみんながきてるふつに見せる演出をしてきて、いいところを見つけて、引き出してきてつていいなと。  
**久ヶ沢** 今まではあまりそういう演出がなかったから(笑)。  
小松 やつと僕らが演劇的に近づいたんじゃないですかね笑。普段みんなが外でやつてる真面目な顔がかいま見れたのが……僕もすごい恥ずかしいんです、「何まじめにやつてんだよ」つて言われそう、すごいイヤ(笑)。  
**久ヶ沢** 「だつて役者だもん」つて言えはいいじゃない(笑)。  
小松 なんか見えないところでプブプブつて笑われてつてすごいヤナ。  
——長い歴史がありますからね。  
小松 もうみんなオーバー40ですからね。  
**久ヶ沢** ついに表に出ないまま解散してつていう、ねえ？  
小松 **久ヶ沢** 解散じゃねえつんだよ！(笑)。  
——この後しばらくは休止期間なんですかね。  
小松 自分たちがやりたいことがなんだろうつていうのが少しわかんなくなつてしまつたので。何かしらの形が見えてからもう1回再始動はしたいなと思つてんですけど、でも元々やりたい時にやれればいいなと思つてたんで、その休みの期間が少し

**また会う日まで…は遠くない?!**  
個性的なキャラクターが繰り出すゆるゆるとしたギャグの応酬が魅力のサモ・アリナンス。久々の公演で作・演出に松尾スズキを迎え、今後なかの展開が?! という期待を「ちよいとお休みします」と、しれつとはぐらかすのもまた彼らしいというか……。しばしのおやすみにあたって、座長の小松と、小松と並び16年間唯一サモアリ公演皆勤賞の客演、久ヶ沢、ありそうで意外となかったこのツーショットで、今回の公演とサモアリのこの先を語ります。





作・演出・出演◇小林賢太郎  
3/14～16◎ももちパレス、  
3/19～23◎新神戸オリエンタル劇場、  
3/27～30◎かでのホール、  
4/2～13◎世田谷パブリックシアター、  
4/17・18◎アートピアホール



全方向から  
見せます!

舞台には、たったひとり。  
共演者は、映像、音楽、舞台装置。  
様々な手法で観客を笑いと驚きの渦に巻き込む  
小林賢太郎ソロパフォーマンス「ポツネン」。  
三回目となる『Drop』は、古典あり魔法ありの、  
最高のエンターテインメントに仕上がっていた。

Kentaro Kobayashi  
Solo Performance  
Live Potsunen 2008

# Drop





## 小林賢太郎

こばやしけんじろう○1973年生まれ、神奈川県出身。96年に多摩美術大学の同級生片桐仁とともにラーメンズを結成。構成・演出をすべて手掛けるコント職人。2006年には、自身のソロプロジェクト「LIVE POTSUNEN」を始動。その他、ラーメンズの活動以外にも、「KKP」、「NAMIKIBASHI」、「大喜利猿」、「SymmetryS」など、様々な企画、ユニットを立ち上げ勢力的に活動中。公式HP=<http://rahmens.net/> <http://potsunen.net/>

## やりすぎていい現場

自分をギリギリまで追い込み、その先にある「笑い」を追求し続ける小林賢太郎。一人でネタを作り、一人で演じる「ポツネン」は、「コント屋・小林賢太郎」を表現する究極のスタイルなのかもしれない。

——今回の「Dropp」は、音楽と映像が共演者のような、そんな感覚を覚えました。音楽担当の徳澤青弦が頑張ってくれました。ありがたいことにスタッフさんたちも、みんな夢中になって参加してくれている感じはします。僕がかなり放任主義なんです。誰かが何かを思いついたら勝手にやっていいよという感じで。僕が直接触れるものに関しては、もちろん僕自身がこだわらなくてはいけないですけど。音も物も光も。でも、そうじゃない部分に関しては、やりすぎたくなかった人はやりすぎたいい現場だとは思いますが。オープニング映像なんかは完全にやりすぎですから（笑）。「いよいよ始まる」という気迫のようなものを映像から感じました。かましてる感じはありましたよね。大風呂敷を広げているというか（笑）。でも、コントが映像に負けないようにしないといけないですからね。やっぱり、全部を一人でやっているの余裕がなくて。上がってきた素晴らしい音や映像

に対しておもしろがってはいましたが、それとコントとのバランスまでは考えられていなかったかもしれないです。目の前にある作らなくちゃいけないコントを完成させなければいけない。最終的にはまとまりましたけど、もう、スレスレまで頑張りました。——徹底的に迫及するのが「ポツネン」のスタイルですよ。いつも思うのが、なんでもっと早く準備を始めて、直前の週間をもっと余裕を持って過ごせないのかと。もう十年以上やっているのに（笑）。でもね、なぜそうしないのかと言ったら、たとえ週間早く作り始めたとしても、多分前日ギリギリまでやっていると思うんですよ。そうしなくちゃ気が済まないだろうなと。——ギリギリまでやるからこそできる空気感もあるような気がします。限界までやっているということが伝わるというと思います。そうしていいと自分も不安なんですよね。

### 輝いていた「ドロップ」という言葉

——「Dropp」というタイトルもいろいろな意味合いを持つ言葉でした。タイトルをつけた段階で辞書を引いて、意味を1000個くらい並べていったんですよ。「あめ玉」のドロップ、「水滴」、「落ちる」という意味。コントには「オチ」があります。落語の落てもあります。いろいろとたくさん絡み合っていたので、ふくらましがいいのある言葉だなと思いましたが、何で「ドロップ」を思いついたんだっけな。突然「このタイトルで作りなさい」と命令された感じ。このタイトルに（笑）。タイトルをつけるために、いろいろな言葉を集めるんですけど、その中で明らかに輝いている単語がいつも現れて「私を使いなさい」と言っています。

### やりたいことに向かって全力疾走

——今回もいろいろな仕掛けに、とても驚かされました。手品の演出がちょっとありましたね。靴から水が出てくるようななんかは、いろいろと試

行錯誤しながら作っていったんです。楽しかったですね。——やりたいことを形にしてくれるブレンがいることはすごいことです。もうずっと一緒にやっている人が多いですからね。舞台監督の野口さんが連れて来てくれる人たちがね、素晴らしいんです。野口さんは『オーシャンズ11』のオーシャンみたいな人で、適材適所にいい人を紹介してくれる。采配が素晴らしい。まさに監督なんです。だから僕は自由な建築家でいられるんです。現場監督が信用できるから。——「ポツネン」って、質沢な時間、空間ですよ。トータルプロデュースされている強みを感じます。そうやっていただけると非常に嬉しいです。僕のやりたいことがはつきりしてきたので、みんなが好き勝手やっているようで、「ポツネン」というタイトルがブレなければ、違う方向にはぶっ飛んでいかない集団にはなれたんじゃないかなと。[Potsunen]と「O-manu」はデビュー戦だったので、そのときにはまだみんな作りながら、「ポツネン」って何だろう？というふうで、僕自身もスタッフもアートディレクターもみんなが思っていたと思うんです。でも今回は三回目ですから。僕のやりたいことは、こういうことだとみんな理解してくれたというか。暗黒模索な部分がなくなってきたんです。方向が見えるって全力疾走が許されますからね。それが今回はできたのかなとは思っています。——次は小林さんは何をやってくれるんでしょうか？もう作ってますよ。動いています。すごくむずかしい。今までの中で一番むずかしいかもしれないです。今「KKP」のような「ポツネン」のような、どの括りに入れていいかわからないものを作っているんです。もししたら、「KKP」アネックスみたいな言い方をするのもかもしれない。これも「KKP」と言っているんだから、「#0」になります。KKPでやるにしても、「TAKOFF」では違うものになると思いますので、楽しみにしていてください。できるのかかわらないくらい、本当にむずかしいですよ。でも、やるしかない。またコント様にやれと言われたので、やります（笑）。

|   |   |
|---|---|
| 4 | 1 |
| 5 | 2 |
| 6 | 3 |

1. 窓の外からサダキチに呼びかけるのは、べらんめえの江戸っ子口調のしゃべる毛虫だった。サダキチは毛虫とともに学校に登校するが……。
2. 「ポツネン」ではおなじみの小宮山（こみややま）さん。応用雑学料の非常勤講師でかなりの変わり者。他人からの電話にまたつい出てしまい……。
3. 三木谷教授の部屋をあさる小宮山さんが、試みに録音しようとしたカセットテープをデッキから出そうとして、思いっきりのぼしてしまう……。
4. 1年間に1文字しか話せない男が5年も費やして実現させた告白を失敗。「魔法のドロップ缶」の中から現れた魔法使いに願いを託すが……。
5. 恒例の「アナグラムの穴」のコーナー。言葉を並べ替えることによってまったく違う言葉に変化し、ついにはおしゃべり毛虫も飛び出した。
6. 突然始まったのは、どうやら「ウルトラクイズ」。だが、問題に移ろうとすると邪魔が入る。ようやく読み上げた第一問。正解者は……。







## 野口 毅

のぐちたけし○68年生まれ、大阪府出身。造/機械○全自動シアターでの活動を経て、舞台監督、美術プランナーに。小林賢太郎との出会いは、2000年のラーメンズ公演『News』から。以後、小林賢太郎が手がけるほとんどの公演の舞台監督をつとめている。



## 笑い重視の舞台装置

小林賢太郎が全幅の信頼を寄せる舞台監督・野口毅。彼の存在なくしては、今までの小林作品の数々が生まれなかったと言っても過言ではない。「コント屋」を、縁の下の力持ちとして、刺激を受けつつ陰ながら支える彼の、舞台監督としての采配とは？

小林さんとはもう長いつきあいになるんですね。

00年のラーメンズ「News」からです。もう8年くらいになりますね。そのときは、こんなに「インスタント」にこんなに長くやるようになるとは思わなかったです。

「この「ボツネン」という企画を相談されたときはどう思われましたか。

今までやったことのないような、でもあくまでも一人の「コント」ということで、最初の頃は僕も賢太郎も、何を相談していいのかわからない感じでした。全員が全員「これどういうふうになるんだろう」と雲をつかむような形で作り始めていて、実際稽古場でいろんなことをやっていても、実際どう見えるのかわからない。今回の「Drop」もそんな感じです。

「ボツネン」シリーズというのは、見えや困るものがない、全部見えたままなんです。だから最初の頃は、どうなるのかわからないまま現場に入って、現場で動いてみて初めて、これはすごくおもしろいかもしれないと思う感じでした。

「ラーメンズ」「KKP」「ボツネン」と担当されている中で、「ボツネン」はどういう面白さがありますか？

「ラーメンズ」のセットは限りなく何も無いに近い状態です。その中に情報があるとしたら、ふたりが動くことによって何か見えてくる。逆に「KKP」は、キー屋さんだったり、編集部だったり、ものすごく作り込まれている。その情報の中でみんなが動いて、その情報をおもしろく扱っていくんですね。具体的なものは無いですが、「TAKOFE」もそういう感じでした。でも「ボツネン」に関しては、賢太郎が一人だけということもあり、ひとつひとつの要素が持っている重要性みたいなものがあります。出てくる装置や小道具が、これだけではないというウエイトがすごく大きいんですね。

「ボツネン」は、シンプルだけに、少しの動きも大事になってきますよね。

今回の「Drop」に関しては、例えば照明や音響のきつかけが、今までになく圧倒的に多いんです。今までは照明もラーメンズのよ

01年のラーメンズ公演「鯨」から音楽を担当されているんですね。

会ったときに小林さんが、公演にチェロを使いたいと言っていて。だから、「鯨」のときはチェロで全部作ったんですけど、「僕、もつというんです」ってとアビールしつ（笑）。そしたら次の公演もお願いしていただいて、そのままズルと。でも、初めて観たときから小林さんの世界観には共感できる場所がありました。この出会いはすごくラッキーでしたね。

「どんなところが一番共感できましたか？」お笑いは好きなんですけど、そんなとつぷりは知らなかったんです。で、ラーメンズを観たときに、「こんなに面白い人がいるんだ！」と思った。なんか、質感が合うなと思いました。考えていることが一緒だなと。

ラーメンズの音楽を作るようになって成長したと思うところはありますか。

それや成長してはいますよ。本当にたくさんあります。例えば、ひとつの公演で、「こういうのをやるつもりなんだ」と言われたときに、「こういう感じがいいね」と提案してはみたものの、作ることがないので毎回挑戦なんです（笑）。それはすごくありがたかったです。頭では「こういうのが合う」ということはわかったけど、作ったことはなかったんです。

音楽にチェロを使いたいと言ったところも、小林さんのセンスが光りますね。おもしろいですよね。僕がチェロ奏者だからそう言ってくれただけなのかもしれないですけど（笑）。でも、小林さんの音のセンスというのは、すごく細かいんですね。だから、完全に自分の音楽というつもりで作ってはいません。「小林さんの音楽」というつもりで作っています。

「Drop」の音楽はどうですか？今回は結構悩みましたよ。ふたりでどうしようかと。もう「スカかな？」とか話したり（笑）。小林さんが最初に、「これは男の冒険話なんだ」「みたいな話をしていたので、じゃあこういう音かな」というのを少しずつ考えていったんです。最終的にはスカも取り込みつつ（笑）。とにかく、「コントバカ」というのを見せたいと言っていたので、そういう点ではあまりこぢくもクルではいられなかったです。シニールに見せるというのではなくて、とにかくバカに見せる



会場でも先行発売されていたCD「ボツネンの音楽」が、6月7日より全国発売。オリジナルワッペン付き  
POP GROUP Recordings/POP112/  
¥3,300 (税込)

というところを重視しました。

最初に「ボツネン」の音楽をやったと言われたときはどう思いましたか？

一人でやるということイメージしたときに、これは相当大変だなということは思いました。それで、「一人いらない分、もうちょっとこつで補えるところは補っていかないと」と思いました。ラーメンズとはやっぱり作り方が違います。

作り方は違うと思いますが、ただ、クオリティに関しては、そんなに変わらないと思います。「ボツネン」をやったことによって、改めてラーメンズもおもしろくなくとも思いました。この間「TEXT」をやったときもすごく新鮮でした。久しぶりだったものもありますけど、作るときに今回は「ラーメンズ」の音楽だということ、より意識しました。

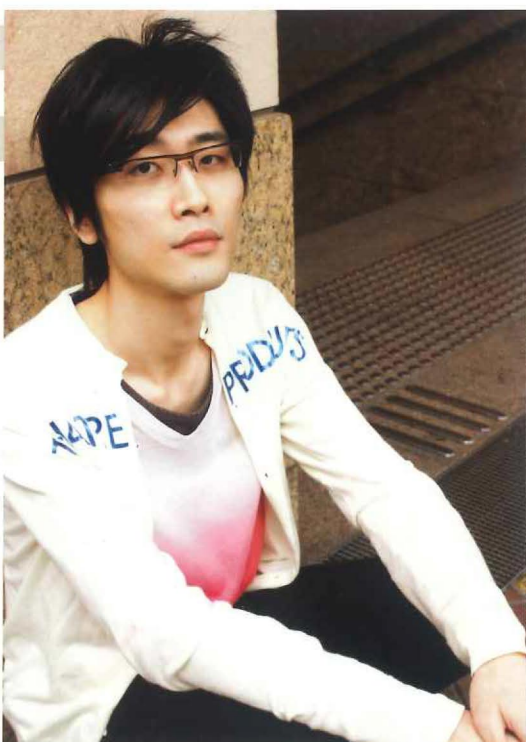
CDになった「ボツネンの音楽」を聞いても、今にも「コントが始まりそうで、すごく世界観が確立されているな」と思いました。CDを聴いてくれた人からいろいろコメントをもらっているんですけど、「BGMとして最高です」と言ってくれる人もいますし、「BGMとしてはあまりにも想起させるものがあるから聴いてはならない」という人もいます。おもしろいですよね。

今後小林さんとの共同作業は続きそうですね。もちろんです。お願いされる限り（笑）。でも、いろいろ話し合いをしながら、最終的には勝手にやらせてくれるのがあります。本

うにシンプルだったんですけど、セットが増えたというのがある。全体的にすべてのスタッフが賢太郎の世界に入っていく感じなんですよ。賢太郎に明かりを当てていくというよりは、明かりの中の賢太郎という。賢太郎がやることに對して音が出ているというよりは、音を出してから賢太郎が動き始めるみたいな。そういう意味でいろいろありますが、今までよりクロスオーバーしている作品にはなっていると思います。パフォーマーとして小林さんはすごくいい時期に来ていると思うんですが。

今たぶん、一番いろいろなことが出来る時期なんじゃないですか。そして、まだまだやりたいことはあるだろうし。次に何を言われるんだろうというのはいま怖いんですけど（笑）。賢太郎もそうかもしれないですけど、僕も賢太郎との作業をするのに、最近やつと肩の力が抜けてきたところがあります。だから今、スタッフチームと小林賢太郎が、お互いにかなり理解しています。すごくいい時期に来ていると思うんですが。ここでも何か新たなアイデアがあって、それに対して共同作業をやると、スタッフも含めてもうひとつ進化できるのではないかなと思いますね。

もう次に向かっているのは動き出しているんですね。この間、次の公演のための画像資料的なものを渡されました。もうすでに次の宿題は出されています（笑）。



## 笑いと音楽の幸運な出会い

小林賢太郎の舞台作品と徳澤青弦の作る音楽の共通点は「クールさ」だ。「ボツネン」の世界観にも実にマッチしていて、音楽が聞こえてきた途端に「ボツネンワールド」に引き込まれる。そんなふたりが「クールじゃられない」と音楽を作った作品『Drop』へ込められた思いとは？

## 徳澤 青弦

とくざわせいげん○音楽ユニット「anonymass」でチェロ奏者として活躍。その他にもプレイヤーとして、さまざまなアーティストのレコーディングやライブに参加。その他、映画、CM、舞台などの音楽を手がけるなど活動の幅は多岐に渡る。小林作品の音楽を手がけるのは、ラーメンズ「鯨」(2001年)から。



「丸」に興味がありました

——まずは『UFO』の感想を聞かせて下さい。

「コンドルズが円形劇場でやるのは97年以來なんですけど、シンプルに円形の舞台は楽しいぞ」と確認できましたね。それから、僕の中では丁度いいタイミングで、そんなにむちゃくちゃダンス寄りじゃなくて……人の営みっぽい感じが出来るというか、分かり易いことって結構難しい気もするじゃないですか。でも、それを何の気負いもなく出来るタイミングが訪れたのかなくて。思いのほかこの作品は……作品というか、この出来事は、よく出来たと思います笑。

——「円形の舞台が楽しい」と仰いましたが、どういったことが印象的でしたか？

舞台が丸で、どちら側も前じゃないというところにちょうど興味がありました。円形の舞台って必然的に全方位になるから、把握がとて難しいじゃないですか。多分、昔だったら「うちのお客さんに見せた後、逆側のお客さんにも見せてあげなきゃ」という、自分の裏や自分の前を意識したと思うんです。ところが今回、それが全くない。要するに、どこにも「前」を設定しなかった。だから、ただそこに居るだけなんです。日本だと少ないけど、ヨーロッパとかだと公共の広場ってあるじゃないですか。そういう場所は全方位型なんですよね。そこは、大道芸とか占いや、色んなパフォーマンスが行われているんですけど、その

誰かが決定権を持つという意味で「構成」

——ちょっと話題を変えますね。この企画に合わせて「コンドルズでの近藤さんの役割」のようなお話を聞かせて欲しいのですが、チーフ映像振付とありますね。

肩書きとかって、割とどうでもいいんですよ。僕笑。「円ダンスカンパニーだから「振付」にしているのかな。映像は、分かり易く言う」と動画面系は必ず僕がカメラを回すんですよ。それで僕が「映像」なのかも。編集は今はほとんどオクダサトシさんにやってもらっているから、オクダさんが映像っていった方がいいですね笑。

——「構成」はどうでしょう？

要は、「コンドルズ」という集団の中で、僕が最終決定権を持たないとかめちゃくちゃになってしまっている。あと、それとは全然違うことでもひとつ。僕はそんなに詳しくないけど、日本人って丸が好きじゃないですか。図形的なことだけじゃなく、「和」とか「角がない」とか、そういう意味合いでも、他にも、幾何学とか円という形にまつわる不思議性についてとか、そういうことにも興味を持って。

——物理的なことだけじゃなく、「円」という言葉の概念や思想みたいなものも同時に気になった。今回そういうことにも興味がありました。

しまっているんですよ。別に上とか下って意味じゃなくて、とにかく誰かが代表して決定権を持つ。それがコンドルズだと近藤良平になるって意味で「構成」です。

——それ以外で近藤さんが担っていることと言えは？

それはすごく微妙だよ。僕、昔からそうなんですけど「人に役割を振る」っていうことが……出来るんだたら本当にしたい！笑。が「お前がこれやらないとダメだぞ」「みたいな変な責任は持たせないでください。コンドルズの場合、長い付き合いで必然的に「××は誰がやる」「みたいな蓄積があるので、「お前、これやっておいでくれるよな？」って言葉で言わずに、そういうオーラを出すのが、僕の役割笑。

——共通項を持った人がたまたま居合わせた

——コンドルズは絶妙なチームワークバランスを保っているように思えるのですが、そういうチームワークについて、どのように考えていますか？

例えば……立入禁止の工事現場があったとして、仮にひとりだったら、そこには入らない人達なんです。でも、5人くらい集まると「お前、先に入れよ」とか言っているうちに結局全員入っちゃう……そういう感じ。それは、ゆるいけど、基本的にはそこで遊びたい」とか「そこには何か隠されて面白そう」とか、そういう共通項がある気がする。団体力がある



## 近藤良平

こんどうりょうへい ○東京都出身、南米育ち。96年にコンドルズ結成、主宰として構成・映像・振付を担当。パンドプロジェクト「THE CONDORS」としてはベースを担当。TBS系列「情熱大陸」出演。NHK総合「サライーマン NEO」「サライーマン体操」、NHK教育「からだであそぼ」でもお馴染み。第4回朝日舞台芸術賞 寺山修司賞を受賞。

次回予定○コンドルズ 埼玉スペシャル公演2008「大いなる幻影」5/17・18○彩の国さいたま芸術劇場 ○THE CONDORS 対バンライブ 6/5、7/17○渋谷eggman ○THE CONDORS ツアー 今夏開催予定

コンドルズといえば、やはり主宰の近藤良平なしには語れません。でも、これは半分アタリで半分ハズレなのだと思います。中核を成すが絶対的支配者ではない。というか、そもそも支配者なんて言葉と真逆にあるからこそ、あの闇雲にエネルギーギッシュで自由なオーラが生まれるのでしょう。「ひとつの公演を作る際、近藤良平はどのような立場にいるのだろうか?」そんな疑問を胸に抱きつつ、実際に会ったそのヒトから感じたのは、会う人全てを魅了するかのよう、太陽の如き引力でした。

## 太陽の引力に惹かれて

小さくて大きい、コンドルズへの貢献

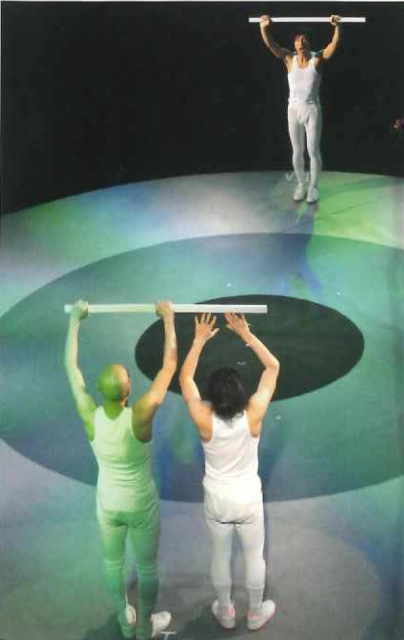
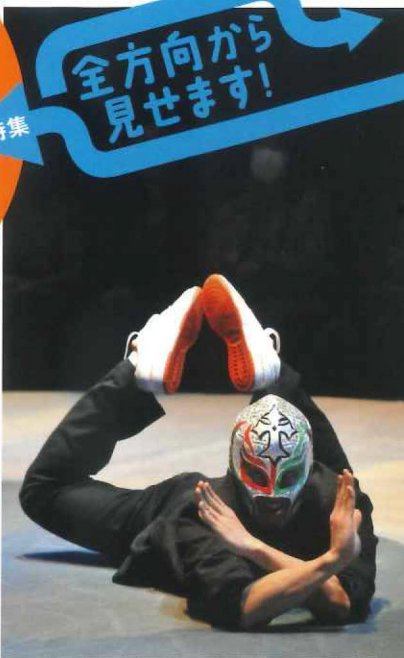
最後に「このメンバーはこの点でコンドルズに貢献している」という具体例があれば教えて欲しいのですが。

面白いですね。個人的なことを言えば、僕この頃ずっと時間を守るようになったんですけど、メンバーの中にも時間にルーズな人が多いんですよ。ルーズというか、ひどすぎる笑。その中で橋爪(利博)が唯かな、男のポリシーとして時間を守る「タイプなんです。これは僕にとって非常に有り難い。

あと、ドアを開ける係も橋爪だね笑。それから僕、すぐ忘れ物をするんですけど、稽古場で言えば「良平さん、置いてきましたよ」って必ず届けてくれるのが藤田(善宏)。それもすごく有り難い。僕だけじゃなく他の人の忘れ物も持ってきてくれるし。あとね、僕が非常に嬉しいのは、これはみんなそうなんだけど、僕が好きなお小物とか音楽とかを知っているから、そういうのを持ってきてくれるんです。僕にくれるんじゃないで、コンドルズにくれる。

——それらを皆さんで共有している？

そうそう。そういうのはいいですよ。他のみんなもそうだと思うけど、CDとか聴いてても「これコンドルズで使える」って思っちゃうんですよ。自分ひとりの為に聴く人は少ないような気がします。



コンドルズ  
ブラジルツアー  
2008前夜祭:新

UFO★

特集

全方向から見えます!

構成・映像・振付・出演○近藤良平  
出演○青田舜一 石淵聡 オクダサトシ  
藤山康晴 鎌倉道彦 古賀剛 小林顕作  
橋爪利博 藤田善宏 山本光二郎  
照明○坂本明浩(One Drop) 音響○原  
嶋結平(SONIC WAVE) 舞台監督○筒  
井昭善 舞台美術○ArtBros. 衣装○高  
松浩子 セリフ脚本○小林顕作(宇宙○  
コード) プロデュース○小野晋司(青山  
円形劇場)+藤山康晴(ROCK STAR)  
2/20~23○青山円形劇場

接近! 降下!! 着陸!!! 08年2月、コンドル製の  
未確認飛行物体が青山円形劇場に舞い降りた!  
コンドルズが「円」にこだわり作り上げた新作「UFO」。  
ステージを円形のまま使い、文字通り360度から  
全てをさらけ出したコンドルズが、  
今度は演劇ぶっで「全方向から見えます!」



# コンドルズの「ミック」は語る

近藤良平を「引力」に例えるのであれば、この人は「推進力」ではないでしょうか。コンドルズのプロデュース業と社長業を一手に担い、バンドプロジェクトでは、ボーカルとして真つ向からオーディエンスを受け止めている勝山康晴。ショービジネスへの興味と才覚を持ったひとりのクリエイターは、独自の視点でこのカンパニーを見つめていました。

絶対「って言葉が吐けなくなっちゃう気がする」

——勝山さんがプロデューサーに就いたきっかけは何だったのでしょうか？

98年にグループのフェスティバルに応募したんですけど、そこからかな。それまでコンドルズと呼ばれた劇場でしかやらない団体だったから、「このままではいかん」と。多分、ダンス界の人達を見返したかったんでしょね。「俺達の方が断然面白い!!」って。更に、現在ではプロデューサー兼社長という立場で。

出来ることなら誰かに譲りたいです(笑)。月並みですが、やはり忙し過ぎる。

社長って立場はそこはかとない責任感がありますよね。仮にも会社です。税理士さんとお金に関する細かい相談をしながら、たまに「俺、何してるんだろ?」とか思ったり。ただ、ひとつ言えるのは、自分が作品作りに思いっきり関わりたい、それを本気でやる気になれないんです。「絶対観に来いよ!」って宣伝する上で、絶対「言葉が吐けなくなっちゃう気がする」。「俺、面白いと思ってるもん!」という実感は、出る側及び作る側にはない。

逆には、社長兼クリエイター。故の強みなんじゃないですか？  
多分、ここに至るまでのコンドルズの破竹の勢いというのは、僕が色んな所で狂ったように宣伝しまくったこともひとつあると思うんです。その狂ったような宣伝には、そういう情熱が間違いなく入っていたと思います。

そのまますって作品も……

——では、社長兼プロデューサー兼ダンサーの勝山さんから、「UFO」に関する感想をお聞かせ下さい。

「ようやくここに辿り着いた」という感じがしますね。こう言っちゃうと身も蓋もないんですけど、「労を少なくして功が多い」という卑怯な作品(笑)。昔から卑怯なものは作ってきたんですけど、今回は卑怯なのはバツとまとめた作品で、あんまり練らなかつたんですけど、それが逆に功を奏したという。最初に出したアイデアが、何度話し合いを重ねるうちに、とんがり度でど



## 勝山康晴

かつやまやすはる○静岡県出身。コンドルズではダンサー兼プロデューサーとして活躍。バンドプロジェクト「THE CONDORS」ではボーカル、作詞作曲を担当。ロックスター有線会社の取締役も務め、コンドルズにおけるビジネス面を一手に引き受けている。

次回予定○「コンドルズ血風録」(オブラ社)8月文庫刊行予定○コンドルズ写真集「第2ボタン」(扶桑社)発売中○THE CONDORS 1stアルバム「無条件幸福」(エピックレコード)発売中



——青山田形劇場についてはいかがですか？  
非常にユニークでしたよね。公演初日が終わった後に(近藤)良平氏が田形劇場は30歳を過ぎた奴しか立ちやいけないよ。20代の背中には迷いがある、って言って、それがちょっと面白かった。いいこと言ってるな、って。これ、僕が言ったこととして書いて下さい(笑)。プロデューサーとしては「大きい劇場ばかりじゃなくて、たまにはこういうのもやらないと」って思いますよね。ライブ感、距離の問題もかなり影響するじゃないですか。今回みたいな公演で、改めてコンドルズを見直してくると嬉しいですね。

## ストーンズにおけるミックジャガー!?

——勝山さんがコンドルズのプロデューサーとして意識していることは？

# コント作家の知られざる野望

コンドルズの魅力のひとつに「ロックなダンスとゆるいコント(笑いの融合)」があるとありますが、その「笑い」を担当するのが、ダンサー兼作家の小林顕作。自らが主宰するユニット「宇宙⑨コード」でも、コント中心の公演を行っているので「笑い第1主義」な人かと思えば……心優しき作家は、コンドルズへの愛情をちらりと覗かせつつ、自身のポジションについて語ってくれました。

結局は共同作業に持つていく

——まず、コンドルズでの小林さんの役割についてお聞かせ下さい。ダンサー兼コント作家、あとは……

役割なんて全然ないんですけど(笑)、コント台本を書いたら演出もしなきゃいけないので、コント演出もやりますね。後はネタ出しとか。(近藤)良平が「やりたいことを言え!」言うから、みんな色々と出し合って、それを良平が最終判断する。良平の髓にピンと来たら採用。稽古場で話し合ったり、飲み屋で話したり……

——ミーティングはどのような感じですか？

目の前にタツとビールが並んで(笑)、井戸端会議的な。僕が「UFO」で言ったのは「ものすごく高度なフォークダンスがやりたい」とか「物言いが言いたい」とか。2



つとも採用になったんですけど、あのフォークダンスが高度だったかどうかは分かりません(笑)。

——コントを書く時のお話を聞きたいのですが。

僕は当て書きをする人間なので、みんなの意見を聞いて話し合いたいって書けないんです。みんなから「こういう役が当たりだ」とか、リサーチしてから書く。結局は共同作業に持つていくというところが、僕と小林さんとのイメージで書き始めちゃうと、そこで作品の色が決まっちゃうから、そういうのが嫌なんです。やっぱり、ダンスありきでいたいし、みんなが「これなら出来る、勝てる」というものじゃないと。作風はどうでもよくて、大事なことは、コンドルズの公演として勝つこと。要は最後に勝てばいいと思っ書いてますね。

コントで覚えてもらえるように

コントに関して確実に意識しているのは、初めて観た人にもメンバーを覚えて帰ってもらうこと。ダンス公演だし、終演後に「あの人のパフォーマンスが良かったね」とか話してもらいたいですよ。だから、「どの人?」「あのネタあの役やってた人」みたいに、コントのキャラで覚えてもらえること、コントのキャラクタイズをしかりつづけることが大事なんです。キャラでしかり覚えてもらって、帰りの電車でどれだけパフォーマンスの話題が弾みかという、やっぱりそこなんじゃないかな。

——小林さん自身の「UFO」の感想はいかがですか？

僕としては、奇跡的な傑作だったんじゃないかな。



## 小林顕作

こばやしけんさく○東京都出身。96年に宇宙⑨コード結成。作・演出・出演を担う。同年、コンドルズへ参加し、コント部分の脚本・演出も担当。シャニースの舞台や阿佐ヶ谷スパイダースなど客演多数。声優としても活躍している。

次回予定○コンドルズ 埼玉スペシャル公演2008「大いなる幻影」(映像出演)5/17・18○彩の国さいたま芸術劇場 劇団EXILE 第2回公演「CROWN ～眠らない、夜の果てに……」(出演)5/16～26○青山劇場

いかと思っいます。理由は……分からないんですが、でも、こういうことってあまり起こらないな。

——他の公演とは違う、何か今作にあつたんでしょうか？

それはあつたかも。ええと……例えば、今回はお客さんとの距離が近かつたから、「こんな近くで見られてるから手を抜けない」とか「田形だから、どこから見られても納得出来るようにしたい」とか、そういう意識は高かつたかもしれない。

海外公演は現地の言葉で

——「UFO」の後は、ブラジルツアーがありましたね。ちなみに、海外公演のコントは日本語で？

いえ、全部現地の言葉で。内容も現地の人が喜ぶテキストに変えます。

——台詞を覚えるだけでも手間じゃありませんか？

大変です。実際、前日まで全然喋れませんでした。他の作業しながらずっと練習

沢山ありますけど、まずは「飽きさせないこと」が1番重要だと思っいます。新規のお客さんは、初めてコンドルズを観たらミックを受けてくれるんですよ。それは自信があるからなんです。問題は固定客なんです。この人達を飽きさせないっていうのが僕にとっては結構大きなテーマで。

——お話を聞いていると、勝山さんはビジネスへの高い興味と才能を持っている人なのでは？と感じます。

そうですね。そういうこと、やたら得意なんです。本当はね、個人的にはあんまり無くて良かった才能なんです(笑)。例えば、良平氏にそういう能力があるかって言ったら、ないですよ。でも、それがアーティストじゃないですか。僕はそういう人になりました。でも、なれなかつたんですよ。

——例えばコンドルズにおける勝山さんの存在って、どんなものに例えたら良いでしょうか？

すごく、すごく不遜なことを言わせて頂くとストーンズにおけるミックジャガーじゃないですか。ストーンズは、プロデュースは勿論グズズデザインまで彼がやってるんですよ。実はあの、超ビジネスマンだから。ああいう風になりたいと思っいますけど……まあ、あの人は勝てないじゃない(笑)。



## 稽古場でみんなを見てると、今の状態がよく分かる

——コンドルズメンバーと皆さんの関係性ってどんな感じですか？  
坂本 非常に仲が悪いと思っいます(笑)。  
簡井 仲悪い訳じゃないけど(笑)……ただの飲み友達。  
原嶋 僕も、友達ですかね。

坂本 僕がプライベートで(近藤)良平さんから電話もらったのは今まで2回。「ワールドカップで日本が勝ちました」と「犬を飼いました」これだけ(笑)。仕事の電話は1度もないです。

——坂本、稽古場でいつも犬の話をするんです。犬の話が良平さんの娘さんの話じゃない。だて、稽古場で作品のこと聞くとするとみんな逃げるもんね。すっごくいなくなる。

原嶋 そういふ話は聞かれないんだろ。ね。  
坂本 通しとかも見せてくれなさい。  
簡井 通しとかも見てくれなさい。  
坂本 簡井さんに「X日通しやるから」って言われて稽古場に行く、みんながサッカイやってる。で、良平さんや勝ちゃん(勝山康晴)に質問すると、良平さんは「ニコ」して、勝ちゃんは「ええ」って首を傾げる。結局、通しをやらずに稽古終わっちゃうんだけど、実はその場のみんなを見てると、彼らの今の状態がよく分かるんです。通しって、普通は無理無理でもやるじゃないですか。でも、コンドルズは通せない時は通さない。

簡井 間に合わない時はそのシーン自体を外しちゃう。それでも成立するから。  
坂本 コンドルズの場合、1枚の絵じゃなくて、パールのワビースみたいなものだから、バラバラだからこそ面白いよね。最終的には、コンドルズがそこについて、舞台上で光ってればいいんですよ。それが第1条件だからね。

## 筒井昭善

【照明】

## 坂本昭浩

【照明】

## 原嶋紘平

【音響】

はらしまこうへい○滋賀県出身。音響としてコンドルズの公演に携わる。SONIC WAVE社員。現在、音響の専門学校で非常勤講師もしている。THE CONDORS ではギターを担当。

さかもとあきひろ○京都府出身。音響としてコンドルズの公演に携わる。今も音もさほどかわりなし(本人談)。そろそろ照明歴30年の、なくてはならない人。

つついあきよし○愛知県出身。舞台監督としてコンドルズの公演に携わる。多くの演劇団体に、とって替の力持的的存在。

## 実録

コンドルズの公演が出来るまで

自他共に認める、フレキシブルカンパニーのコンドルズ。稽古時間の半分近くをサッカイに費やすなど、その伝説(?)は数知れず。そんなコンドルズ公演がどのようにして成功を収めているのか? その鍵はスタッフの献身的な影の努力にあるのではないかと。そんな想像をしながら望んだ、舞台監督・筒井氏、照明・坂本氏、音響・原嶋氏への鼎談インタビュー。多分、ここに書いてあることに嘘偽りは一切ないと思っいます。お3人のユーモアは沢山含まれていると思っいます(笑)。

誰かが「ちょっと違うよね」って

いきなりですが、コンドルズの公演の作り方について教えてください。

筒井 決まった流れとかはないです。ある日突然本番3日前だけとどうする?」って言われることもある。3ヶ月前に「こんなこと知ってる?」って尋ねられることもあるし。連絡ない場合は、不安だからつちから連絡する、みたい。

——「UFO」に関して連絡は？  
筒井 今回なかったです。

坂本 なかったです。

原嶋 みんななかつた!?……僕もなかつた。

筒井 僕らの間で「多分、通し(稽古)やってくれないよね」とりあえず用意だけはしとこう」とか話してて結局「じゃ、明日小屋入り」って。

——(笑)。それは今回に限ったことですか？  
筒井 普段も一緒です。

坂本 割とこんなもんだよね。

筒井 場当たり注(場面)ごとのリハーサルで、僕らも同くコンドルズも、やりたいことをやって、「これでどう?」って。

原嶋 それが違うと、その場で誰かが「ちうと違うよね」って言う。

——メンバーのアイデアをスタッフの皆さんがまとめる、と……  
筒井 まとめないです(笑)。  
坂本 だてて今回まとまらなかったじゃん(笑)。  
原嶋 まとめる人は誰もいないです。





3つのブーシリース、「センゴクブー」「バクマツバンブー」「デンセイクブー」で、毎回新しい一面を見せ、役者としても凄みを加えてきた大野智。今回の風では、火のような激しい内面を見せてくれた。そんな変化を誰よりも楽しんでいるのは、大野智自身である。

### 「Episode 1」なるばあー

ブーシリースは「デンセイクブー」で終わりにかと思っていたんです。でもそのあと、きだつち(きだ)に誘われてご飯を食べに行つて、そこで今回のアイデア「Episode 1」を聞かされて、あ、面白そうだなと。「センゴクブー」に出ていたことから、風助が人を斬つてたという想像はあったから、今回脚本になんかを読んで、改めて「なるばあー」と思いました。

風は、不動を倒すという目的はあるけど、どう生きていかかわらない。正しい生き方を考える前に、両親を殺され、妹のりんを奪い取られ、復讐しか考えなくなった。子どもの頃は優し

かったけど、いろいろなことで痛めつけられて変わってしまった、かわいそうなやつです。

前の3作品といちばん違うのは、風はセリフが硬いんです。昔風というか。風助は砕けて言葉で人を操る。ちょうど今回のきださんみたいな役だけど、風は笑わないし毅然としている。風助は「大野と似ている」とよく言われて、実際やりやすかったけど、風の1つの目的に向かう熱さは僕にもあって、表情には見せないけど目的を果たすまでは絶対諦めないところは同じだなと。きだつちはそういう部分を

## 大野智

ちゃんと見ているんでしょうね。

### 宝物が増えていく

風は不動に、複雑だけど熱い気持ちを持つてなんです。殺したいけど殺せないし、試されているうちに1つの感情が生まれて、最後に病気のこや本当の気持ちを知って、すごく悲しくなる。

舞台上でも、アツヒロさんとはお互いに負けたくないという緊張感がありますね。芝居のなかで、風は不動に何をやっててもかなわないのが悔しいけど(笑)。アツヒロさんは前から僕の芝居を観にきてくれて、芝居の話もいろいろ

ろしてくれるんですが、舞台全部が見えてるし人の芝居もよく見えている。すごいなと思います。

ブーシリースは、1年か2年に1度のこのペースがちょうどいいな。いつもの仲間が集まって1つの作品を作つて「またね」みたいな。その空気感って、半分開ききり入ってきても、あとになつて「あのときはこうだったね」なんてしゃべるのが単純に楽しい。続けることはたいへんだし、踏み越えるものも多くなるけど、そのぶん得るものも大きいはずだから、いいペースで舞台を続けていきたいなと思っています。



おおのさとし◎東京都生まれ。99年「A・R・A・SHI」でデビュー。以後、嵐のメンバーとして、コンサート、バラエティ、ドラマで多彩な活躍を続ける。演劇は02年の「青木さん家の奥さん」で初主演。以来「センゴクブー〜戦国風」「バクマツバンブー〜幕末風」「デンセイクブー〜転世風」のブーシリースや、少年座ミュージカル「PLAZONE」、またストリートブレイ「TRUE WEST」、ミュージカル「WEST SIDE STORY」などに出演。嵐としても国内外のコンサートやソロ活動、また美術作品のアーティストとしても「FREESTYLE」という個展を開く実力の持ち主。

# 風にも自分がいる



両親を失い妹を奪われた1人の青年は、憎しみを支えに“熱い風”の日々を生きている。だがある日、彼の心に1陣の風が吹き抜けて……。大野智のブーシリースが、新しい展開を見せた。スタートとなった『センゴクブー〜戦国風』その原点となるあの時代へ物語は回帰していく。

ブーシリース  
Episode 1

## アマツカゼ 天つ風

作・演出・出演◎きだつよし 舞台美術◎川口夏江 照明◎松林克明 音楽・演出◎山本嘉久 衣装◎高木聖子 山下和典 殺陣◎清家利一 振付◎浅井みどり 他 出演◎大野智 佐藤アツヒロ 声優星 松本まりか 轟/園達夫 松田浩時 他 3/21〜4/7◎青山劇場、4/24〜28◎大塚NHK大阪ホール



ときは戦国時代、両親を殺され妹と生き別れた風(大野智)は、復讐のため修羅の道を行く。憎い仇の不動(佐藤アツヒロ)をいつかこの手で倒し妹を助け出す。そのために情けを捨て、戦いに明け暮れる風。だがある日、不思議な男・風(きだつよし)が現れて「人を助ける風になれ」と風を諭す。





全方向から  
見せます!

# 舞台の大野智は 獣です!



きだ  
つよし

**作**・演出家として、ブーシーズを生みだしてきたきだつよし。今回はキャストの一人として大野智と共演。どこか胡散臭い男をひょうひょうとした持ち味で見せてくれた。その役者・きだが見た大野智は?

最初の「センゴクー」以来、ブーシーズは、僕の大野智観察日記みたいなところがあつて、テレビやコンサートで見たその時々の大野くんから発見したものを、役柄に書き込んでいるという感じなんです。

3作目の「デンセイクンブー」までは、幅を広げる方向で作ってきたので、今度はかっちり芝居させてみたいなど、僕もそうなんです。センゴクーの風助を書いた頃より大人になって、人間の複雑さもわかってきた。だからこそ

きだつよし◎大阪府生まれ。92年、劇団「TEAM 発砲・B-ZIN」を結成。作・演出・出演を務める。アクションとシチュエーションコメディに重点を置いた作品で人気に。07年に15年続いた劇団を解散した。外部での作・演出も多数。このブーシーズの他に、少年隊ミュージカル「PLAYZONE」の脚本や、「忍者イリュージョン-NARUTO-」(作者・演出)、「pnish」(トレーナーボックス) (作・演出)などを手がけている。

次回予定◎今後も様々な企画が進行中。詳細は、ブログをチェック!  
<http://kidablog.jugem.jp/>

やれる作品だし、「センゴクー」の前段でありながら、現在の大野くんや僕を映していると思います。

ブーシーズは初めて「出演」したんですが、それは風の役は僕じゃないとダメだと思つたから。「センゴクー」の風助と「アマツカゼ」の風は真逆の役柄で、風が風助になるには影響を与える人物が必要だったんです。実は「スパイダーマン3」を見た、作者のスタンリーが1シーンだけ出て、スパイダーマンに「1人の男が世の中を変えることもあるんだ、がんばれ」と言うところがある。僕が直接語る「説得力」を感じたので、僕も作者として「これからのシリーズをまかせたぞ」みたいなことを言うシーンがあつてもいいかなと思つたんです。

でも、出たら出たですごくたいへんで(笑)。緊張するというより、いちばん感じたのは「見てのより」緒にやる大野智はもつといいぞ」ということで、こんなに感情を爆発させるんだというのが間近でわかるし、こちらも引っぱられるんです。役のうえでも風は風を好きになるんですが、本当に好きになっちゃいそうなお気持ちでした(笑)。

役者大野智は、可能性をたくさん秘めているし、ちゃんと実現してくれるから、いろいろなことを投げ込める人です。彼の可能性の広さが新たな作品を書かせてくれるし、3作やってこれで終わりがなと思つたら、また別の顔があつた。彼は場を提供すればすごい力を出す人です。舞台の彼は絶対にテレビでは見られない。舞台上の大野智は感性と勘で生きてる。ある意味、獣ですね(笑)。

## 自分のこだわり なんて全然ない

**青**山劇場の舞台空間が、戦国  
の城に、そびえ立つ岩山に  
なる。ドラマティックなブーシ  
ズの装置を生み出す舞台美術家、  
川口夏江。きだワールドのスピ  
ド感とファンタジー性を支えるた  
めの工夫とは?

「デンセイクンブー」以外の3本を手  
がけてます。きださんからは映画みた  
いな発想を要求されるので、お話のス  
ピード感やダイナミック性を出せたら  
いいなと思つてます。

今回は「岩山の崩れる様子」が欲し  
いというので、セリで沈めたんですが、  
青山劇場はたくさん機構があるので、



大阪公演のことを考えなければもつと  
大胆に壊したかったですね(笑)。

殺陣が多いので、足場は神経を使  
います。真ん中の階段は1段30cmで  
ちよつと高めなんです。階段裏にある  
細工を見せないようにしつつ、役者さん

の負担を最小限に、かつ視覚的な美し  
さも考えたら、ぎりぎりあの高さにな  
りました。

照明スタッフとはよく話し合います。  
照明は当てる対象が必要だし、装置は  
色をつけてもらったり隠してもらつた  
りしますから。金鉱脈の金の光は私の  
アイデアで後ろから当ててもらつて、キ  
レイでしょう(笑)。

舞台美術を考えるには、まず台本  
を読み解くこと、演出家のイメージを  
ちゃんと聞くことが大事ですね。私は  
自分のこだわりとか全然なくて、求め  
られるイメージを考えるのが楽しい。し  
幕が開いて、組んであるものを面白く  
使ってくれてくれると嬉しいですね。

**ブ**ーシーズに今回初めて参  
加。殺陣を手がけた清家利一。  
俳優としてのキャリアと、映画現  
場で培った正統派の形をベースに、  
この「アマツカゼ」の立ち回りを、一  
段とリアルで迫力あるものにして  
みせた。

僕は俳優が本職なので、殺陣も芝  
居の流れとして捉えるんです。まず台  
本を読むし、稽古場で殺陣の入らな  
い芝居を見ます。そして心理やシチュ  
エーションを考えつつ、自然な流れで  
殺陣をつけていきます。そのほうが役  
者も覚えやすいんです。たとえば「な  
ぜ後ろから斬るか」というと隙があるか  
ら」と説明すると、役者も納得して動  
けるんです。

出演者のなかには初心者もたくさ  
んいます。でもなか得意なスポットが  
あれば、その形を生かした殺陣を考え  
ます。今回の陽炎松本まりかさんは、  
空手が得意だというので「突き」を剣

## 清家利一「殺陣」



せいけりいち◎俳優、殺陣師。愛媛県出身。JAC(現JAE)で鍛え  
たスタントとアクションで、特撮ものやスーツアクターとしても知られ  
ている。そのほかにも映画に舞台に幅広く活躍中。最近の出演  
作、テレビ07年「奥山火山」(NHK)「水戸黄門」(TBS)、舞台は05  
年「あずみ」、06年「ラヴ・シン」など。特撮テレビドラマ「炎神戦  
隊ゴウジャー」(テレビ朝日系、毎日曜7時30分〜)にレギュ  
ラー出演中。

次回予定◎新機演舞場2008年8月公演「幕末純情伝」(作・演  
出/つかこうへい)

## 心理を考えて 殺陣をつける

いし堂々とした感じに殺陣をつけまし  
た。でも、ジャニーズの人はみんな、身  
体感覚が優れているし覚えが早いんです。  
実は大野くんとは10年ぶりで、彼の  
デビュー前に京都の劇場で一緒に出て  
いて、親代わりみたいだったから、今回  
大きくなった大野くんに感謝しました。

**役**者の動きを追いかけて、舞台空  
間に陰影をつける光。「アマツ  
カゼ」の自在で美しい色や、不気味  
な闇を操っているのは照明家・松林  
克明。全回関わっているというブー  
シーズでの照明プランを語る。

このシリーズでは、いつも僕はことこ  
んやらせてもらってます。暗いところは  
暗くするし、不気味なところは不気味  
に。それは役者の能力が優れてるから  
で、暗くしても存在してくれるし、立  
ち回りもやれる。殺陣の清家さんの力  
もあるんですが、慣れない人は恐い  
と思います。下からチカチカ、ライトが  
煽つてるんですから。それに負けないで  
動いている役者さんたちはたいしたもの  
です。

今回、上手と下手の岩山をなるべく  
隠しておいてと要望があつたので、  
前半は真ん中のアクティングエリアを  
生かして、両サイドの装置はなるべく

## 川口夏江「舞台美術」



かわぐちなつえ◎舞台美術家。東京都出身。都立工芸高校デ  
ザイン科、多摩美術大学多摩美術学院舞台美術科で舞台美術  
を学ぶ。青年座、自転車キンクリート、M.O.P.、キャラメルボッ  
クス、花組芝居など、小劇場から商業演劇まで幅広く手がける。  
最近の舞台は、06年「第32巻海丸」07年「メルシイ! 僕う?」、  
08年「すけだち」など。

次回予定◎「第17捕虜収容所」5/19〜6/8◎東京グローブ  
座

## 松林克明「照明」



## 新しい機材や 知識を楽しみながら

消すようにしました。

照明はどんな新しい機材も出て  
くるし、知識も必要です。演出家から  
聞かれた時点で知らないとは言えない。  
でも新しい機材をネットです探したり、  
いろいろ工夫するのは楽しいです。今  
回もレーザーは持ち込みで、レンタルだ  
と何百万ですけど、低予算で買ったもの  
を使ってます。すぐ壊れるかもしれない  
けどちゃんとレーザーになっている  
ので、ヒットかなと笑。新しいもの好  
きですね。照明は次はどこへ行くんだ  
ろう、いつか立体を照明で出す日もく  
るかもしれない、とか考えるとワクワク  
します。





モッカモッカ コントライブ3

# I WANT YOU

作・上田誠(ヨーロッパ企画) カリカ家城  
 小林剛作(宇宙ロコード/コンドルズ) ブルースカイ  
 作・演出・モッカモッカ  
 出演・加藤啓 辻修 中村まこと(猫のホテル)  
 中村たかし(宇宙ロコード)  
 舞台監督・津江健太+至福回  
 舞台美術・中村たかし(宇宙ロコード)  
 映像・荒川浩輝(ミヤコハタター) 照明・棚田晃代  
 音響・加藤進(サウンドバスターズ)  
 衣装・松本夏記(ミシンロックス)  
 小道具・秋山響香・和由里子  
 2/29~3/3の北沢駅前劇場

拙者ムニエルに加藤啓+動物電気の辻修による  
 コントユニット・モッカモッカ。  
 年に1度じゃ勿体ない程のクオリティ&バカバカしさでおくる  
 “サプライズ”に、すっかり虜になった人、目下急増中です。  
 このユニットで、プロデューサー・作家・演出家・俳優と、  
 マルチな才能をみせる2人を“全方向”で追いかけてみました。



1分程度のショートコント、映像ネタ、長めの  
 シュールコントなどなど、モッカモッカが超満員の  
 駅前劇場にてお届けしたコントライブ vol.3

特集

全方向から  
 見せます!







なかむらたかし○74年生まれ、東京都出身。96年、小林製作、西村たけおと共に宇宙②コードを結成。以降、多くの公演に出演。モッカモッカ第二回公演より舞台美術を担当している。俳優としての参加は本作が初。

つじおさむ○74年生まれ、岐阜県出身。93年、政岡孝志が旗揚げした劇団「動物電気」に第1回公演より参加。以降、ほとんどの作品に出演。加藤啓とのコントユニット・モッカモッカは、映像ネタ「粒仏」にて第一回デジタルショートアワード「笑い部門」のグランプリを獲得した。

次回予定○動物電気「すめ!! 観光バス」6/6~15  
○下北沢駅前劇場

なかむらまこと○63年生まれ、千葉県出身。90年、千葉雅子、森田ガンツ、市川しんぺーと共に猫のホテルを旗揚げする。俳優として活躍する傍ら、市川しんぺーとのフォークデュオ「罪と罰」としてCDを発売するなど、音楽活動にも意欲的。モッカモッカ出演は前回公演に続き2回目となる。

次回予定○猫のホテル「けんがう歌」5/1~11  
○本多劇場、5/14(土)他ーとびあ



マジで!? 俺呼ばれてないけど?  
加藤 呼んでないから 中村たかし  
加藤 今回どうでした? (中村) たかしは初めて出たもんね。  
中村たかし(以下、中村) 非常に楽しかったですよ。稽古も本番も。この歳になつて毎日みんなが同じ場所に集まってること自体がもう楽しい。  
辻 公演終わるそうになると「明日から他人だよな」とか、そんなことばっかり言ってる名残惜しうにして。  
中村た (辻) 修くんとは、終わってから一度だけ飲んだんです。  
加藤 マジで!? 俺呼ばれてないけど?  
中村た あ、呼んでないから。  
同 (笑)。  
辻 会の名前も決まったよ。「乞食会」。  
加藤 そんなに行きたくなえ(笑)。まことさ

中村ま 僕はダンスが大変だったですね。  
加藤 観てくれた人みんな「まことさんが一番動けた」って言うんですよ。振りに変な動きを勝手に付け足してるし(笑)、とにかく動きがすごい。40過ぎてバテてない。逆に修はバテてたよな。あれ、バテたふりして心配されたかったの?  
辻 単純にバテてた。(このコントを書いた小林) 顕作さんには悪いですけど、ホントきつい! つかった!(笑)  
加藤 たかしは修の体力のなさに相当腹立ってたよね。「何で? そんなの顕作さんに失礼だろっ」って(笑)。初モッカモッカの感想とかどう?  
中村た ブルースカイさんが書いた「殺人事件」が面白かった。ああいうのは今までやったことなかったし。  
加藤 あれ難しいんですよ。実際の感情とズレたことを言うネタなので「もうちょっと感情を意識してやってみよう」とか、千秋楽の前も3人で稽古して。楽日に「ちょっと見えたかな?」って思えたり難しいネタなんですけど、すごくやり甲斐がありました。  
辻 あれが、番バクチな感じがありました。あ

んは?  
中村まこと(以下、中村ま) 相変わらず楽しかった。こういうのは、やってる側が楽しくやらないと楽しくならないから。  
加藤 楽しかったよな。  
辻 僕も……楽しかった。……この取材、始まってから「楽しかった」しか言っていないよ。  
中村ま 傍から見ると「修はいっぱいばいばいで楽しむ余裕ねえだろっ?」とか思ってたんだけど。  
辻 いっぱいばいばいじゃないけど、なせ97%くらい舞台上にいますから。ちゃんと分数割り算でデータも取ったんだよ。自分が何%出てるかって。そしたら、97%近く出た。  
加藤 そうかな? 映像の時にすげえゆくり休んでんじやんで、そのデータ取って、何? 出番減らして欲しいの?  
辻 いや、単純に出てるな(笑)。  
あれ、バテたふりして心配されたかったの? 加藤 ホントきつい!  
つらかった!(笑) 辻

## 全方向(というか、むしろ裏側)から見せます! 『I WANT YOU I WANT YOU』インタビュー

加藤啓、辻修、中村まこと、中村たかしの座談会形式にて行われた、この取材。サービス精神と本音が入り交じった臨場感たっぷりの内容は、4人の楽屋にお邪魔したかのような、リラックスした「らしさ」に溢れていました。俳優、演出、舞台美術製作について、そして、「天然」、「叱咤激励」、「野心」などなど、表面張力パンパンの座談会。今回は、むしろ裏側からお見せ致します!

んがいて。その彼が見ている世界、という感じで作ったんですけど、お客さんには全く伝わってない(笑)。  
辻 そうなんだ? 今聞いて「へえ」って思った。  
中村た え? その発言、明らかにおかしいよね?……でも、美術を作るのは楽しいです。仮に自分が役者で出てなくても、自分の作品みただけになるし。  
辻 演出家としてのモッカモッカについてもお聞かせ下さい。  
加藤 基本、決め事は僕が決めている形なんですけど、僕は演出というより、みんなの調整役って感じですね。アイデアはみんなを出し合います。  
中村ま 最初はもつとゆるい稽古場だろうと思ってたんだけど、結構ピシッとやっていたから、それにすごくびっくりした。  
中村た 修がそれを嫌にならずに、どこまで



もつて行ってる姿勢が面白かったです。  
辻 不満を言い出すとキリがないから。そのかわり、私生活ではパンパン不満言います。  
今は怠け者モードだから辻 僕の仕事には、辻修を焚きつける、ということが含まれてるんですよ。  
加藤 最後に、モッカモッカのお2人から感想をお願いします。  
辻 ものすごく時間と労力をかけたので、「これだけ苦労して努力して、結果出なければ神様じゃないな」と思えるまで頑張りました。自分を褒めますよ、僕は。  
加藤 ……甘い。甘いなあ(笑)。なんで努力したことを発表しちゃう気持ちになるのか、俺にはホントわかんない。  
同 (笑)。  
辻 史上稀にみる怠け者だと思っんです、僕。怠け者が頑張ったんだよ!! すこーと歩きますよ。  
加藤 修はよく自分に百点あげちゃうんですよ。「いや、俺よくやった」ってインタビュー、需要ありますか?  
辻 いやいや(笑)。辻さんは頑張ったということと、加藤さんはいかがでしょうか?  
加藤 バンドで言えば、3枚目のアルバムは良かったなと思います。1回目の公演は衝動でやった部分が大きかったんですけど、今回は3回目、良い意味でも悪い意味でもまとまった感があつたんです。でも……これからですよ。細かい部分とか掘り下げ方とか、まだまだだと思って感じたりもしています。  
辻 次回公演への野望が既に生まれている?  
加藤 はい、生まれてますね。  
辻 ん? 野望?  
加藤 修はゼロだよな?  
辻 うん、今は怠け者モードだから。  
加藤 僕の仕事には、辻修を焚きつける、ということが含まれてるんですよ。これが大変なんです。  
同 あはは(笑)。  
加藤 「これって面白くない?」とか、酔っ払ってる修に言い続けて、徐々に温度を上げなきゃいけないんで。こまめに3回、似たようなこともやってきたんで、次は違うことをやりたいなと思ってます。多少滑つてもいいので。



のネタの前後は軽めのやつがいいんじゃない?とか、置き場所も色々悩んだし。  
結局男って、口で上手いこと言えないからDVになっちゃう訳じゃないですか辻 それは暗に認めてることになるよね 加藤  
加藤 最後のネタ「ラブサイケデリック」が聴こえる「は、最初、僕と修の役が逆だったんです。僕らで稽古して、作家のカリカ家城さんにも相談して、結局役を入れ替えて落ち着いた。それはすごく面白い体験でした。  
辻 初稿では僕が女性役だったんですけど、僕の中に女性役の引き出しがゼロだったので、加藤 そういう話でいうと、修は本当に男っぽい。細くて、なよとして、フェミニンな印象あるけど、こう見えて「それは何? 0? 1?」みたいな割り切り方なんです。あと、道にすごく詳しい。  
辻 地図が読めない女? っているじゃないですか。僕は。地図がガンガン読める男ですから!!  
中村た それは男らしいってことは、またちょっと違うよね。  
同 (笑)。  
加藤 あと、あのネタは修のDV(ドメスティック・バイオレンス)な感じが面白いですよ。



中村ま DV経験の引き出しはある(笑)。  
辻 結局男って、口で上手いこと言えないからDVになっちゃう訳じゃないですか。言葉で喋るのが下手だから、それで……。  
加藤 それは暗に認めてることになるよね。  
辻 いや、そんなことは……。とにかく、難しかったですね、女性役は。  
そうなんだ? 今聞いて「へえ」って思った辻 その発言、明らかにおかしいよね? 中村たかし  
同 今回、皆さんの俳優以外の一面についてもお聞きしたいのですが、今作の舞台美術は中村たかしさんが担当されているとか。美術はどのような行程で製作されたのですか?  
中村た 啓くんは修の3人で話し合っ、お互いアイデアを出して……。  
加藤 それをたかしがラフな絵に描いて、今度はそれを元に話し合っ、それを繰り返す感じ。  
同 美術のトータルコンセプト等はありません?  
加藤 僕が最初に言ったのは「お客さんが劇場に入った時に、単純にワクワクして欲しい」ということ。そこからのスタートでした。  
中村た 僕の中では、銭湯のイメージ。だから、富士山があつて、お風呂に入ってるお父さ



# H I R O

# M A T S U

# U S A

ひろ○90年200としてシングル「ケアレ・ダンス」でデビュー。96年200解散後「J Soul Brothers」を結成。01年夏「J Soul Brothers」から「EXILE」と改名する。01年「Your eyes only〜曖昧な僕の輪郭〜」でデビュー。EXILEのリーダーとしてグループを引っ張っている。「LDH」の社長としても、EXILEをはじめEXILESのグループをまとめている。



うき○94年ダンスチーム「BABY NAIL」結成。98年ダンスユニット「Japanese Soul Brothers」に加入。99年ダンスの実力を認められ「J Soul Brothers」に加入。DREAMS COME TRUE 武道館ライブ「THE MONSTER」のサポートメンバーとして参加。01年夏「J Soul Brothers」から「EXILE」と改名する。01年「Your eyes only〜曖昧な僕の輪郭〜」でデビュー。04年12月には、MAKIDAI、AKIRAとともに「THE MONSTER」のMCとしてもデビュー。活動。現在は役者としても活動中。2008年秋にダンスをテーマにした第3弾「DANCE BATTLE」を発売予定。

まつ○94年ダンスチーム「BABY NAIL」結成。98年ダンスユニット「Japanese Soul Brothers」に加入。99年ダンスの実力を認められ「J Soul Brothers」に加入。DREAMS COME TRUE 武道館ライブ「THE MONSTER」のサポートメンバーとして参加。01年夏「J Soul Brothers」から「EXILE」と改名する。01年「Your eyes only〜曖昧な僕の輪郭〜」でデビュー。04年12月には、MAKIDAI、AKIRAとともに「THE MONSTER」のMCとしてもデビュー。活動。現在は役者としても活動中。2008年秋にダンスをテーマにした第3弾「DANCE BATTLE」を発売予定。

## 劇団EXILEの夢、それぞれの夢

日本のミュージック・シーンの頂点で活躍するEXILEが、昨年9月から劇団活動を始めた。リーダーであるHIROがゼネラルプロデューサーとなり実現した  
**第一回公演「太陽に灼かれて」**は、7人のメンバーのうちパフォーマー4人(MAKIDAI、MATSU、USA、AKIRA)が出演、熱いメッセージに満ちた舞台を観せてくれた。その勢いに乗っての第二回「CROWN〜眠らない、夜の果てに…」では、青山劇場という大舞台にチャレンジ。その意気込みを、ゼネラルプロデューサーのHIRO、演出家の岡村俊一、役者として参加するMATSUとUSAに語ってもらった。

## 岡村俊



おかむらしゅんいち○演出家、プロデューサー。「広島に原爆を落とす日」「蒲田行進曲」「SAY YOU KIDS」「つかこうへいダブルス」「歩兵の本領」など話題作をプロデュース。また演出家としては「怪談・にせ血屋敷」「新・幕末純情伝」「二万七千年の旅」「東亜悲恋」「透明人間の蒸気」「あずみ」「エビ大王」「何日君再来」等、多彩な作品を発表している。

### ☑ 恐い人が持つエネルギー

第一回公演に向けての手応えを、HIROさんにうかがいたいのですが。  
 HIRO 初めはEXILEが劇団を作ったのをやるんだらうと、皆さんもフアンも思ったのではないですか。でも、岡村さんがイメージ通りの舞台を作ってくれて、メンバーの新しい面を見てもうええ、本体の活動にも刺激的な形で返ってきているので、よかったなと思います。今回は一回目なので、チームとしてさらに固まって、もっともっとこのものを見せてくれるのだらうという期待がありますね。

演出家から見たEXILEのメンバーの役者としての面白さは？  
 岡村 見た目恐くて強そうじゃないですか(笑)。そういう人が何をしてくれたら嬉しいかなという発想なんです。『太陽に灼かれて』は、ちょっと恐怖感を感じるような舞台でありながら最後には観客が泣いて。そういうふうに通の劇団とは違うことにトライしてるんです。前回が、破壊とか、暴力、だつたので、今回の「CROWN」は愛と涙がいかなと。マッチャン(MATSU)とかラブシーンしたいよね。

MATSU いやいやいや(笑)。  
 岡村 女を愛せなくなった男の役ですか(笑)。  
 MATSU ほとんどハードルあげてきますね(笑)。  
 岡村 テーマは家族愛とか国際問題

### ☑ 毎回違うのが芝居

MATSUさんとUSAさんは、今回も役者として登場ですね。  
 MATSU 前回、自分の知らない面を引き出してもらって、すごく勉強になりました。今回もまた今までは違う自分でも自分しかできない演者になれるような気がしますね。  
 USA ふだんのライブですと、パフォーマンスという立場で、音楽があつて踊りが付いていくという感じで、踊りが止まっても舞台は進んでいくけど、演劇は自分たちでテンポとかリズムを作っていくし、毎回違う音楽を作っていくような感覚がありますね。  
 MATSU 同じことやっても昨日とは違うし、同じセリフでも、タイミングと集中力がちよつとズレると違って見えたりするし。  
 USA 25ステージあったけど、毎回新しい自分に生まれ変わるという意識でやらないとフレッシュ感がなくなる。すごい経験をしたなと思います。

ゼネラルプロデューサーは毎日ダメだしを？  
 HIRO 僕は盛り上げ役ですから(笑)、ほとんど岡村さんにおまかせです。でも観られるだけは観ました。たぶん10回以上(笑)。

### ☑ インパクト大好きなEXILE

和田憲明さんも、深いところを書ける作家ですね。  
 岡村 たえば不良と呼ばれている子がいよく、その子が何をしてくれたら日本はよくなるのか？というふうなことを寓話として書ける作家ですね。ものすごく悪いヤツが、実はすごいエネルギーを持って、日本を変えたり世界を幸せなほうに導いたりできる。ダイナマイトは破壊もするけど文明を進めたいし、剣は人を殺すけど平和を生み出します。また、すごい情しみのなかにこそ本当の自分が見えてくる。そういうのを和田さんは非常によく書くんですよ。MATSU 初めは内容がよく把握できなかったんですけど、稽古で少しずつわかってくると、あらためて台本の

深さを感じます。メンバーみんなも遠すぎず近すぎずという役柄で、それぞれふくらませてくれた。  
 USA 岡村さんが言ったように、やたら夢を持つとか幸せになるうとか、そのままだけは受け取ってもらいにくいけれど、闘いとか争いのなかで、夢と希望を持ったりに愛に気づいたりして、自分の感情の豊かさとか深さも感じて、感情の井戸をどんどん掘っていくような感覚でした。  
 HIRO EXILEがあんな深い話を、しかも面白くやるなんて、誰も思わなかったらうな。  
 MATSU 舞台ではみんな頭よさそうに見えるし(笑)、セリフ覚えられないの？みたいに思われてたんじゃないかな(笑)。セリフはただ言うだけじゃ伝わらないし、的確な表現を探すし、舞台に出るために自分も勉強してるとも思います。

### ☑ 現場でしか見られないもの

ゼネラルプロデューサーとしては、EXILEのメッセージを、さらに演劇を通して広げていきたいのでは？  
 HIRO 歌って踊っただけではないグループとして、将来に向かって走り続けたいというイメージがあるし、大テーマの「LOVE DREAM HAPPINESS」の通り、可能性とか夢を広げたいですね。グループだけでなく個人個人の夢も大切にしたいし、周りになる人たちの夢も叶う、そのきっかけになる場所を作りたい。そういう意味で、劇団EXILEが若者たちの夢を叶える場所になればいいな。

MATSU 今はEXILEのファンが客席に多いんですけど、劇団が大きくなって、EXILEのメンバーが出てなくて、お客さんが来てくれるようになれば、それが劇団EXILEの夢です。  
 USA 最高の表現をめざす場ができたし、これが劇団EXILEだという何かを確立できたらしいですね。  
 「CROWN」はいよいよ青山劇場ですね。  
 MATSU コサトでいうと武道館のよふなものと比べたので、嬉しいけどプレッシャー(笑)。車で通りがかたので降りてみたんですよ。そしたら劇場前の大きな柱がボスターが貼つてあつた。  
 HIRO あれ、かっこいいよね。やりたよね。  
 MATSU なんかつきくする(笑)。  
 USA 最高のお膳立てだね。

### 公演情報

#### 劇団EXILE『CROWN』

～眠らない、夜の果てに…～

ゼネラルプロデューサー◇HIRO(EXILE)  
 脚本◇和田憲明 演出◇岡村俊一 音楽◇ATSUSHI 出演◇MATSU USA 千原ジュニア 吉瀬美智子 平沼紀久 小林顕作  
 516～26◎青山劇場  
 〈問い合わせ〉キョードー東京 03-3498-9999(全日10:00～18:00)



岡村 僕にはホームグラウンド、最多登板演出家ですから(笑)。でも見たことのあるものはやりたくないし、観客がまだ味わったことのない感覚を与えたい。その現場にいた人しか見えない。セリフ以上の何かを見せたいんです。『太陽に灼かれて』でマッチャン(MATSU)の長セリフのとき、後ろにフワッと歴史が見えた。それは観客の心しか見えないもので、そういう、体が味わう感覚をたくさん入れた。HIROさんが何回観ても飽きないのは、そのたびに心の中に違う絵を見られるからでしょうね。  
 そこまで入りこんでいるなら、HIROさんもやはり出る側に。  
 HIRO いや、俺は出たらきつと自分勝手にすると思うので(笑)。



PAGE 3

## NACSTYLE

## TEAM NACS 責任編集!?

今回担当者:大泉洋

「演劇ぶっくにナックス責任編集のページを作ろう」ということで、ナックスらしいスタイルで自由に!を目指すこの企画・NACSTYLE(なっくすたいる)。前回の担当者は戸次重幸、そして今回の担当者には大泉洋が登場。この連載も3回目、対談取材をお願いしても、メンバーそれぞれのカラーが出てきて興味深いです。大泉が対談相手に指名したのは、映画監督・内田けんじ。デビュー作『運命じゃない人』(05年)にて、国内外合わせ12の映画賞を受賞した、今、最も話題の若手映画監督です。監督の最新作『アフタースクール』への出演がきっかけで知合った2人。その会話からは、お互いを仕事仲間として信頼している“プロフェッショナルな絆”のようなものが感じられました。

## 仕事を通して、お互い気付いたこと

内田●大泉さんは、テレビのバラエティ番組で見る通りの、非常にバランスのとれた常識人なのかと思っていたんですけど……やっぱりギリギリおかし人ですね。ギリギリですけど(笑)。ギリギリいっちゃってるのかなって。

大泉●あははは(笑)。1日だけ、たった1日だけね、夕張でひどい酔い方をしたことがあります……。それで監督の信頼を多少、失ったかな?とは思いますが。

内田●あれは完全にボーター越えてたよ。

大泉●いやいや、非常に常識人ですよ。そこはちゃんと意識しようよ!僕は……そうですね『運命じゃない人』を観た時は、「こういう映画を作る人はどんな人なんだろう?」って正直思いました。何となく、小難しいような、人とのコミュニケーションを遮断するような、そんなイメージがあって。撮影前はそんな感じだったんですけど、「あ、面白い人なんだなって気がついたのは、映画の衣装合わせの時ですね……」。

内田●あー。あそこで監督と主演俳優の間にヒリヒリした空気が流れましたね(笑)。

## 『アフタースクール』の衣装合わせで……

大泉●台本を読んで、私なりに自分の役を理解して「この神野という役は、なかなか格好いい役じゃないか」と思ってたんです。その気持ちで衣装合わせに行くと、監督「今回は格好いい役を有難うございます。しっかりと、格好よく演じようと思えます」と言ったらきつぱり「神野は全然格好いい役じゃないから!」って返されて。それで、ちと並んでいる衣装を見たら、そこにあるのは全部変な服なんですよ!



大泉洋

おいずみ 洋 1973年生まれ、北海道江別市出身。演劇ユニット TEAM NACS に所属。北海道発の深夜番組「水曜どうでしょう」にて大きな注目を浴び、一躍全国的な人気俳優に。今作「アフタースクール」や、今夏公開予定の「ゲゲゲの鬼太郎 千年呪い歌」など、映像での活躍もめざましい。09年2月〜4月には TEAM NACS 新作公演が予定されている。

次回予定◇映画「アフタースクール」5/24(土)より全国公開 ◇映画「ゲゲゲの鬼太郎 千年呪い歌」今夏公開予定 ◇TEAM NACS「タイトル未定・新作」09年2〜4月公演予定



©2008「アフタースクール」製作委員会

内田●お客さんが今としまで知っていて、どう思っているのか?ということを押握しないと演出はできないですね。これ以上コントロールしちゃうと、シートのリアリティがなくなっちゃうけど、これだと嘘をつきすぎだろう?とか、そういう些加減には気を使いました。

## ネタバレにならない、この見所。

大泉●ネタバレにならないことを考えると……演劇ぶっくだし、TEAM NACSのファンの皆さんにだけ伝えるのであれば、どこかに音尾(琢真)くんが出てくるよとか。

内田●(笑)しかも素晴らしいパフォーマンスをされています。

大泉●短いシーンだけど、音尾くんらしい爽い存在感ですよ。

内田●いい存在感ですよ。どうでもいさ加減が良い具合に出てるんですよ。

大泉●更にどうでもいいことなんですけど、僕と音尾くんって髪質が似てるんですよ。どっちもパーなんですけど、今回の撮影は梅雨時だったものから、僕の髪に非常に苦労しました。メイクさんが伸ばしてくれてるんですけど、本番前に時間が空くと、ほんとに縮れていって……。これと同じことが音尾くんにも起きてますね(笑)。撮影前、音尾くんが髪を作った時にはもっと前髪が長かったんです。ところが音尾くん、待てど暮らせど呼ばれなかったものから、呼ばれた時には前髪がものすごく短くなって(笑)。

内田●そうですか! あれ「ナイスヘア!」って思ってたんですけどね。

大泉●多分言えなかったんだと思います。前髪縮んできちゃったんで。そんな音尾くんの短い前髪



内田けんじ

うちだ けんじ 1972年生まれ、神奈川県出身。自主製作した「WEEKEND BLUES」が第24回びあフィルムフェスティバル「PEFアワード2002」にて企画賞、プリアント賞を受賞。劇場デビュー作となる「運命じゃない人」は、第58回カンヌ映画祭にて、フランス作家協会賞など4冠を受賞し、国内においても報知映画賞最優秀監督賞など8冠を受賞した。今作「アフタースクール」が劇場公開第2作目にあたり、多方面から大きな注目を集めている。

次回予定◇映画「アフタースクール」5/24(土)より全国公開

を是非(笑)。

## 格好いい!大泉洋の主演映画!?

大泉●僕は台本を熟読しちゃってるから、正直もう分かんないんですよ。ストーリーを知らないで見ている感覚が、僕にはもうないから。本言に不思議な映画で、最初は「大丈夫か?」この映画かと思いましたが、試写が進むにつれ「面白い」と言ってくれる人がすごく増えて。

内田●取材の方がみんな大泉さん、格好いいと言ってますけど……それは僕の意向とはちょっと違う。

大泉●あはは(笑)。観た人から「格好よかった」と言われるようになってから、途端にみんなに薦めてます。変な服を着せられた時には「これ、宣伝しなくていいんじゃないか?」と思ったんだけど(笑)。

内田●僕は「大泉洋主演!」ってうただけで宣伝は十分だと思っただけ、どうも会社はそう思っていないみたいだね。

大泉●あはは(笑)。ただ不安に思ってるのかって話ですよ。大泉洋主演だし、多少弱いから、みたいな。

内田●(笑)。

大泉●自分が出た映画を面白いから見えてよかつた、なかなか言えないと思うんです。でも、実際に観てくれた人がこれだけ面白かったと言ってくれて、で今は自信持ってます。観てハマってくれた人は、ニヤニヤしながら友達に薦めて欲しいですね。試しに行ってください。

内田●また観てない人と一緒に行って優越感を楽しむのもいいね。途中で頭が真っ白になってる顔が見れるかも。



# 凰稀かなめ

大月さゆ・愛原実花



「凍てついた明日」ポスター画像  
©宝塚歌劇団

## 2. パージョンの違いを楽しむ

この作品の初演の頃は、まだ宝塚には入ってなかったそうですね？

宝塚音楽学校生でした。残念なことには舞台は観ていなくて、今回、ボスターのイメージ作り用にビデオを拝見したのですが、その時もあまり詳しく頭には残らないように、サッと観ま

自分なりのクライドを生きたい

アナーキーで利根的な若きギャングの生きざまを描いたミュージカル『凍てついた明日』。その主役、クライドを演じる凰稀かなめは、長身で美形の男役スター。昨年の『エリザベート』のルドルフ役で人気急上昇、雪組トップの水夏希を中心とするユニットAQUA5のメンバーとしても、映像メディアなどに進出中だ。そして、この名作の主演でさらにブレイクしそうな、いままさに注目のスターである。

した。演出の萩田浩一先生ともお話をしたのですが、初演の香寿たつきさんと私とはイメージがかなり違うので、また新たに作り直したいと言ってくださったので、オリジナル作品としてやっていきたいと思っています。

クライドにはどんなイメージを持っていますか？

ボスター撮影のときに、男役らしく



# 凰稀かなめ

Ouki Kaname

おうきかなめ○宝塚歌劇団。神奈川県出身、00年初舞台。雪組に配属され、抜群のスタイルと美貌で男役スターとして期待される。05年『霧のミラノ』新人公演で初主役。06年『ベルサイユのばら—オースカル編—』の新人公演ではアンドレ役。同年宝塚ワークショップ『Young Bloods!! 一夏の吹雪—』で初主役。07年『エリザベート』ではルドルフ役を演じ注目される。同年10月ドラマシティ公演『シルバー・ローズ・クロニクル』ではヴァンパイアを助美的に演じた。今年3月末まで東京公演を行った『君を愛してる』では、主演の水夏希の友人役アルセストで自然なコメディセンスを発揮し、ショー『ミロワール』では、歌にダンスに、またシンデレラのパロディなど多くの見せ場で活躍した。

次回予定◇雪組宝塚ワークショップ『凍てついた明日』5/24～6/3(ボニー役・愛原実花)、6/12～6/22(ボニー役・大月さゆ)◇宝塚パワール

## 妖しく不思議な萩田ワールド

萩田作品は独特の世界ですが、凰稀さんはショーには何本か出ていますね？

『パッサージュ』(01年)と『ランテラ』(06年)に出ました。萩田先生の世界って、妖艶というか妖しくて不思議だなと思います。『タランテラ』などショーなのにストーリーがあつて面白かったです。最初のシーンに『囚われの男』として出ていたのですが、いろいろな人たちがさまざまな役でワッと出てくる雰囲気はたまたまなく好きでした。お芝居のほうも以前から拝見していて、書かれる言葉も大好きです。ボスター撮影のときもイメージの湧きや



2月～3月雪組公演『ミロワール』フィナーレ 凰稀かなめ

宝塚歌劇の小ホールとして数々の名作を生んできたパワールが30周年を迎えた。その記念として、過去の名作に若手たちが挑むワークショップ・シリーズが上演中である。なかでも注目度の高い舞台が、5月に幕を開ける『凍てついた明日』。アメリカ犯罪史上に名高いボニーとクライドの物語を、鬼才・萩田浩一が作・演出したこの作品は、98年に上演され鮮烈な衝撃を与えた。その舞台の再演で主役クライドを演じる雪組の男役凰稀かなめと、ボニーをつとめる2人の娘役、大月さゆと愛原実花に話を聞いた。

2月～3月雪組東京公演『君を愛してる』左から香月桂、水夏希、凰稀かなめ



すい言い方をしてくださって、わかりやすかったので、この『凍てついた明日』もお話しながら作っていくのではという期待感があります。

凰稀さんはお芝居に関して柔軟というか、いつもごく無心に役になりきっていますね。

そうしないといけないというか、公演中は本当にその役のことしか考えられなくて、休みの日とかでもビデオを見返したりして、離れられないんです。たまにはリラクスしますが、基本的に稽古中とか公演期間中は、あまり眠れないくらい舞台に関することはかなり考えています。終わって本当の休み期間が取れたときに寝だめします(笑)。

いま東京で公演中の『君を愛してる』も、コメディセンスがあつて、セリフのすまさをさりげなく埋めてますよね。毎日、宝塚大劇場のときのビデオを観たりしているのですが、こんなにすまさがあつたんだと思うし、まだまだできることがあるはずだ、どうしたらいいんだろとか考えてます。

恋人とのやりとりで頭がぶつかるシーンとか、マンガ的なアクションもすごく思い切りよくて。

あそこは、最初の頃は本当にぶつけていたんです。痛いし笑、首も鈍かったんですが、今はちゃんとい音で、そう見えるようなワザでやっています(笑)。

—その前の『エリザベート』が皇太子

ルドルフでしたから、ここまで振り幅のある役者さんだと思わなかったです。今回、いろいろなかたに、こういうのもできるんだと言っていたので、それがすごく嬉しいですね。

さて、パワール公演では座長でもあるわけですが。

主演させていたのは2回目ですが、かなめが慣れないですね。今回、専科のかなめと未来優希さんが出てくださったので、その3人のかたは初演にも出ていられたので安心感があるのですが、逆に初演を知っていたら、やるだけに、ちょっと緊張もします。

—名作再演となるとお客様も期待も高くなりますからね。

本当にいろいろな意味で緊張しますが、でも楽しみなほうが強いですね。私が自分なりのクライド像を考えて、見せて、それが違っていたら萩田先生が言ってくださると思うし、そんなやりとりの中で萩田先生のクライド像と私のクライド像がうまく重なっていく、いいなと期待しているんです。私とクライドは実年齢も近く、しかもこの『凍てついた明日』の初日の前日、クライドとボニーは亡くなっているんです。何か不思議な縁だなと思います。この舞台で、2人が何をしていたのか、何かを伝えたかったのか、私なりに彼らの人生をうまく伝えたいなと思っています。

## ピストルの似合う女性

明るく弾むような個性で、次々に若手公演のヒロイン役を射止めてきた大月さゆ。ボニーは、これまでにない屈折した心理を求められる女性像、初めて取り組む役柄である。

初演も映画の『俺たちに明日はない』も観ていなくて、今の公演(3/30までの東京公演)が終わってから集中して勉強しようと思っています。

ボニーに関しては、ボスター撮りのとき、演出の萩田先生から「宝塚の娘役

Otsuki Sayu

おつきさゆ○宝塚歌劇団雪組。石川県出身、03年初舞台。雪組に配属され06年パワールワークショップ『Young Bloods!! 一夏の吹雪—』で初ヒロイン、同年本公演の『墮天使の涙』でも大役に抜擢される。07年パワール『ノンノン シュガー!!』でヒロイン、『エリザベート』新人公演でシシィ、年末の『シルバー・ローズ・クロニクル』でもヒロインを演じる。今年1月からの本公演『君を愛してる』では、ちょっと気の強い貴族令嬢の役を演じて活躍した。



# 大月さゆ

Otsuki Sayu

というイメージは捨ててください」と言われて、その言葉通りかっこいい大人の女性像を作りたいのです。

これまでいろいろな女性を演じてきましたが、こんなアウトローな女性性は初めてです。イメージとしてはピストルが似合う感じでしょうか。私にとって大きなチャレンジだと思っています。

凰稀かなめさんは、恋人役や兄妹役などで組ませていただいて、とても刺激的な存在です。役によって毎回変化されるし、この作品でもまた違う顔を見せてくださるのでは、と楽しみです。

ただ相手役とはいっても、ボニーとクライドが本当に惹かれ合っていたのか、ただの同志の関係だったのか、結末は稽古場で考えていくと萩田先生がおっしゃっていたので、私たちに課せられた役割りは大きいと思います。そういう点も含めて意欲的に取り組んでいきたいですね。

## 若さゆえの葛藤を

天性の演技力を生かして、早くから芝居で役がついていた愛原実花。今年は新人公演のヒロインも経験して、この作品では、いよいよパワール・ヒロインとしてのデビューが待っている。

小さな頃から宝塚ファンでしたが、初演は残念ながら観ていません。今回、ボニーを演じることに決まったとき、周りから「いい作品だよかったね」という声がたくさん聞かえてきて、あらためて「すごい作品なんだ、恵まれていて、ありがたい」と思っています。

# 愛原実花

Aihara Mika

あいはらみか○宝塚歌劇団雪組。東京都出身。04年初舞台。雪組に配属され、05年パワール公演『さすらいの果て』の看護婦役で注目される。07年『エリザベート』では墮天使とマデレーヌ、年末の『シルバー・ローズ・クロニクル』ではヴァンパイアに誘惑される娘などで、順調にステップアップ。今年1月からの本公演『君を愛してる』の新人公演では、初めてヒロイン役を演じるなど期待の娘役。



たいなと思いました。

ボニーは死んだとき24歳で実年齢も近くどこか理解しやすい気がします。突っ張って生きているけど内側では傷ついているし、世の中への怒りとか悲しみを抱きながら、諦めきれずにもがいている。そういう若さゆえの葛藤をうまく出せたら、と思います。

クライドの凰稀さんとは昨年の『シルバー・ローズ・クロニクル』でも共演させていたのですが、とても尊敬する上級生です。研究熱心で、お芝居の細かい見せかたや角度、動きなど、いろいろ考えてらして、たくさん教えていただきました。私もお芝居は大好きです。すごく緊張しますが、萩田先生、凰稀さん、大月さんや周りのかたがたに助けていただきながら、しっかり付いていきたいなと思っています。



# ポツドール 『顔よ』

作・演出○三浦大輔  
出演○米村亮太朗 内田慈 古澤裕介 白神美央  
井上幸太郎 脇坂圭一郎 安藤聖 若瀬亮  
松村翔子(チェルフィッチュ) 横山宗和  
後藤剛範(寄獣芝居) 片倉わき 新田めぐみ  
梶野晴香(国分寺大人倶楽部)  
4/4~13の本多劇場



一軒家に夫と夫の妹の久美と暮らす智子(内田慈)のもとに、隣のアパートに住む裕一(米村亮太朗)から卑猥な電話がかかってくる。久美(松村翔子)は合コンで上村(若瀬亮)により顔に火傷を負わされる。田村(古澤裕介)は彼女の裕子(白神美央)の容姿を恥じている。顔にブツブツがある隆司(脇坂圭一郎)は可愛い彼女・里美(安藤聖)に振り回される。ある雨の夜、智子は初めて裕一と出会い、激しく求め合う。次の朝、智子はいつも通り家の前を掃除しているのだが、その顔は別人に変わっていた――。

## 観る者の価値観を揺るがせる企み

4シチュエーションで“顔”にまつわる様々なエピソードを描く『顔よ』。そのエンディングを観たとき、鳥肌が立った。美しかった人妻が醜い顔に変わる、このわずか2〜3分ほどのシーンで、それまで延々と描かれた物語を崩壊させ、観る者の価値観を揺るがせる。それにより、“顔”というテーマをより深く印象づける。祈りのような『顔よ』というタイトルの真意がじわじわと伝わってきて、身体が震えた。どうやら三浦大輔の企みにまんまと嵌ってしまったようだ。



**三浦大輔**  
みうらだいすけ○75年徳島県生まれ、北海道出身。96年にポツドールを旗揚げし、主宰として作・演出を手がける。『愛の渦』で第50回岸田國士戯曲賞受賞。DVD作品『ソウルトレイン』の脚本・監督を務めるなど、映像分野でも活躍している。

「顔」というテーマは5年前くらいに思いついて、いつかやろうとは思ってたんですが、なかなか踏み切れなくて。それを描く最良の方法が見つからなかったんです。で、結局、1つの物語ではなくて、いろんな切り口から描いた方がいいのではないかって思いつて。じゃあ、4シチュエーションにしよう。うちの演技の仕方とか方法を変えずに本多劇場を目一杯使いたかったので、それもびつたりはまった。まず一軒家とそれに隣接するアパートという設定を思いついて、そこから話を考えて形にしてみました。やっぱり、顔をテーマに掲げただけに、そこから外れないように、あくまで「顔」に執着して描きました。お客さんは「顔の話ばかりしてるな」とか「この人たちが別のことを考えてないのか」とか思うかもしれませんが、別に今回は日常の風景を描きたかった訳じゃないので。だからいつもよりリアリティはないと思います。それよりテーマ性を重視して描きましたね。

エンディングについては、単純に妄想オチだとか夢オチで捉える人もなかにはいるんだろなとはわかってたんですけど、そのリスクを負ってでも、あのエンディングが一番相応しいと思ったんです。僕が一番狙ったのは、やっぱりこの芝居を観て、みんな顔の美醜について考えちゃうんですよ。なかには「人って見かけじゃないよね」と思っている人もいます。それはそれでいいんですけど、まあ、みんな80点くらいだと思うんですけど(笑)。

# チェルフィッチュ 『フリータイム』

作・演出○岡田利規 出演○山縣太一 山崎ルキノ 下西啓正(東京公演のみ参加)  
足立智充 安藤真理 伊東沙保 南波圭(北九州公演より参加)  
3/5~18のスーパー・デラックス、4/4~5の北九州芸術劇場

## “演じる”ということ

昨年「三月の5日間」をベルギーとパリで上演し、成功を収めたチェルフィッチュ。新作「フリータイム」も、ブリュッセル、ウィーン、パリとの国際共同制作作品である。しかし岡田利規は、ヨーロッパ公演を経たことによって、意図せぬ方向に変化することに対して慎重だ。チェルフィッチュでは自分が演劇的に関心のあることをやりたいたけ突き詰める、と語る岡田は、今作でも様々な試みに挑戦した。

### 岡田利規

おかたとしき○73年生まれ、神奈川県出身。97年に「チェルフィッチュ」を結成し、全作品の作・演出を手がける。05年「三月の5日間」で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。昨年「三月の5日間」のベルギー、パリ公演を成功させた。小説家としても活動しており、小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』で第2回大江健三郎賞を受賞した。

次回予定○「フリータイム」5/24~31のブリュッセル、6/5~8のウィーン、11月のパリ



今回は、「自由」について考えたいというのがまずあって。内面の自由。ということに対してポジティブになることへの警戒心を捨てることはできないんだけど、けれどもポジティブだっていう感じはあります。やっぱり「これが自由だ」として、その自由に安んじてそこで満たされちゃうと、それはそれで危険ですよ。その危険性から目を背けるべきではないけれど、でも僕はこれは「自由」と名付けて良いと思う。

作品を創るときに考えたのは、表象というものをどう扱うかということ。僕なりに、それに対する現時点での暫定的な答えは見つけてますし、それをある程度形にすることができたと思っています。

ある人物を「演じる」ということは、その人物そのものとしてそこにいることではないんです。なぜならば、そんなことはできないから。だけど俳優はその人物になるように、近づこうとしないといけない。でも完全にそこに到達することはできないんです。舞台上にいる俳優を限りなく頼りにして、その人物を立ち上げるというのは、観客の作業なんです。それは「お客さん頑張ってください」という意味じゃなくて、観客がその作業をするために必要な作業をする、それが「演じる」ということ。というように、なところには行こうとしたんです。だから、たとえば舞台のセットが、下から50センチ切れてるんですけど、それは浮遊感みたいなことももちろん考えてないわけではないんですけど、それよりもファミレスにいる人物そのものにはなれないということに対して潔く開き直るという。仮に下50センチがあっても、どうせファミレスの人物にはなれないわけですから、だから、そのなれてないことが、ああいうセットだと清々しくなるという。そういうようなことを考えながら作りました。

あえて同じシーンや言葉の繰り返しを多用したのも、言葉が同じでも持っている絵が違ってくる、観る人のなかで立ち上がりてくるものが変わってくる、ということ、とにかくやりたかったかならば、それでいいわけです。

ファミレスの朝。ある女性は就業前の30分間を毎日ファミレスで過ごしている。ファミレスの店員や、女性の近くに座っている二人連れの男性客が、女性について語る。彼女は毎日同じ席に座ってコーヒーを飲みながら、ノートに日記のようなものを書いている。実際はひたすらグルグルと○を描き続けているのだった……。





# メタリック農家 『箱 ～The BOX～』

作・演出・出演○葛木英  
出演○古市海見子 酒井香奈 伊藤一将 福田高徳 谷部聖子 森祐子 高松一毅  
七味まゆ味(特設ウケ) 小笠原佳秀(ホスカレ) 三科喜代(ブルドックヘッドロック)  
武藤心平(7%竹)  
3/18～23◎キャラクター・ルデコ



オンラインRPGで知り合った若い男女が互いのことに興味を持ち、初めて直接会って遊園地デートをする「フィギュア」や、外見にコンプレックスを持ち「可愛くなりたい」と願う女性が、紆余曲折あって華置に変身する「コロシアム」など、数本のコント(?)からなるオムニバス風公演。「可愛い」や「価値観」をテーマにしたそれぞれの物語が、後半になると、かすかな繋がりを見せ始めて――。

観終わって、ちよっと距離縮まるみたいな今作は、若い女の子に観て欲しかったんですよ。全体的にライトな雰囲気にして、デートに似合う演劇を作りたいかった。渋谷のギャラリが会場だし、デートコースに選んでもらっても、観終わってちよっと距離縮まる。みたいな(笑)。それもあって、演出では「分かりやすく可愛い」がテーマでした。可愛いが全ての価値基準になっちゃう女の子の世界を作りたいかった。稽古中、「そこ、可愛く言うことで全部誤魔化そうとして」とか繰り返して指示して(笑)。会場に関しても「椅子が白くてフカフカしてたらそりゃ可愛いだろう」とか「クローゼットみたいな作りしたら可愛がる」とか。ある日の終演後、男性のお客さんがはにかみながら「あの後の子、可愛かったね」と言っているのを見て、演出助手と2人で「狙い通り」とやりとりした。チラシのキャッチコピー「女の子はいつ



## 可愛くなるって、何じゃろう(・～・)?

葛木英が主宰する劇団「メタリック農家」の新作公演『箱』。「劇団第二期の黎明」と位置づける今作は「可愛くなりたい女の子たち」をコント風に描き、さっくりとしたフレンチフライのような、可愛さとお手軽さと高カロリーを合わせ持つ(褒め言葉です)公演となりました。今もって「可愛い」について等身大で思考&試行する24歳の才女・葛木英。その頭の中を覗いてみると……。



### 葛木英

くずきあきら○83年生まれ、東京都出身。脚本家、演出家、俳優。03年、自身が主宰を務める劇団、メタリック農家(通称:メタ農)を旗揚げ。以降、全作品の作・演出を担当する。外部公演やテレビドラマへの脚本提供も多く、注目の若手脚本家として脚光を浴びている。その他、俳優としても活躍中。

次回予定○MU「相思相愛確信犯」(出演)7/9～13◎下北沢駅前劇場 ○メタリック農家「氷」(作・演出・出演)10/21～27◎下北沢OFFOFFシアター

すよ。可愛いって漢字に「愛」って言葉が入ってるし。そういう「可愛くなる理由」について色々考えた作品だと思えます。

### 飛び出す絵本みたいな芝居を

今回はちよっと違う感じになりましたが、これからのメタ農メタリック農家は、絵本みたいな世界を作りたいんです。飛び出す絵本みたいな芝居を作りたい。私的には、この公演からメタ農第二期が始まったと思ってるんですよ。この二期がしっかりと形になるには、もう少し時間が必要かもしれませんが、この作品で二期として走り出せたんじゃないかな?とは思っています。反省すべき点も沢山ありますけど、気持ちよくやれた作品だと。次回作「氷」は号泣出来るような話にしたいんです!「お客さんが劇場を出た時にちよっとお世えて、みたいな(笑)。むせび泣く10月にしたいですね。

# 五反田団 『偉大なる生活の冒険』

作・演出・出演○前田司郎  
出演○内田慈 石橋亜希子(青年団) 安倍健太郎(青年団) 中川幸子  
3/6～16◎こまばアゴラ劇場



以前は彼女だった女(内田慈)のアパートに居候している男(前田司郎)は、特に仕事に出ることなく毎日ゲームに明け暮れている。女はスーパーでアルバイトをしており、妻子持ちの上司と不倫関係にあった。隣の部屋に住むゲーム仲間の田辺(安倍健太郎)は近々彼女(中川幸子)と結婚するようだ。しつかり者だった妹(石橋亜希子)は、数年前に不慮の事故でこの世を去った。この生活を、男は等身大で冒険していく……。ある日、男が女と他愛のない会話をしていると、女は「カニ飯が食べたい」と言い出して……。



### 前田司郎

まだらう○77年生まれ、東京都出身。97年、和光大学在学中に五反田団を結成。以降、全作品の作・演出を務める。戯曲「生きてるものはいないのか」にて第52回岸田國士戯曲賞を受賞。小説執筆にも積極的で、主な著書に「愛でもない青春でもない旅立たない」、「恋愛の解体と北区の滅亡」、「グレート生活アドベンチャー」、「誰かが手を、握っている気がしてならない」等がある。

次回予定○シリーズ・同時代 Vol.2「混じりあうこと、消えること」(脚本)6/27～7/6◎新国立劇場 小劇場 ○「近代能楽集 -綾の鼓」(演出)9月～10月◎新国立劇場 小劇場

人間一個、そんなに大差はない  
このタイトルは、僕の小説「グレート生活アドベンチャー」を、そのまま日本語にしただけなんです。僕らみたいに「ずつと家」にいたり、出掛けたとしても埼玉辺りくらいまでの人達の生活も、植村直己さんみたいな冒険家の人達の生活も、そんなに大差ないんじゃないかな?と思ってる。そこから着想を得たというか、要するに「世界と関わる」みたいなことは、各々でその場所や立場が変わったとしても、そのこと自体そんなに変わらないんじゃないかな?と思っんです。食って、寝て、悩んで……、まあ、多少の違いはあるでしょうけど、沢山バリエーションがある訳じゃない。人間一個、そんなに大差はないんじゃないかな?という思いがありますね。

### ぼんやりとした希望だけを 持つて生きていく

僕が演じた役については、あれは別に、僕が二つに興味がある訳じゃなくて、働いてない人を描くと「現代的だ」とか言われちゃうんですけど、それってそんなに新しい現象なのか?あの人の特殊な所はその生活パターンではなく、逃げるのがすごく上手い所なんですよ。危機的な状況に直面しても、それを直視しないとか、いかなすというか、そういうスキルがすごく高い。タイトルの話に戻ると、その辺が、冒険者としてのスキルがとて高い、ということに

なるかと。あれで彼が、自分の置かれている状況や将来について真剣に考え始めた。死ぬしかなくなっちゃうんだろいうけど、それをしないで「何とかなる」といって、ぼんやりした希望……。芥川龍之介と逆ですよ(注・芥川龍之介は遺書に「将来に対する唯ぼんやりとした不安」という言葉を残し服毒自殺をした)。そのぼんやりとした希望だけを、持つて生きていくというのは、ちよっと真似出来ないくらいすごい能力だと思えます。ああは出来ないですね、僕自身は。

### 何かを積み上げていく イメージが……

(今作を振り返って下さい)という質問に対して、「何だろう?……どんな芝居だったんだろうな。割と、希望について書いた……。今まで、死について多く書いてきたんですけど、それと表裏一体みたいに言われてる。生きる。って、いうことについて考えた芝居でしたね。これまでも振り返ってても、生きる。こととか死ぬ。こととか考えてない(笑)。そのことしか書いてないし、結局そこに全部集約されちゃう。人は、生きるということに、ゼロから何かを積み上げていく。イメージを持つてる。でも、実際それは逆なんです。何か総量があつて、それがどんどん減り続けている。それを見ないようにして、何かを積み上げていくイメージを持つること自体が、全ての人間、生物に共通している思い、ような気がして。だとしたら、それが、生、なのかな、と。



# 世田谷パブリックシアター+コンプリシテ共同制作 『春琴』 谷崎潤一郎「春琴抄」「陰翳礼讃」より

原作○谷崎潤一郎 演出○サイモン・マクバーニー  
出演○深津絵里 チョウンホン ヨシタ田 立石涼子宮本裕子 麻生花帆 瑞木健太郎  
高田恵策 本條秀太郎(三味線)  
2/21~3/5○世田谷パブリックシアター

## 谷崎文学を“感じる”至福

見えないこと、への深い憧れと洞察が溢れる舞台である。  
英国の演出家サイモン・マクバーニーが、谷崎潤一郎の『春琴抄』と『陰翳礼讃』を彼の演劇的手法でとらえなおした『春琴』は、ストイックで哲学的でありながら、実に官能的で感覚的だった。  
サイモン演出は、物語を解体して彼の視点から再構築することだが、今回は複数の春琴や佐助、さらに人形も加えるという、記号化を持ち込んできた。  
だが、このめくらましの舞台で、観客を別の角度から導くのが、ナレーター役で原作を読み上げる立石涼子の声と、劇中で春琴として発せられる深津絵里

の声である。ともに知的でありながらエロティシズムに溢れていて、春琴と佐助の屈折した愛を、感覚の領域に踏み込んで伝えてくれる。  
また、演出家サイモンの力は、最後に観客が放り込まれる漆黒の闇に発揮される。  
劇場ごと沈んだ闇の中の数分間、観客は目を刺した佐助になり、春琴に心と体を寄り添わせる。「瞬ではあつても、佐助と春琴の「官能」と「愛」を体感する、その至福。  
それこそが谷崎文学の「美」であり、歎び、なのであると、あらためて思い至るのだ。



大阪の薬問屋の春琴は、幼少時に失明して以来、琴三弦の修業に励む。四歳年上の佐助は、春琴を敬慕し、身の回りの世話をし弟子としても仕えている。そんなある日、驕慢な振る舞いで恨みを持った春琴は、何者かに夜中に熱湯を浴びせられる。顔を見ないでくれという春琴に、佐助は自らの両目を閉ざすことを選ぶ。



構成・文○榎原和子 撮影○青木司

# H・アール・カオス

## 東京文化会館 コラボレーションコンサート 『中国の不思議な役人』『ボレロ』

構成・演出・振付・美術○大島早紀子  
指揮○大友直人  
管弦楽○東京フィルハーモニー交響楽団  
出演○白河直子 木戸紫乃 小林史佳  
斎木希里 泉水利枝 池成愛  
2/29○東京文化会館大ホール

### 死に至る官能、生命のもたらす歓喜。

05年の感動的なオーケストラとのコラボレーションから3年目、カオスの『ボレロ』が、より圧倒的な輝きで戻ってきた。  
しかも、バルトークの『中国の不思議な役人』という大作をともなう。光と闇、生と死、まるで対極にあるようなこの2作品の出会いでカオスの描き出す世界は、“生命”の深遠へとさらに踏み込んでいく。



「中国の不思議な役人」は、あまり上演されない曲だということですが。もともとバントマイム用に作られた台本を、バルトークがバレエ用に作曲したもので、難曲ということもあつて、オーケストラとダンスのコラボレーションは日本ではあまり行われていないはず。私も創作過程で、かつてないほど苦しみました。理由はいくつありますが、まず、同じフレーズに戻ってくるのが多くて音楽が発展して、かない。物語もグロテスクだし恐いし、ずっと殺人と死の匂いがしている。観客にとっても、主体的に集中しないと入りこみにくい世界

ではないかと思ひます。  
でも、死の匂いだけでなく、なぜか不思議な生命感もある舞台でした。私たちの表現にするために、かなり抽象化は行っています。もちろんストーリーやト書きはそのままですが、主人公の少女ミミを複数出したりとか。それにもともと作品のなかで、殺される役人が絶望していかないからでしょうね。役人は性的な絶頂感のためなら、死を与えられてもよしとする。人間は生きていくだけでも死を孕んでいるのに、性的な欲望を生きたことより上にしてしまふ、役人はそういう不思議な生命体の象徴

なんです。そんな作品だからこそ、欲望も首から上だけだし死もバーチャルにしか感じられない。現代に上演する意味があるし、ダンサーの身体性、生命力を見てほしいと思うのです。  
醸し出す世界がグロテスクな「中国の」のあとに、「ボレロ」という生命がほとばしるようなダンスがあつて、組み合わせが絶妙でした。  
『ボレロ』は、05年には『春の祭典』と組み合わせたのですが、やはり重みのある作品でないとバランスがとれないんです。「中国の」が死の情熱なら、「ボレロ」は同じ死を到達点にしても、そ

こに至るエネルギーとか生命の素晴らしさや輝きを見せるもので、まさに今回は、対極の2つだからこそ成立したと思います。  
その2作品で、白河直子さんと5人のダンサーのかたたちが、すさまじいばかりの身体表現を見せてくれましたが、とくに白河さんは「中国の」では欲望と暴力と死を、「ボレロ」では抑制された情熱から歓喜が爆発するラストまで、素晴らしいダンスを見せてくれました。  
まるで白河さんの生命そのもののよう

生命の凄みや、美しさを感じられて感動するのですが。でもあの日の本番は、生き抜こうとする力というが、今のこの瞬間に全てを懸けようとする彼女の決意みたいなものが音楽と共に鳴って、不思議な磁場ができていきました。それにお客様がすごく温かくて一緒に持ち上げてくれているのを感じたんです。劇場全体が1つになって、作品が私の手を離れてその場にいた人たちと一緒に生まれ変わっていく。そういう瞬間を味わって、作品創りは苦しかったけれど、ごく幸せな公演だったと思います。



写真上:『中国の不思議な役人』 写真下:『ボレロ』

### 大島早紀子

おしまさきこ○演出家・振付家、白河直子とともにH・アール・カオスを設立し主宰。独自の美意識と哲学に支えられた空間感覚溢れる作品は、国内外で高い支持を集めている。最近の作品はミュージカル『クラリメント』(06年/共同演出・振付)、シンガポールのバレエ団Singapore Danve Theatre『Whose Voice Cries Out?』(06年/演出・振付)、東京二期会オペラ『ダフネ』(07年/演出・振付)など。キリンコンテンポラリーアワード優秀賞、舞踊批評家協会大賞、朝日舞台芸術賞、など多数の賞を受賞している。



構成・文○榎原和子 撮影○松山悦子(舞台) 宮川舞子(人物)



愛知県文化振興事業団戯曲コンクール

アナタ ホン ゲキ  
貴方の戯曲が舞台になる!

# 第8回 AAF戯曲賞

## 募集案内

愛知からの文化の発信と演劇界の振興・活性化を目的に、上演戯曲(既発表及び既上演作品も可)を募集する第8回のAAF®戯曲賞を実施します。受賞作は平成21年度に、愛知県文化振興事業団のプロデュース公演として、愛知県芸術劇場小ホールで上演予定です。多数のご応募をお待ちしております。  
※AAF=AICHI ARTS FOUNDATION(愛知県文化振興事業団)の略称です。

◎応募資格  
特に問いません。

◎募集期間  
平成20年 4月17日(木)~7月2日(水)  
午後5時(必着)

◎審査、受賞作の決定・発表  
平成20年10月28日(火)愛知県芸術劇場小ホールで公開にて審査の上、発表(予定)

◎賞の内容  
1.優秀賞1作品  
賞金50万円(上演料・源泉税込み)  
2.佳作(優秀賞に次ぐ作品と認められるもの)1作品  
賞金10万円(源泉税込み)  
※ふさわしい作品がない場合は該当なしとします。

### ◎応募作品の条件

- 1.日本語による戯曲であること。
- 2.既発表、既上演の作品についても応募できますが、他の戯曲賞への応募歴がある作品は応募できません。
- 3.応募作品は、著作権(上演権、出版権など)が応募者において処理されているものに限りです。
- 4.応募作品が脚色、翻案の場合は、原作者及び原作品名を必ず明記し、また、他の戯曲、小説、映画などから引用した場合は、その作品名及び引用箇所を必ず明記してください。
- 5.応募作品は、400字詰め原稿用紙縦書き200枚程度までのものとします。ワープロ原稿の場合はA4サイズの白紙に縦書きにて、400字詰め換算枚数を明記してください。
- 6.応募点数は、一人一点に限りです。
- 7.応募作品が受賞候補作品となった場合、愛知芸術文化センター内アートライブラリー(1F)・アートプラザ(B2F)にて戯曲を閲覧に供するものとします。さらに、Web上でも閲覧に供するものとします。なお、その際は応募作品のテキストデータを提出していただきます。

### ◎審査員(50音順・敬称略)

鐘下 辰男(劇作家・演出家、演劇企画集団THE・ガジラ代表)  
木村 繁(劇作家・演出家、人形劇団むすび座)  
鈴江 俊郎(劇作家・演出家、office 白ヒ沼代表)  
佃 典彦(劇作家・俳優、劇団B級遊撃隊主宰)  
深津 篤史(劇作家・演出家、桃園会主宰)

愛知県文化振興事業団

〒461-8525 名古屋市中区東桜一丁目13番2号 TEL:052-971-5609 FAX:052-971-5646  
http://www.aac.pref.aichi.jp/sinkou/

応募方法等、詳細はお問い合わせください。

# 俳優監督を目指す人へ

最終必切  
5/20  
(火)

## 演劇コース 昼間部 夜間部 1年制

16人の演出家のワークショップを受け演劇の多様性に触れ、様々なタイプの演劇に挑戦します。

### 劇場公演

一年間学んできたことの集大成として、プロの演出家のもと舞台作品をつくり、劇場で上演します。



担当講師 青木豪、浅井さやか、新井友香、板垣恭一、今井朋彦、河原雅彦、きだつよし、黒川麻衣、故林広志、近藤良平、志賀廣太郎、田辺茂範、平田オリザ、明神慈 ほか

詳しくは77ページへ

### 授業内容

演技基礎、  
ヴォイストレーニング&ストレッチ、  
台本の読み解き方、リーディング、  
実践講座(ウェルメイド講座/  
コメディ講座/ミュージカル講座) ほか

## 映像俳優コース 昼間部 夜間部 1年制

映画界で活躍している監督を講師に迎え、授業で撮影した作品は映画館で公開します。

### 作品制作

専任講師が実践的な指導をおこない、あなたの俳優としての魅力を最大限に引き出します。



詳しくは79ページへ

### 授業内容

ヴォイストレーニング&ストレッチ/  
演技基礎/コラボレート講座/  
ワークショップ講座/教養講座/  
オーディション講座 ほか

## 映画監督コース 昼間部 夜間部 1年制

一年間で、映画・映像作品を制作するための技術と知識を身につけ、作品をつくり映画館で公開します!

### 個人作品制作

第一線で活躍する映画監督の指導のもと、1人1本「自分が本当に撮りたい映画」を制作し、映画館にて上映します。



### 教養講座(映像俳優コース共通)

活躍中の監督やプロデューサーによる年一回の講義です。

担当講師 山下敦弘監督 中島哲也監督 ほか  
「天然コケッコー」 「嫌われ松子の一生」

### コラボレート講座

映像俳優コースとの合同授業で、撮影時の役割や、演出方法などを学びます。

担当講師 富樫森監督 豊島圭介監督  
「あの空をおぼえてる」 「ユメ十夜」

詳しくは79ページへ

### 授業内容

機材入門/脚本入門/照明入門/  
録音入門/ノンリニア編集入門/  
映像俳優コースとの  
コラボレート講座/教養講座 ほか

# ENBUゼミナール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001ビル  
Tel. 03-6895-9802 HP. www.enbu.co.jp/zemi/

5/11日に最終説明会を実施します。詳しくは、77・79ページをご参照ください。

資料請求無料!

お電話、HPまたは  
こちらのQRコードから→





地雷原をさまよう2人の自衛官。地雷製造に従事する無口な父親とその家族。地雷に囲まれたアジアの小村と、そこに生きる双子の片割れ。親分の屋敷を守るために地雷調達を命じられたヤクザは奔走し、「だるま」という言葉に過敏に反応する義足の女は僅れ地雷撤去活動へと旅立っていく……。様々な場所の様々な人生が乱反射する中で、世界共通の遊び「だるまさんがころんだ」の掛け声は、祈りにも似た響きを帯びていく……。



地雷をめぐる燐光群の演劇的挑戦は2004年の初演以来、多くの反響を呼んできた。そして2008年3月。  
“戦時下”日本。東京で4度目となる、無垢なる声がこだました。  
「だ・る・ま・さ・ん・が・こ・ろ・ん・だ！」

作・演出◇坂手洋二 出演◇中山マリ 川中健次郎 猪熊恒和 大西手洋 鴨川てんし 富島千栄 江口敦子 堀尾麻衣子 向井孝成 秋葉ヨリエ 杉山英之 小倉井篤 阿部訪麻子 安仁屋美峰 伊勢谷隆宣 殿佐佑介 西川大輔 吉成淳一 武山尚史 鈴木陽介 ED VASSALLO 3/20〜31◎世楽ファクトリー

## 燐光群 だるまさんがころんだ



「地雷についての芝居を作ろうと考えた経緯から、まずは聞かせて下さい。」

ひとつには、1999年の日本劇作家大会で、オーストラリアと日本の劇作家協会が出会ったことがあります。それがきっかけで「ランドメインプロジェクト」が立ち上がった。これは環太平洋——オーストラリアと日本とアジアの国々の共同プロジェクトで、各国の劇作家が出し合った地雷についてのショートピースをまとめてひとつの劇にする、というものでした。結局その企画は後に頓挫するんですけど、僕も既にいくつかショートピースを書いていたので、「ならもう自分でやってみよう」と。

あと、同じく99年、ニューヨークでヒューマンライツウォッチというNGOのフィルムフェスティバルを観たんですけど、そこでは必ず本編の前に地雷についての短編が上映されたんですね。そのNGOは地雷についての活動をしている団体だったんですけど、僕はそれを知らないで、ただマケドニアの劇作家が原作のユーゴ映画を観たくて行ったから「な、何なんだこれは!?」って驚いて（笑）。そのときのインパクトが強く残っていたというのがあります。

ただ正直、日本という基本的に紛争の無い国で地雷の話をするのは不可能だろうという思いも最初があったんですけど、でも日本でも地雷を作っていたといつことを調べていくうちに、そのこと自体がとても演劇的だと思うようになって「あ、出来るじゃないか」と。その後、毎日新聞記者がヨルダン空港で起こした爆発事件とか、いろんな事もありましたしね。

——今作は複数の独立したストーリーが組み合わさって全体を形作る構造になっていますね。全体の設計図みたいな

ものは当初からあったのでしょうか？

確かに、既に書いていたピースもあったし、各ストーリーは独立して考えてはいます。例えば双子のいる村の話はコミュニティの話として前から形にしたいと考えていたものです。地雷原を歩く自衛隊員の話にしても、僕らは過去に『反戦自衛官II 森の中のまわり道』（95年）という芝居をやってますけど、日本にも兵隊として暮らしている人がいるという現実にもちゃんと目を向けるべきものがあると思ってるので、すんなり出てきました。

ただ、全体の構成はかなり緻密に考えてはいるんですけど、同様の手法を取った『屋根裏』（02年初演）の時には、シーンをどの順番で上演するかを初日の10日前に役者に発表したんですけど、今回は義足の女の話を中心に、全体としてとらざるを巻ながらラストに向かっていく、という全体図がちゃんとある上で作っていましたね。

——物語が進むにつれて死と生、現実と非現実といった境界がどんどん曖昧になっていく。でも、その中で不思議と登場人物たちのリアルな「生」が際立って見えてきます。

それは演劇の持っている機能でもあると思います。この芝居はほとんど素舞台ですよ。それは舞台をどこにでも行ける場所にして考えてのことなんですけど、それって能舞台と同じなんです。複式夢幻能の「夢幻」を、生きている人にとってリアルなものにする仕組みが世阿弥の考えの中にはあって、その仕組みは現代劇の中でも再生できる。そういうものとも繋がっているんですね。

——題材が地雷ということで、多くの日本人が知らないことが劇中ではたくさん語られます。情報性と演劇性の両立

【作家インタビュー】  
平和な日本で地雷を描く。  
拠り所は演劇が持つ機能。

## 地雷を通して人々が繋がってしまう皮肉



### 坂手洋二

さかてようじ○62年生まれ、岡山県出身。劇作家、演出家、俳優、燐光群主宰。日本劇作家協会会長。山崎哲の転位・21を経て、83年に燐光群を設立。以降、ジャーナリスティックな視点で社会問題に切り込む作品を発表し続ける。今作「だるまさんがころんだ」では第12回読売演劇大賞の優秀演出家賞・選考委員特別賞、第8回鶴屋南北戯曲賞、第4回朝日舞台芸術賞を受賞。

次回予定◇「シンクロノイズド・ウォーキング」(芸術監督)5/15〜25◎梅ヶ丘BOX ◇「ローゼン・バレンタイン(仮題)」(上演台本・演出)6〜7月◎調布市せんがわ劇場 他

で葛藤は？  
それがね、全然無いんですよ、僕は（笑）。もちろん情報劇というか、啓蒙的な劇になるのは嫌ですけど、どんなに情報量があってもシンプルには出来るはずだし、皆が知らないことを一緒に考えられるなら、それは楽しいことだろうって思いますから。それに概念とかアイディアとか、人がまだ知らないことを伝えるのが表現の基本にはあると思いますし。そもそも「面白い」という言葉の意味に合致する昔の大和言葉って「おかし」とかじゃなくて、圧倒的に「めずらし」「あたりし」でしょう。だから、新しい情報や新しい考え方を自分で面白がることは、僕らが何かをやるときに大事なことだと思ってるんですよ。

——確かに、観ながら地雷について知るほどに、そうした知識を超えて人間について考えさせられる、そんな作品ですね。  
それはあると思います。地雷は本当に嫌なものなんだけれども、その地雷も人が作ったものであり、人が作ったものによって全世界の人がどこかで繋がってしまう。その繋がってしまう皮肉みたいなことがそこには多分あるんですよ。繋がらないよりは繋がった方がいいのかもしれない。でも、それが地雷でもないのかと言われれば、もちろんそんなわけではない。そういう何か、矛盾というか苦しい感じがあってそれは表現したい部分ではあったんですよ。



「特集」  
俳優達の  
現在

志し高く、演劇を作り続ける多くの人々の中から、今回は二つの試み（作品作り）のために集った俳優66名のこころ模様を、舞台を通してその現在に近づく。

★ ★ ★  
新作公演案内板がもっと楽しく、  
もっとお得に生まれ変わる!?  
その名も○○

演劇モバイル

★ ★ ★  
出演情報館!!

演劇ぶっくの新コーナー「えんげ情報館」と完全連動!!  
情報館で、演劇が100倍楽しくなること間違いなし!!

注目公演の情報はもちろん、  
出演者や演出家からのコメント  
も一緒に掲載します!

近年演劇人が大活躍している  
映画・DVD・書籍の情報  
も満載です!

演劇に関するイベント告知やお役立ちWEBサイト紹介、  
将来演劇人を目指すアナタ必見の  
オーディション情報と見逃せない情報ばかり!

それから、なんとこの情報館には  
プレゼント情報も沢山詰まっています!  
演劇情報館からの応募ならメールで簡単に  
プレゼントに応募できます! **ここから応募!**

演劇モバイル

お手持ちの携帯電話から  
カンタンアクセス!

iMenu→メニューリスト→音楽/映画/芸能  
→タレント/芸能→演劇モバイル

EZトップメニュー→エンターテインメント  
→芸能・アイドル→演劇モバイル

Yahoo!ケータイ→メニューリスト→芸能・映画・音楽→プロダクション・総合→演劇モバイル

株式会社 ケイブ  
cave <http://www.cave.co.jp>

ロサービスのご利用には、利用料が含まれます。ロサービス利用料の他に別途パケット通信料がかかります。通信料に関しては、契約回線業者にお問い合わせください。ロサービス・情報内容・料金・お申し込み方法は、平素なく変更する場合があります。ロサービスの広告中に記載された企業・団体・サービス名およびそれらのロゴマークは、商標所有・関係の商標または登録商標です。日本広告掲載の写真、イラストおよび記事・情報内容の無断転載・複製・二次使用を禁止します。

3キャリア対応!  
演劇モバイル用QRコード



カメラで読み取るだけで  
簡単アクセス!

<http://engeki.cave.co.jp>



「特集」  
俳優達の  
現在

赤坂RED/REVOLUTION

東京

作演出◎赤堀雅秋  
3/13・23◎  
赤坂RED/THEATER

地方都市から、あいまない熱い思いこみで東京に出てくる3人の若者。それを地方で見送る恋人や友人たち。3人の落ち着き先はパチンコ屋に就職した2人の男の部屋。誰にでもありそうなその青春の物語は演出家赤堀雅秋の手で、だれにでもありそうなゆえに、おかしくそして切ない、特別のラブソニーに仕立て上げられていった。

「ツールはコミュニケーション。」

赤坂レッドシアターが企画した、「赤坂RED/REVOLUTION」のオーディションに応募した600人余から選ばれた15人の俳優たち。その中で主筋から少し離れた役柄で、それぞれの個性で大いにリアリティーを感じさせた3人の俳優たちの自己変革は？

赤堀演出に惹かれてあつまった。

——皆さんはこの公演にどんな理由で参加したんですか？

吉牟田 お芝居がしたかったんです(笑)。私は「THE SHAMPOO HAT」に入って前回の公演から出たばかりなので、まだ赤堀さんの演出が十分に理解できてなくて、もっと貪欲に赤堀さんの作品を体験したいと思う。

——劇団で満たされない部分はないですか？

吉牟田 満たされないわけではなく、ですけど(笑)。もともと「こ」って感じがする。

——ずいぶん今と印象が違いますよね。

佐藤 「漫画で描くならこんな感じの顔が来た」って赤堀さんは思っただけなんです。

それは作戦？

佐藤 前の舞台の時もそんな感じで……(笑)。だからそんなに作戦作戦してはなかったです。

吉牟田さんは？ 演出家と同じ劇団だとちょっとやりづらい立場ですよね？



佐藤幾優

①74年生まれ、埼玉県出身。所属:boku-makuhari/(有)レトル。boku-makuhari、タテヨコ企画、五反田団、散歩道楽等の公演に参加。aphextwin/atom heart/squarepsher/YMOなどtechno大好き、マンガ大好き。  
②赤堀演出を経験して、意識や感覚、語彙がそれ以前とは圧倒的に変わりました。強烈なメンバーにも刺激され、何段階かしかでステップアップできました。いつか再び赤堀作品に参加出来ることを熱望しています。

いせゆみこ

①いせゆみこの「い」は一生懸命! 「せ」は精一杯! 「ゆ」は勇氣! 「み」は見ため老けてるみたいだけど「こ」は子供みたいなところもあるのよ、おそまつさまでした。  
②青春って、なんて素晴らしいんでしょう!!

吉牟田眞奈

①76年生まれ、京都市出身。演劇は、大学で演劇サークルに入部したことをきっかけに開始。在学中から毛皮族などに参加。昨年 THE SHAMPOO HAT 劇団員オーディションに合格し、「その夜の侍」から劇団員として活動中。  
②この作品は、振っても振ってもつきない泉の様でした。みんなウーン悩んで考えていましたが、一向にゴールが見えない、みたいな。それがスゴい面白くて、やり甲斐がありました。演劇って楽しい! と心底思いました。

ゆかわたかし



①77年生まれ、和歌山県出身。田所純役を演じさせて頂きました。ゆかわたかしです。僕自身も6年前、東京に憧れ、夢見て上京しました。大人の青春です……これからの頃と変わらず、「東京」で生きていきます。  
②公演も終盤の金曜日、芝居がわからなくなって、深夜に泣きながら演出家に電話したのは、生まれて初めてです。赤堀さんは笑ってくれました……。観に来て下さった皆様、スタッフの皆さん、本当にありがとうございます。

松永裕子



①88年生まれ、千葉県出身の千葉県民です。トマトと電車で眠ることが大好きでした。あと、スポーツも全盛期で、特にバドミントンは中学3年間みっちりやっていました。負けず嫌いです。  
②「何だ? ちくしよー」と思ったことが…… 何だ? やめてやる! と考えたことか…… そんな甘ちゃんだっただけで、自分を受け止めてくれて、その上で厳しくしてくれる…… あれ反対かも…… とにかくそんなこのカンパニーが大好き!

野本光二郎



①76年生まれ、埼玉県出身の野本光一郎です。ONEOR8(ワンオフエイトと読みます)と言う劇団に所属しています。劇団では2番目に偉いです。だから劇団の中ではエバってます。外ではおとなしいです。大好き。  
②公演が終わった今、考えると楽しかったとか嬉しかったかと思えるのですが、稽古中や公演中には、そんな余裕ありませんでした。赤堀さんとの出会いは、僕にとって凄く大きなモノになりました。ガンバ! 俺!!

新田めぐみ



①81年10月10日生まれ、滋賀県出身。舞台芸術学院を卒業後、小劇場を中心に活動中。代表作にモダンスマーズ「ゆきてかえらず〜福上荘の寄るべない日々〜」など。  
②今回「東京」に参加させて頂いて、芝居の難しさと楽しさを改めて感じさせられました。初めて顔を合わせた役者達と一つの芝居を創るために、役柄に近い人間関係を、短期間で皆が自然につくっていったと思います。

清水優



①85年生まれの清水優です。出身は神奈川県出身です。芝居を始めたきっかけは、日本映画学校という専門学校に入ったのがきっかけです。そこで、芝居の面白さを感じました。  
②今回、自分がやらせてもらった古川学という人間に出会えた事を心から嬉しく思います。古川と一緒に過ごしたこの1ヵ月半は、苦勞・超苦勞の連続でしたが、今では古川の親友になれたと思っています。ありがとうございます!!

佐藤晴彦



①はじめまして、沢田役をやらせて頂いた佐藤晴彦です。昨年、演劇集団スプートニクを旗揚げし、今回「東京」に出演したことで、只今、舞台の魅力に取り付かれています。素敵な作品を創るため日々精進しております。  
②「東京」に出演したことで、芝居に対する価値観が変わりました。役とは何か、芝居とは何か。レッドレボリューションは自分にとって革命でした。厳しく楽しい舞台に参加できたことに感謝です。

小林愛



①73年生まれ、東京都足立区出身。わがままだと思われがち、一人っ子B型ですが、さほどわがままではないと自負しております。たぶん、おそろく。②初めて、出演者最年長という立場を経験しました。色々勉強になりましたが、若さがちょっぴりまぶしくもあった2008年春でありました。しかしながら、まだまだ若い人には負けません! そう決意した2008年春なのだ!

木村悟



①78年生まれ、北海道出身。上京後、ENBUゼミナール ケラリー・サンドウィッチクラスに入学。卒業後、「カメレオンズ・リップ」「僕達の好きだった革命」に出演。現在に至る。最近度々らしい。②本当に密度の高い稽古でした。今まで自分が知らないようにして、送ってきた弱点を毎回指摘され、へこんだ日もありましたが本当に充実した1ヵ月でした。赤堀さん、キャスト・スタッフのの皆様、心から感謝しております。

粕谷吉洋



①78年生まれ、愛知県出身。ジブリ作品に光を見て上京。声優になるべく勉強中に芝居の奥深さを直り、「ENBUゼミ」へ入学。様々な活動を経て、現在に至る。  
②愛する。表現するって何だろう? こんなに考えさせられた公演は初めてでした。それは自分にとっては心底苦しく難しく、生涯忘れられないになりました。終わってみれば皆に支えられた感謝の一言です。

海老原礼子



①78年生まれ、東京都出身。興味がある事は全て試したが読かず、逆にまた苦手な事にトライしたら何かが見えるかもしれないと思い、人前になるのが大嫌いで、あるWSに参加し、……その後、加藤健一事務所俳優教室に入所。  
②今までにないハラハラドキドキの最終オーディションを経験した仲間と、この舞台に携わった全ての人が「松岡修造バリ」に熱く、赤堀さんが本番中にくれた愛溢れる熱いダメだしの用紙は、私の宝です。

井筒大介



①80年3月2日生まれ、神奈川県出身。現在28歳。芝居は6年目の井筒大介です。先日は舞台「東京」をおご観劇頂き、誠にありがとうございます。これからは役者、井筒大介を、どうぞよろしくお願いしたいと思います。  
②「東京」という素晴らしい作品、そして素敵な方々と一緒に出来たこと、心から感謝しています。貴重な経験をさせて頂きました。この経験を、今後生きていきたいです。本当にありがとうございます。

井端珠里



①87年生まれ、東京都出身。趣味は漫画を読むことと落語を聞くこと。負けず嫌いの野心家です。チャームポイントは猫っぽいと言われる目と八重歯。自慢できることは、よく「いい匂いがする」と言われることです。  
②赤堀さんの作品に対する、そして役者への愛をもった姿勢に惚れました。プロデューサー、演出家、キャスト、全スタッフが、皆同じ方向に全力疾走で走り抜けた1ヵ月半でした。二度と味わえないであろう、私の青春。

①自己紹介を兼ねた自己PR ②公演に参加して一言





①90年生まれ、神奈川県出身。中学生の時、ファッション誌「ラブベリー」のモデルオーディションで5036名の中から準グランプリに選ばれデビュー。昨年の「妹にしたいアイドル部門」の3位にも選ばれ、女優とアイドルを両立して活動している。ニックネームは「あーちゃん」。

②舞台でお芝居をする事が初めてだったので、最初是不安だらけでした。でも、演出の福原さん、一緒にやったみんな、役者さんにくさんのアドバイスを頂いたおかげでお芝居をする事が楽しくなってきました。



## 原嶺衣奈

①90年生まれ、東京都出身。幼少の頃からミュージカル等で活躍し、ヨーロッパで公開された外国映画「ハレー・オブ・ブラウズ」に出演。フランス語が堪能で、カナダ・フランスに留学経験あり。話題のCM、ソフトバンクモバイル「白戸家 3年大粗篇」に登場している。

②こんなにつらつとお芝居だけの舞台に立つのは初めての経験で、舞台ならではの動きなどに苦労することも多かったです。でも、福原さんや周りの人達に助けられて本番を迎えることが出来ました。この公演に参加出来て本当に良かったです!!



## 山内映美莉

①91年生まれ、東京都出身。月刊デビューの「イートンパニールグループ2006年冬の特別オーディション」にて、1000名の中から選ばれる。マザー牧場2007年初代イメージガールで本格デビューを果たす。

②東小依を演じて、不思議な女の子けど本当は皆の事をバカにしている、ウソつきなど、色々な面を持った小依を、悪者だけにはしたくなかったので、演じる中で難しかったです。5人一緒の舞台に立てて楽しかったです。



## 笹丘明里

①90年生まれ、東京都出身。99年に、ミュージカル「アニー」のケイト役でデビュー。以降明光義塾TVCM、東京個別指導学院 生徒モデルなど、幅広く活躍する。

②自分自身、とても大きく成長させて頂いた気がします。お芝居の楽しさや、一つの作品を力合わせてつくりあげていく事の大変さや嬉しさを教えて頂きました。出演者の皆さんも福原さんもスタッフさんも優しく、私のずっと大切な居場所です。



## 三浦竜一

①75年生まれ、東京都出身。友人の誘いで演劇の世界に足を踏み入れる。ラフカットやSHALALA、故林広志プロデュース等に参加。以降、誘われる舞台を転々とし現在はピチチのメンバーとして活躍中。

②出演者の中で、唯一両方の作品に参加させてもらい、一部裏方としても参加するという特殊な存在でした。演劇というものを裏と表から堪能させてもらい、それは贅沢な時間を過ごしました。



## 石井美奈子

①06年再結成を果たした種々のエンターテインメント「米米CLUB」のダンシングチーム「SUECREAMSUE」のメンバー。米米CLUBのデビュー以来、全振付を担当し、米米エンターテインメントの象徴として華として活躍。現在、米米CLUBの活動と平行して、ソロヴォーカリスト、女優としての活動の他、ファッションブランド、基礎化粧品ブランドのプロデュースなど、多彩に活躍中。

②TDLの若いリワーに圧倒されそうでしたが、私たちUSJもとても楽しく出来ました。今回は、千葉雅子さんの脚本に福原さんの演出という、とても勉強になる舞台になりました。これからも日々精進して頑張っていきたいと思います。



## 岡本光太郎

①73年生まれ、千葉県出身。1998年に役者デビュー。翌年にはフジテレビの昼の連続ドラマ「愛のことはば」で主演とつとめた。以来、様々なドラマ・CMで活躍。只今放送中のNHK大河ドラマ「篤姫」では川上筑後役で出演中。

②今回は6年ぶりぐらいの舞台だったので、映像と違う細かい表現部分も改めて勉強できましたし、脚本千葉さん、演出福原さんという人気劇団主宰の方々の芝居に出演できて、貴重な時間を経験出来たと思っています。



## 平野靖幸

①75年生まれ、静岡県出身。多数のCMや映画に出演する一方で、作・演出を自ら務める一人芝居をコンスタントに行っている。最近では昨年、新宿タイニアリスにて、一人芝居「人物写真展」を成功させた。

②芝居に対しての志がまた一つ芽生えた気がしました。貴重な体験でもあり、取り組み役者の方々の姿勢には頭が上がらない。また同じメンバーで一緒に立つことが出来たに嬉しいです。



## 柚木佑美

①61年生まれ、岡山県出身。82年、NHKのTVドラマでデビュー。その後、TV・舞台・映画など幅広く活躍。個性的な演技が注目され、昨年公開された「パッチギLove&Peace」にも出演。現在OA中の「明治安田生命」CMにも出演中。

②普段やらないタイプの芝居、新鮮プラス大変で……! 新しい挑戦は刺激的で、学ぶことばかりで、素敵な時間でした。なお、いけしんさんが高校生の女の子に囲まれしる顔を見て、秘かに楽しんでいました。あはは……。

### STAR Chart Project #1

# TDL÷USJ

『TDL』と『USJ』、男子ラブ。』

作・葛木英 演出・福原充則 出演・岩井七世 坂田彩

原嶺衣奈 山内映美莉 笹丘明里 三浦竜一 湯澤幸一郎

『USJ』 唄わない夜の、白いジュークボックス。』

作・千葉雅子 演出・福原充則 出演・すほうれいこ 岡本光太郎

平野靖幸 三浦竜一 いけだしん 柚木佑美 / 石井美奈子

3/29〜4/3 ③下北沢駅前劇場

24歳の葛木英と45歳の千葉雅子。世代の違う二人の女性作家を脚本に据えた本作は、「地球に隕石が接近する」という状況設定こそ同じだが、描かれるのはまったく違う物語。

葛木英作『TDL』では、イマドキの無自覚な女子高生たちの物語が、千葉雅子作『USJ』では、元スナックの選挙事務所を舞台にちょっと情けない大人たちの物語が繰り広げられる。それぞれの物語の行き着く先は……。

## 「特集」 俳優達の 現在

### 「世代を越えてひとつに繋がる」

十代の女の子たちのパワァーが炸裂した『TDL』。大人な雰囲気を感じし出しつつもアドリブ満載で爆笑ものだった『USJ』。それぞれのチームに出演した俳優4人の座談会では、どの人もそれぞれ舞台を楽しんでいる様子が伝わってきて……。

#### それぞれの物語のなかで

今回は二本立てということで、それぞれのお話を伺いたいと思います。まず『TDL』は女子高生たちのお話ですが、岩井さんは現在18歳というところで、まさに等身大ですね。

岩井 年齢的にはそうなんですけど、リアルに演じるというより、あえて、女子高生っぽく演じました。無自覚に学校のなかで生きている感じを意識して、衣裳もピンクで萌えな感じだし(笑)。共演の女の子たちも、みんな事務所が同じで、和気あいと仲良くやりました。

湯澤さん、女の子たち二人一人の悩み相談に乗るような役でしたが。

湯澤 具体的に言えば、それぞれの少女たちの「自分のなかの他者」としての存在なんだと思います。だけどそれは、その少女たちの自我そのものを演じる、ということではないと思う。一人の人間のなかにもいろいろな人格が存在していると思うので、それぞれの少女に合わせてや

やつて。あいう「本気さ、もう30過ぎるとなくなってしまうので、私もそういうのは見習わなければいけないと思いました。

すほう 楽屋で女の子たちとしゃべってたら、なんか若さゆえのエネルギーがすごいなと思って。「私も負けてられないな」と刺激になりました。

いけだ 『TDL』の女の子たちを観ると、男性は当然だけど、女性も「ニヤニヤしちゃうよね。きらびやかな感じ」。

岩井 私はいけしんさんがすごく面白くて、観てて毎回笑ってましたよ。今回、いろいろな出会いがいっぱいあって、嬉しかったです。やっぱり舞台って、生身の人間が目の前でやってくるわけですから、その時その時で変わるし、本当に面白いですね。

#### ニチーム間の交流は?

今回のようなプロジェクト公演は、いろいろな分野の方が集まって、面白いですね。いけだ 今回は特殊ですよ。きつと。世代の違う作家が共通した設定の物語を書いて、それを世代の違う役者が演じる……って、なかなかない。

湯澤 小劇場で十代の子とやるってこと自体まずないですから。私もともと自分の劇団でも初心者の子を集めてやっていたので、経験の少ない子にいろいろ指導するのが得意なんです。今回も演技指導的な細かいことをちょっとだけやらせていた。楽しかったです。

岩井 湯澤さんには本当に手取り足取り教えていただきました。すごく心強かったです。

湯澤 (坂田)彩ちゃんとか、劇中に出てくる鴻上芝居のシーンの自主権古を人ですって



## いけだしん

①69年生まれ、長野県出身。猫のホテル所風。どちらかと言えば、猫より犬が好きで、ホテルより旅館を好む。新宿に十数年在住しているが、あこがれの新宿館に未だ通過出来ず時折落胆。治安の悪さも横ばいで、夢平和。

②稽古中、TDLのピチピチ具合に眼差しを奪われ、オッサンはオッサンでやらねばならぬと日々小ネタを模索し、本番中のファン層のギャップが新鮮で、とても楽しい経験でした。美男美女にまた囲まれたい。

## すほうれいこ

①82年生まれ、静岡県出身。「SLAP STICKS」、トランス、新感線合NEXUS vol.2「Cat in the Red Boots」、劇団、本谷有希子「ファイナルファンタジックスーパーノヴァフラット」など、様々な舞台で活躍。今後舞台出演が控えている。

②同じ事務所の人達が集まって一つの舞台を作り上げる事は、なかなか経験なので、拘わる事が出来て良かったと思います。TDLチームのエネルギーの凄さにも魅せられて、私も負けてられないと頑張る事が出来ました。みんな本当にありがとう♡

## 岩井七世

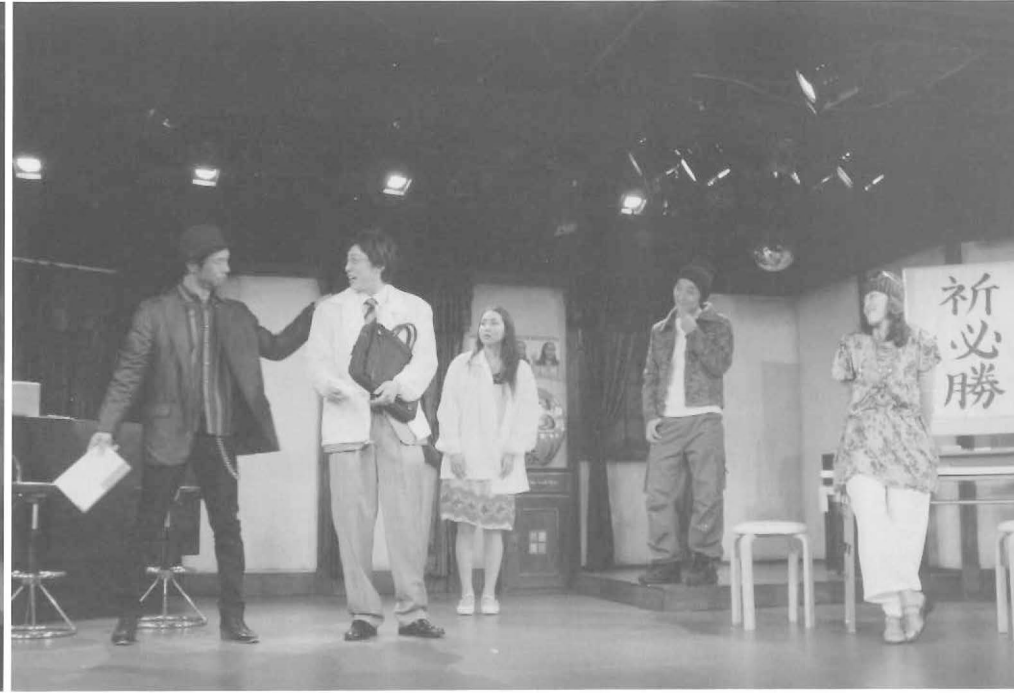
①89年生まれ、東京都出身。小学4年生の時、父親が勝手に(笑)送った履歴書がきっかけでトーンカンパニーに所属となる。NHK教育「天才てれびくんMAX」、ファッション誌「ラブベリー」で、小中学生のカリスマ的存在となり、その後映画「かしの旅」の「あいのこころ」などで活躍する。

②言葉でうまく表せない位、感謝の気持ちと嬉しさでいっぱい。知らないことだらけの初舞台、周りの仲間や先輩達に支えられて充実した日々でした。あたかも目で見下さった友人やお客さんにも心からありがとうを言いたいです。

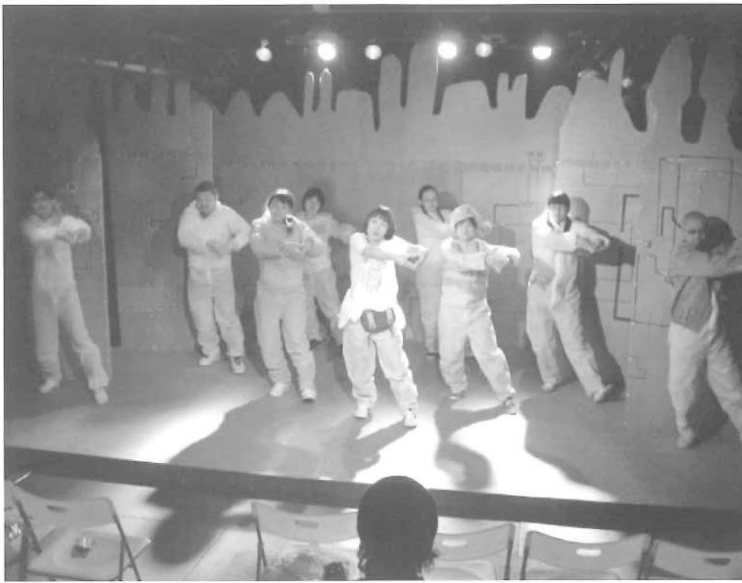
## 湯澤幸一郎

①71年生まれ、岩手県出身。天然ロボットの全作品において作・演出・出演をこなす。最近では役者としてアニメ系ミュージカル等に出演。8月にミュージカル「DEAR BOYS」vs.EAST HONMOKUに出演。

②久々の小劇場でとても楽しかったです。ああそういう楽屋って静かにしていなければならない場所だったと思い出しました。最近では男所帯の舞台ばかりでしたが、少女だらけの方がやっぱり性に合っています。







はなとゆめ

# はなとゆめとお菓子

「特集」  
俳優達の  
現在

なんだか自信のなさそうな工員さん達が働くかわいらしいクッキー工場に、うるさいユーロビートが流れることで反対運動が起こる。そんな中、派遣できたAV女優たちがこっそりAVを撮っている。こっそりつくったチンコクッキーがそのまま売り出されて、苦情の電話が殺到。恋をするピンク色になり、パイトリダーをみんなで取り合う。が、工員たちがAVに巻き込まれて大人になると、その人がイマイチに見えたりするという真実もほほえましくかいま見せる。

## 「フワフワしていて、リアルな世界をつくりだす。」

今回の特集の中では、確実に一番ゆったり、おっとりした感じに見える俳優達なのだが、だからといって演劇に対しての意識が低いかというと、とんでもない。その自分たちのスタイルにこだわる生き方が、皆さんなりのコアな表現者としてのスタイルなのだ。たぶん。

### なんとなく集まっている人々

皆さんと劇団の関係を教えてください。  
福屋 劇団というか、「はなとゆめ」は演劇のユニットです。主宰の津久井(垂以)しかいません。  
皆さんは劇団員ではないんです。  
福屋 僕、「ロリタ男爵」なんですけど、はなとゆめに出るときは「うちの人になるらしくて、今回のオーディションの時も演出の津久井さんと僕と二人でやったんです。  
——ではお二人で「はなとゆめ」をされているというんですか。  
福屋 どうなんでしょう。そこがあまり僕もよくわかってないんですけど(笑)。

白井 私は「漢の仕草」という劇団から来ました。津久井さんは知り合いで、今回は呼ばれました。以前私が出た芝居を観に来てくれて、それからメールをくださったって出演することになったんです。  
——工藤さんは。  
工藤 一回目の公演に出させてもらって、今回は二回目です。田辺(茂範)さんの紹介ということで津久井さんとお会いして、お話しなんです。  
津田 私はオーディション……というのかな？ ENBUゼミのときに福屋くんが私をなんとなく知ってて今回、オーディションをやるの出てみてもらえませんか、というお話をもらって受けて出演することになったんです。  
——あまり考えすぎずに、とにかく楽しく(笑)。  
——津久井さんの描き出す世界は、フワフワしているようでよく観ているとわりとリアルだと思のですが、実際やっている方はどう感じているようにみえますか。なんとなく皆さん楽しんでるんじゃないかな。

工藤 そうですね。他のお芝居に出ているときよりも、役の細かい設定や年齢、心の裏の背景などをあまり考えないでとにかく楽しく(笑)、あまり考えすぎずにやります。  
白井 演出も全然細かくなくて、あんまり何も言われないよね。  
福屋 結構さくくり、だよな。  
白井 フォーリング的な。  
津田 津久井さんは、演出の仕方でもいろいろ言い方をするんです。加瀬(澤拓未)さんが文庫本を読みながらお昼休みにカッコつけて座ったときに、「その辺でちょっと風が吹いてほしいんです。」……という言い方をしている(笑)。そんな雰囲気って、こういう言い方イメジで伝えてくれることが多いかな。そのニアンスの表現が、あやふやなようでいて具体的なんです。  
——本当に楽しんでました、みんな。  
——はなとゆめの公演に参加して、一言。  
白井 よかったです。  
津田 楽しかった。  
工藤 本当に楽しんでました、みんな。

福屋 それぞれみんな別のところからきているから話しやすいですね。役者さんを知らなくても、人として話していただけるから無理がない。舞台上に立っていないときも楽しい。  
——良い先輩たちを連れてきているとも感じました。  
工藤 皆さん怒ったりイライラしたりしませんが、演劇の人は本番前にヒリヒリしたりするじゃないですか。それがいい人の集まり。微塵もないよね。

——間違ったらどうしようとか思わないんですか。  
工藤 間違えたらどうしよう、とは思って、結局それに対して怒る人がいないから、そこまで思い詰めないでやれる。むしろやっちゃったと楽しむぐらいのゆとりがある。それがいいか悪いかはわからないですけど。  
——結果としてそのやわらかい雰囲気は舞台上に上手に出ているからいいですね。

### 工藤史子 (右)

①1979年生まれ。兵庫県出身。現在フリーで活動中。昨年はロリタ男爵「放免エスケープ」、IOJO「欲々しい」等に出演。今後の予定などは個人ブログ「ことんうしろむき」を覗いてみて下さい(※3頁)。  
②第一回公演も第二回公演もイジメられ役でした。役以外でもイジメられました。でもみんないい人です。涙で枕を濡らした日もありますが、みんなのことが大好きです。本当です。ガンツとオマン大好きです(敬称略)

### 白井暁子 (中上)

①東京都出身。2003年多摩美術大学在学中、白井劇団はたあげ、4回は公演を行いました。野鳩、シベリア少女鉄道、はらぺこペンギン、7%、等に出演。2007年9月 白井劇団から演(おとこ)の仕事を改名、改名第一回公演を行いました。2008年、はなとゆめ参加  
②稽古場にガンツさんがいつもいて、誰よりばみたり、効果音を出してくれたり(口で)してくださった事が印象的であり、衝撃的でした。毎日楽しく練習していくのが楽しくてみんな可愛くてしかたなかったです。

### 福屋吉史 (左)

①86年生まれ。千葉県出身。PR一便の生まれ育った福毛には、汚い水路があります。だからと言うわけじゃないけど、僕もひげ面で太って汚いですが、かわいいフェミニンな男の子の役が多いです。ギャップがあっていいのかも。あと意外と若いです。  
②僕ははなとゆめが二回目で、曖昧ですけど、はなとゆめの時は、はなとゆめの劇団員らしいです。役者も女の子がほとんどなので、稽古も本番前も舞台同様女の子の子らしくて、はんわかのんびりしてて大好きです。

### 津田悠 (中下)

①82年、東京都生まれ。02年ENBUゼミナール板垣恭一クラス卒業。趣味は、読書・ハンガリーダンス・茶道。マリオミニユニット「東京マトリオミン」としても活動中  
②津久井さんは男っぽい。心底オトメに憧れてるんだけど、どこまでも男目線だからあいつた作品が喜ぶのだろう。ハタと膝を打つ演出には毎度ときめきを感じ、自然体の信頼でもって受け入れることができました。

①自己紹介を兼ねた自己PR ②公演に参加して一言

### 吉田麻生



①78年生まれ。東京都出身。97年、むっぴみえっぴりに1週間前に呼ばれ、第1回公演に出る。19歳から30歳に。一度は本気で脱退しようと思っただけで、一輪ずつ花を渡し、お別れの挨拶までしたのに舞い戻る。  
②台本を読んだ時、第1回面白かった。津久井さんの作品は、他に0回公演にあたる時の本を途中で読ませてもらった事があるんですが、とても興味をそそられ、本番を観なかった事が、今後悔されます。

### 佐伯さち子



①77年生まれ。鳥取県出身。大阪芸大卒業後、同級生達と「野鳩」を旗上げし、現在も所属。顔などが地味ですが、背は大きいし根が明るい。しかし役者としてのひきだしが1段しかないことが最大の弱点なのです。  
②今回ののははなとゆめは常にみんなできっさききして、高校時代を思い出しました。小屋入してから、ほとんど毎日空き時間にみんなでカフェに行ったり、開演直前まで舞台袖で喋っていたり、至極のどかでした。

### 貴島千華



①ほぼ東京都出身。印象ほど真面目でもなく、しっかりもしてません。見かけ倒し。忘れ物番長。眼鏡も曲がってます。6月14・15日下北アインホールにてユニット「安全品」旗揚げに参加します。  
②笑って楽しく過ごしました。驚くほどツコミが早く、イタズラは日常茶飯事で、マイペースが常であり、無ったような笑みもしたけれど、空気がいつもゆったり。意外性と納得の、はなとゆめの日々でした。

### 加瀬澤拓未



①77年生まれ。千葉県出身。多摩美術大学在学中より劇団「ロリタ男爵」所属。同劇団公演以外に外部公演への出演、CM、映像出演と活動。メカネ屋用、最近鋭、現在、奥歯を治療中。先日、近所で上野樹里に遭遇。追うが見失う。  
②初めての参加です。台本呼んで、セリフがいいなと思いました。それぞれの役の、自分の役としては、女の子にモテるというのがなかなかないので戸惑いました。「加瀬さんが爽やかに見えたから、曲DNして下さい。」というきっかけを指示されたのも初めての経験でして。新斬新だ！と思いました。

### オマンサタバサ



①70年生まれ。千葉県出身。ゴキブリコンピナート旗揚げ公演より参加。以降、ほとんどの作品に参加する。ロリタ男爵、超歌劇団、ピチチ5他客演も多数。今後の予定として5/30より6/2までゴキブリコンピナート第23回公演「いつかキキョウする日」新小岩劇場がある。  
②拝見した事の無い劇団だったのでドキしましたが、キャラクターをケネプロで変えてもらって受け入れてくださった演出家・津久井さんのおおらかな度量により割と自由に演じて頂きました。出演者に女性が多かったのが緊張しました。福屋クンに負けた漫画が帰ってきました。





いとうめぐみ

①東京都出身。劇団→ロンドンで芝居&ダンス→劇団復帰…を経て現在フリー。「変わった声ねえ」とよく言われます。  
②自分がとびきり「ちびっ子」なんだなあ、と実感させられる毎日。座ってるメンバーと立ってる私、ほぼ同じ高さって……。美女多く、ため息の日々でした。ありがたい！



井上裕朗

①71年生まれ、東京都出身。大学卒業後会社勤めをするも数年で退職し、30歳で舞台の世界に入りました。北区つかこうへい劇団養成所卒業、現在はフリー。最近はtptや地人会などの作品に出演させて頂いています。  
③はもともと「革命」というものに強い憧れと親近感を抱いていましたが、今回の芝居で革命を起こす「キタナイ人々」を演じてみて、革命に命を捧げた人々の「情熱」や「勇気」により惹かれるようになりました！



内田亜希子

①82年生まれ、埼玉県出身。趣味・歌、bag作り。この3月、新国立劇場演劇研究所を卒業したばかり。tpt「スペインの芝居」のプロンプター&前説をしたのがきっかけで、ミステリア・ブッフのWSに参加しました。  
②歌う女がやりたかった。冒頭WORLDENDjazzclubのステージ、ミラーボールパッション!! の中で歌うのはスリル。でも素敵っ！ 悔しいけど、ついついいつも素で見とれてしまいました。出演者もスタッフも、明るくて素敵なんばかりで、とても良い雰囲気の現場です。また会いましょう。キュレキュレ！



植野葉子

①65年生まれ、東京都出身。中学を卒業してから宝塚歌劇団へ。男役、女役を経て、24才で退団。刺使河原宏カントク「豪傑」で、三国皇太郎氏と共演。tptの「双頭の鷲」「エリダ海の夫人」「三人姉妹」他デヴィッド・メルロー演出。「スラブ・ボーイズ」「エンジェル・スインメリカ」他ロバート・アラン・アッカーマン演出。中島みゆきの「夜会」「星屑の会」などに出演。tpt所属。  
②知っている役者も初めて共演する役者も……とにかく人がいっぱい！ 人間が集中したときのエネルギーは本当にすごい。良くも悪くもすごい。この空間の中で27名の俳優がどう会おうのか想像できない。それがおもしろい。本当におもしろい。



上田和弘

①67年生まれ、大阪府出身。1995年流山児☆事務所入団。客演含め、50本以上の舞台に出演。北京、ロシア、イラン、等の海外公演も。特技:殺陣、居合。次回作は8月、流山児☆事務所「由比正雪」(本多劇場)  
⑥月に第1回、10月に第2回のワークショップがあり、それをふまえての稽古DL。とびとびながら9ヶ月も一本に関わる贅沢さ。普段40日位で一本創るのと違う楽しさを味わった。



大沼百合子

①宝塚歌劇団出身。ウン十年前に宝塚で出逢ったハコとは今回が初共演となりました！ 役柄と同じく、このカンパニーの最年長。でも精神年齢は皆とホボ一緒だと本人は思っています。tpt大好き！  
②旅をするこの物語を通じて私たちも皆で旅をしてきました。そして行けども行けども、その先には大きな穴があいていて、そこに踏み込んで行かざるをえない。はアートと、ちょっとため息つきながら、公演が終わっても旅は続いています。



沖田乱

①61年生まれ、東京都出身。大学時代より演劇活動始める。1982年劇団プリキの自発団入団。1993年よりフリー。今秋流山児☆事務所「人形の家」で香港、上海公演を予定。  
②役名ボリス・ニコラエヴィッチ。ロシアの武器商人。6歳の時最愛の婚約者ナターシャが謎の失踪。以来心が脱臼。治療不可。ペシミスト。有信論者。カムチャッカの冬が大好き。



小寺悠介

①79年生まれ、青森県出身。日本語と津軽弁を使いこなすバイリンガル。本人的には誠実さで売りにするつもりが、共演者に胡散臭いところ指摘を受け新たな自己を発見。今後は「誠実な胡散臭さ」を目指して日々奮闘中。  
②稽古が始まって間もないころ、演出の木内さんに、「ヒンデンプルグという誰も知らない人間を演じる必要はない。役者、小寺悠介をみせてほしい。」と書いて頂いた。何処までその言葉に応えられたかなあ。



奥山滋樹

①85年生まれ、山形県出身。2004年、ENBUゼミナール藤原哲雄クラスで演技を始める。以降劇団東京乾電池研究生を経て、2007年tpt「三人姉妹」に出演。現在は法政大学に在学し、フリーで活動中。  
②まだまだ未熟な自分を起用してくださり、暖かく見守ってくれたtpt、木内さん。共演した皆様、関わったスタッフ、音楽家の方々、見に来て頂いたお客様。その全てに感謝しています。ありがとうございました。



かりん

①79年生まれ、茨城出身。筑波山のふもと、いなり川のはとりでどろんこまみれになりながら、走りまわって育ちました。この島国のどろろいところ、おおきなところ、それをすこしでも継りこんで、ねりこんで、残してゆけたらと思います。私はこの時代にこの島国に残してもらった農耕民族の争強きでありたい。  
②自分が何者か、人間という生物、姿、形や出会いとか、みてもみきれない、膨大な情報と考えても考えてもたどりつかない理由のようなものが、めの前にどっさり腰をかけていて、私の中でくり広がるのは、もう、ほんとうに「現代の日本というミステリア・ブッフだった。だから、どれだけ、みていないものがあるか、知らない事があるか、生きることによってどれだけ削いでいるのか……。「前へ進もう。」

「特集」  
俳優達の  
現在

TPT ミステリア・ブッフ

大洪水に沈みゆく地球で、  
方舟に乗り込むキレイな人々、キタナイ人々。  
生き残りをかけて闘いながら、宇宙へ地獄へ、天国へ、そして約束の地を求めてカンパニーは旅する。  
27人の役者たちが取り組んだロシア革命時の戯曲。  
詩人で作家のマヤコフスキーが求めた真の自由への旅は、絶望的な世界のまま、今も果てしなく……。

バラバラな27人の進化

1918年モスクワで初演されたマヤコフスキーの「ミステリア・ブッフ」は、演出家の木内宏昌の解説によれば「ミステリアは奇蹟劇、ブッフは道化芝居」。革命期の高揚のなかで生まれた民衆のための祝祭劇であり、彼の世界観を表現したものだという。ブルジョアとプロレタリアという構図で描かれた当時の社会の不条理は、08年の今も厳然としてあり、90年後を生きている役者の肉体と精神をかりて、現実のものとして立ち上がった。

キレイな側、キタナイ側

劇中の役割を解説してください。  
池下 支配人です。最後にモノの代表に変わりますが、お客さんに話しかけたりするナビゲーター的な役割だし、みんなを支配しようという内心

て来なくなるんですけど、天国で甦らせたのは木内さんの演出です。  
この作品のテーマや自分の立場をどう捉えましたか？  
小谷 キレイな人とキタナイ人の闘争もですが人間の運命みたいなものが見えれば、キタナイ僕らに対抗する側としてキレイな人がいて、それを越えていくと、また新たな問題が起きて、また越えていく。越えていくことで、変化していくことが見えるのが大事なかな。自分の役としてはそれを見て、伝えるの。かなと。  
濱崎 私は稽古の最初の頃、よくわからなくて「どうなっちゃうんだろう」と不安になったんです。ちょうど休みがあったので、友だちのジャズバーで歌わせてもらったり、断食施設に入って飢えてる感覚を知ろうとか。その経験では労働者が元氣だと違和感を感じたりしたんですが(笑)。私も詩人と同じように。見守る。立場でもその生き方に、居場所のないことがつらかったですね。そしたら演出家から、立場を楽しむほうがいいと言われて「そうか」と。それから、劇場入りしてみて、「クラインの壺」ではないけど、グルグルグル歩くので、本当に旅だなと思いました。

池下 支配人はキレイな人の代表づらしをしますし、「前進を続けよう、突破をしよう」と、革新しよう」というキタナイ人たちとことごとく衝突していく。そういう点ではわかりやすいんですが、1幕でキレイな人たちがいなくなったあと、2幕でも生き残ってるのが汚いなど(笑)。この作品は、90年前の革命賛歌的な戯曲で、ブルジョワを打倒するという構図を残しているんですが、今の日本の観客には、ブルジョワも労働者もリアリティがないかもしれないですね。でも、木内さんが書いてるように、いつの時代でもこの構図は存在しているし、その構図を支配人が代表してる部分はあると思います。  
身体に台本が入ってできること

本番のなかで発見したことはありますか？  
池下 稽古では、それぞれ台本を読み解く努力とかしてきかと思っんですが、本番では役が徐々に身体的になってくる。なかには、舞台に立つのがほんと初めてという人がいたんですが、だんだんはどけてくる。そうするとこちらも「こういうことがやりたかったんだよ」となって、最近では本番が楽しいですね。

左より池下・濱崎・小谷

池下重大

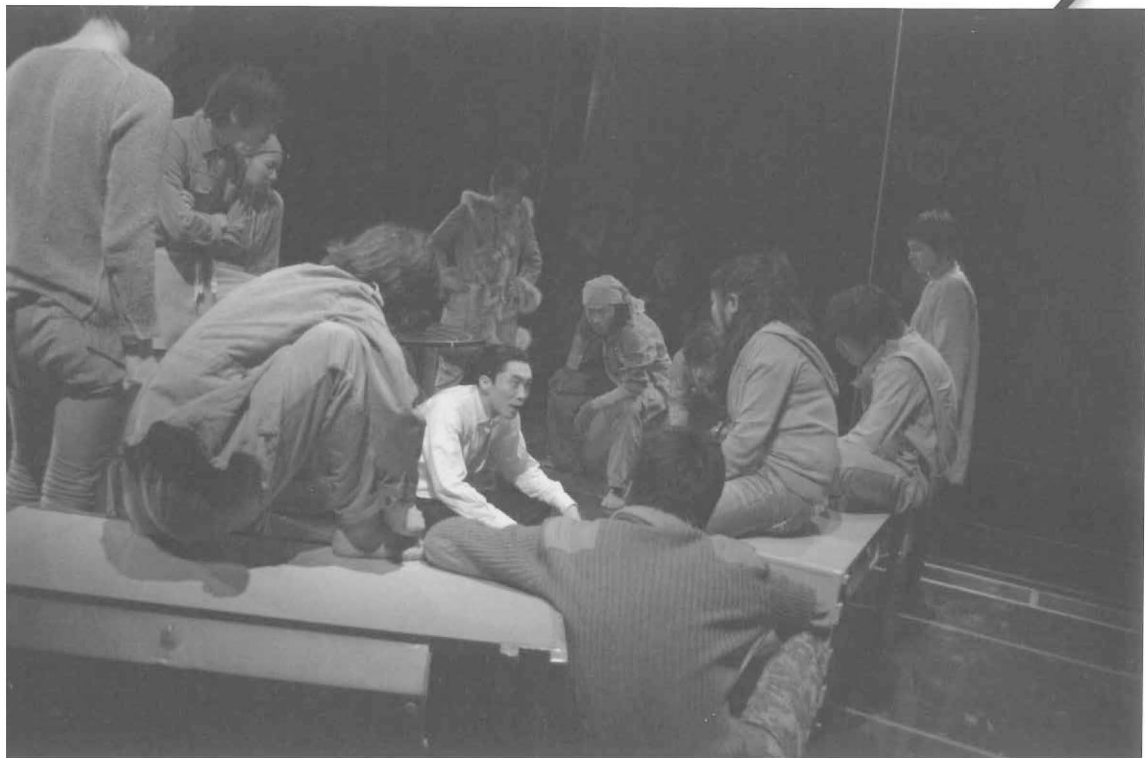
①劇団座組を経て、劇団核数童子に旗揚げより参加。最近の劇団公演「泥花」「海猫街」。TPTs「BENT」「道成寺」「スラブ・ボーイズ」など。演劇企画集団THE・ガジラ公演9/15〜28◎ベニサンピット、劇団核数童子「黄金の狼」11月◎ベニサンピット  
②90年前の物語ですが、面白いからこゝろは、それぞれの役者がどれだけ責任をもって今の自分を投入できるかで、それがそのままで出てくる作品だと思っています。

濱崎茜

①80年生まれ、長崎県出身。20歳を期に上京。2004年映画「おれさま」でヒロインデビュー。その後映画を中心にTV、CMなどで活躍。2007年初めて舞台に立つ。tptは「三人姉妹」(マーシャ役)に続き二度目の出演。  
②観にきてくれた友人から「ボリシェビキってどういう人達か分からなくて帰って調べた。」とか「アララト山って実在するみたいだね」という言葉を聞くととても嬉しかった。そういうことなんだよなあ。私たちの仕事は人に伝導することでもある。旅芸人のように。旅は続くなあ。

小谷真一

①78年生まれ、大阪府出身。近畿大学文芸学部芸術学科演劇専攻卒業。  
②27年の役者たちが稽古期間、本番中も変化し続けて行き止まることのない舞台。圧巻です。







岸田研二

①74年生まれ、静岡県出身。これまでは「惑星」というバンドでずっと音楽をやってきました。舞台はほぼ初体験です。  
②TPT、演出家の木内さん、作品、全てが初めてで、とまどいの連続でしたが、多くの出会いがあり興奮しっぱなしで、毎日よく眠れませんでした。これから舞台に立って興奮し続けたいと思っています。



熊本昭博

①69年生まれ、東京都出身。AB型、双子座。四重人格ではありません。  
②これだけの大人数で、皆と一緒に作った芝居は初めて。大変だったけど、面白かった!



木暮拓矢

①78年生まれ、群馬県出身。2002年より浪山児事務所に参加。次回作「双葉のレッスン」(浪山児事務所)6月下旬沢スズナリにて。  
②作家はこの作品を「道」といった。道であるからには進むしかない。27名の役者と2人の演者、舞台を支えるスタッフ、そして観に来た人達全員で、時に振り返り、時に立ち止まり、様々な選択の中「道」を歩んだ。



小林高朗

①神奈川県出身。大学在籍中から「劇団フライングステージ」という所に所属して、小劇場活動を始めました。特技は茶道。舞台ではあまり役に立ちません。劇団も退団し、地道に活動中です。  
②様々な経歴の方々と一緒に作品を積み上げて、勉強になり、刺激的な経験ができました。「ミステリア・ブッフ」は身の回りに溢れています。少し気を配れば、地球の隅々も変わるかな。



河野由佳

①81年生まれ、東京都出身。4歳の時スカウトされ、CMモデルとして活動開始。10歳で「アニー」アニー役として舞台デビュー。その後、ドラマや映画など映像分野に進出し、2003年、東宝「レミゼラブル」コゼット役に舞台復帰した。現在、舞台、映像とマルチに活動を展開している。  
②カンパニーの皆に会えて良かった♡出会いに感謝です!



加治慶三

①71年生まれ、愛知県出身。  
②ワークショップの時、直感的にすごく面白くなる感じ、それ以来その気持ちがゆるがなかったの自分の苦手分野も含め楽しみ続けられた半年間でした。



田村元

①78年生まれ、神奈川県出身。脳内メーカーはすべて「愛」です。  
②革命詩人アヤコフスキーの言葉の洪水にさらされた日々。多くの才能から刺激をもらった時間でした。



玉井夕海

①77年生まれ、東京都出身。  
音楽パフォーマンス集団Psaln サム>声、パフォーマンス担当。映画「千と千尋の神隠し」リン役。映画「もんしゅん」(製作/シグロ-MK)企画・脚本・音楽(Psaln)主演。  
②この作品を通して、芝居やってみようって、なんでもかきだしてでもブルジョアだなと思いました。



武田優子

①82年生まれ、大阪府出身。二年前に上京。大学の卒業制作、戯曲「白いチョゴリの折り」にて学料賞受賞。(担当 林利文教授)2007年「PIAF」(tpt)トワース役にデビュー。  
②インドの女王ラズーヤ、デビル、天国の住人、モノを演じた。これだけ長く同じ役とつきあい、くりかえし演ずることが初めてでした。たくさんのアドバイスをいただき、助けられ、痛み、演じるころができました。



汐見ゆかり

①81年生まれ、岡山県出身。6年前に上京し、雑誌、CMなどを中心にモデルとして活動開始。昨年より役者としての活動をはじめ、映画、ネットムービーなどに出演。  
②インドの女王ラズーヤ、デビル、天国の住人、モノを演じた。これだけ長く同じ役とつきあい、くりかえし演ずることが初めてでした。たくさんのアドバイスをいただき、助けられ、痛み、演じるころができました。



久松信美

①65年生まれ、長崎県出身。久松信美です。一部では太極拳マスターと呼ばれています?  
②いくつになっても人との出会いは楽しいものです。今回もいろんな人と出会えました。



根岸絵美

①81年生まれ、埼玉県出身。  
早稲田大学在学中に演劇を始め、その後フリーで数本を経験。現在は「ひょっこり乱舞」という劇団に所属。  
②同ジャンルと枠内に収められないスケールの大きな芝居でした。内容を把握するのも大変でした。女性陣がざくばらんで面白かったです。美人ぞろいだし。



鶴牧万里

①70年生まれ、栃木県出身。劇団品行方正児童会、TPプラネットを経て、現在reset-N所属。自ら立ち上げたユニット、「tokyo parfait」でも活動中。  
②久松さんの脱腸が完治するか、心配でした。「完治しないんだな」(久松 談)



土田祐太

①84年生まれ、新潟県出身。桜美林大学総合文化科学卒業。TPT「ここからの距離」、田上ノボル「師走破れかぶれ」に出演。次回予定◎タテコ企画「月の平均台」5/28~6/3◎駅前劇場。  
②驚愕の大部分。それぞれのアイデア、価値観がひしひしと伝わってくる。毎日産みの苦しみに悩まされるものでした。この経験を更なる飛躍につなげます。



演劇を讀もう!!  
気軽に読めるエンタテインメントな現代戯曲シリーズ

# ヨムゲキ100

超有名作からコアな作品まで続々刊行中の「ヨムゲキ100」。  
あなたのお気に入りが見つかります。

松尾スズキ、初期作品12冊発売中!

- 001●手塚治虫の生涯
- 002●マイアミにかかる月
- 003●嫌な子供
- 004●ゲームの達人
- 005●猿ヲ放ツ
- 006●溶解口ケンロール  
(神のようにだまして:併録)
- 007●冬の皮
- 008●SEX KINGDOM
- 009●鼻と小箱 (洞海湾:併録)
- 010●嘘は罪
- 011●ちょん切りたい
- 012●生きてるし死んでるし



宮藤官九郎、●●●●4冊発売中!

- 001●ナオミの夢
- 002●ずぶぬれの女
- 003●NICKY IS SEX HUNTER
- 004●ウーマンリブ発射!



劇団☆新感線の興奮をもう一度!

中島かずき戯曲集

- 003●ヒデマロV (完結編)
- 004●星の忍者
- 005●炎のハイバステップ
- 006●夢みる無法者
- 007●西遊記1
- 008●西遊記2
- 009●宇宙防衛軍ヒデマロ3



●●●● 好評発売中!! ●●●●

中島らも

- 001●X線の午後
- 002●セメントラヴァーズ
- 003●レディモルフェウス

西島明

- 001●御大切 ~夏は台所がなつかしい~
- 002●マはマルケスのマ
- 003●オトメチック ルネッサンス

石原美か子

- 001●うちに来ると本気ですか?

ブルースカイ

- 001●MY LITTLE MOLERS

村上大樹

- 001●DX寿姫

etc...

青年団の名作を戯曲で!

平田オリザ戯曲

- 002●カガクするココロ
- 003●北限の猿
- 004●バルカン動物園
- 005●冒険王



- 購入方法
- ◎主要大型書店
- 紀伊國屋書店新宿店・梅田店/リブロ池袋店/
- バルコブックセンター渋谷店/他
- ◎「楽天shop」演劇と映画の本屋さん
- http://www.rakuten.co.jp/enbu/
- 価格:すべて1,000円+消費税50円
- 問い合わせ: 演劇ぶっく編集部 (03-5281-9223)



# シバイのミカタ

毎日毎日どこかの劇場で上演されているたくさんのお芝居たち。  
全部観ることはもちろん不可能だけど、時間とお金の許す限り、  
面白い芝居をたくさん観たい! このコーナーでは、  
本誌編集部員&ライターが観た「面白かった!」芝居をご紹介します!

シバイのミカタでは読者の皆様からの投稿レポートを募集しております。面白い作品を観た感動を色んな人に伝えたいと思っている演劇好きのあなた、ご応募お待ちしております! 尚、投稿レポートを採用させて頂いた方には掲載誌を贈呈致します。

※投稿は、①公演名・劇団名、②レポートのタイトル、③レポート本文(300字以内)、④公演クレジット、⑤投稿者のお名前・住所・お電話番号をご記入の上、封書またはメールにて受け付けております。本誌掲載の際にはこちらからご連絡を差し上げます。掲載に関するお問い合わせは応じかねますのでご了承下さいませ。

▶▶ 応募先  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.3F  
演劇ぶっく編集部 シバイのミカタ投稿レポート係 E-mail: info@enbu.co.jp

## 『WILDe BEAUTY ～オスカー・ワイルド、或いは幸せの王子～』

### 賞賛と成功の陰にあったものは

19世紀後半、イギリスの文壇で「サロメ」や「ドリアン・グレイの肖像」などを書いたオスカー・ワイルド。時代の寵児ともてはやされながら、同性愛というスキャンダラスに足元を拘われ失墜した、その作家の生涯を描いたミュージカルである。副題になっている「幸せの王子」という童話は、銅像の王子が、持てるものすべてをツバメに運ばせて、貧者に与え続け、やがてツバメとともに命尽きる物語だが、劇中のオスカーも、自分に与えられた賞賛や愛を、自ら剥ぎ取るように生きて、落魄して死んでいく。そんな彼の魂の底に渦巻いていた迷い、不安、苦しみを、宝塚の鬼才荻田浩一は、浦井健治という優れた演技者を通してみごとに照らしてみた。(榎原)

DATA-----  
脚本・作詞・演出◇荻田浩一  
音楽◇齊藤恒芳 出演◇浦井健治 池田有希子 戸井勝海 宮川浩 森新吾 小野妃香里 良知真次 朝澄けい 上野真未  
3/12～23◎博品館劇場 他



撮影◇梅原沙

## 『葦ノ籠 ～アシノカゴ～』 黒色綺譚カナリア派

### 現実と妄想の境目

劇場に入ると、そこには「異世界」が現れていた。舞台設定は河原。ススキが生い茂った円形の舞台を川が囲い、四方に橋がかけられている。舞台下にはコロスのような役割を担う老婆たちが潜んでいる。天井からはいくつかの提灯が吊り下げられていて。各場のタイトルが垂れ幕に書かれ、円形劇場をぐるりと囲む。アングラチックな美術とは裏腹に、音楽は大音量のヘヴィメタル。それがなぜか妙にマッチしていてカッコいい。そこで描かれる物語は、妻と息子を失った男が、河原に住む男娼を妻と、老婆を息子だと思ひこみ、奇妙な似非家族を作り上げた末の悲劇。その物語は果たして現実の出来事だったのか、あるいは男の妄想だったのか。非日常的で濃密な空間のなか、儚い夢のような物語にただただ身を委ねた。(渡辺)

DATA-----  
作・演出◇大沢健 下総源太郎 升ノノミ 牛永里美 斎藤あき 山下恵 吉川博史 芝原弘 中里順子 眞藤ヒロシ 宮地大介 伊藤新 星耕介 湯田昌次 尾崎宇内 立元竜生 堀越涼 佐々木富貴子 堀川炎 渡邊とけい  
3/19～23◎青山円形劇場 次回予定◇黒色綺譚カナリア派「タイトル未定」10月◎ザムザ阿佐谷◇黒色綺譚カナリア派「タイトル未定」09年4月◎シアタートラム



撮影◇宮川舞子

## 現代口語ミュージカル 『御前会議』 青年団若手自主企画 vol.36

### 心地よい「歌わないミュージカル」

公演チラシには「歌わないミュージカル」とあり、演出家は「どうやって(歌わずに)音楽と芝居を融合させるのか。ひとつ、アイデアがある」と書いている。このテの文句は少なからず眉唾モノだと思っていたのですが……この『御前会議』はとても面白かった!! そこにあるのは、軽快なリズムと転がるセリフ。観ていて心が躍り、心地よいノリが場内を支配している。既存のミュージカルとは一味違うのですが、これはこれで十分カタルシスがあります。演出家のアイデアとは“セリフをラップ調に喋らせること”なのですが、アイデアのみに固執せず、全体を丁寧に作ったからこそ、このアイデアが活きたのかと。俳優達も含めて、全体力の勝利でした! (園田)

DATA-----  
作◇平田オリザ 潤色・演出◇柴幸男 出演◇宇田川千珠子 河村竜也 木引優子 工藤倫子 桜町元 畑中友仁 山本裕子 山田(五反田)  
4/7～14◎アトリエ春風舎 次回予定◇toi presents 3rd「あゆみ」(作・演出◇柴幸男)6/18～24 ◎こまばアゴラ劇場



撮影◇青木司

## 『ジャックとその主人』

### 先がわからなくても、“前”へ進む

下僕のジャックと貴族である主人があてどない旅をしながら、それぞれの過去の恋物語を語る。物語は中断や脱線が多く、いくつもの話が絡み合っていくのだが、恋愛にまつわる話はどれもよく似ている。恋愛の根本は昔からなにも変わらないのだ。戯曲はメタ・シアターの構造になっており、二人の回想部分は、後方に設置された簡易額縁舞台のなかで、カラフルな衣裳を纏って白塗りをした役者らによって再現される。自分たちが芝居の登場人物であることを承知しているジャックと主人は、「未来はすべて天(本)に書かれている」としながらも、自らの意思で“前”に進もうとする。人生はいろんなことがあるけど、とにかく続いていくのだから、先へ進むしかない。観ながら、そんなことを思った。(渡辺)

DATA-----  
作◇ミラン・クンデラ 翻訳◇近藤真理 演出◇串田和美 出演◇白井晃 内田有紀/宮島千栄 古川悦史 佐藤卓 近藤隼 細川貴司/内田紳一郎 田岡美也子 串田和美  
2/19～3/2◎吉祥寺シアター、3/6～9◎まつもと市民芸術館小ホール



撮影◇加藤孝

## 『なるべく派手な服を着る』 MONO

### 他人の家は“迷宮”なり

久里家は男ばかりの6人兄弟。上の4人は四つ子(でも、顔は全く似ていない)、ひとり飛ばして(影が薄く、すぐ忘れられてしまう五男)、末っ子(皆に可愛がられていた。養子)の計6人。近頃、老いた父親の容態が思わしくない為、久々に兄弟全員が実家へ集うこととなり……。迷路のような作りの久里家には不思議なことがいっぱい。「海外旅行禁止」「結婚は内縁の妻のみ認める」など、沢山の“家ルール”もそのひとつ。はじめは“ほがらか珍家族いらっしやい”的なホームドラマかと思いきや、久里家の謎が紐解かれる度、各々の関係が崩れ始め、負の感情が溢れ出る。クスリと笑えるユーモアを携えながら、日々つづり続けるヒトのココロを描いていた。(園田)

DATA-----  
作・演出・出演◇土田英生 出演◇水沼健 奥村泰彦 尾方直久 金替康博 亀井妙子(兵庫県立ビッコロ劇団) 本多力(ヨーロッパ企画) 松田帽子(ヨーロッパ企画) 山本麻貴(WANDERING PARTY)  
2/22～3/2◎HEP HALL、3/6～16◎下北沢ザ・ズナリ  
次回予定◇MONO第36回公演「タイトル未定」09年2～3月予定



撮影◇谷古宇正彦

## 『音響王子の実験劇場 vol.0「mute」』 Quantum Leap\*

### 史上初? 音響家主導のプロデュース。

華麗な音響テク&作曲で、観客から「音響王子」と呼ばれている音響家・児島豊が企画する舞台。顔なじみの劇団や役者に「一切台詞を使わない作品」というお題を出し、これに答えて集まったメンバーは40名以上! その内容も無言劇、バントマイム、演奏、工作、黙読、J・ケージ「4分33秒」の演劇版(要は全役者が4分33秒間舞台上で静止)など、実にバラエティ豊か。またそれぞれが提示する小品に対し、舞台上に設置した音響ブースから、この上なく効果的な音や音楽を入れていく王子が実にカッコイイこと! 最後はなんと、メイド姿まで披露(笑)。この先音響スタッフがこれほど前面に出てくる舞台があるだろうか、いろんな意味で貴重なものを観た思いでした。(吉永)

DATA-----  
構成・総合演出・音楽◇児島豊(Quantum Leap\*) 出演◇劇団赤鬼 Sunday 売込隊ビーム ビースピット TAKE IT EASY! 娯楽園プロデュース ミジンコターボ 石原正一(石原正一ショー) 山浦徹(化石オートバイ) 坂口修一 真心(Giant Grammy) 木内義一 若旦那家康 南勇樹(芝居処味一番) 西村朋恵 いいむるなおき  
3/7～9◎神戸アートビレッジセンター3Fホール  
http://shakty.exblog.jp/



撮影◇堀川高志



# 高橋洋

## 自意識のドアを喜劇が開く

蜷川幸雄の舞台からスタートして今年で満10年。純粹培養という言葉がぴったりするようなニナガワ演劇には欠かせない役者であり、どこか屈折していたり陰のある若者という役どころでは、他の追隨を許さない魅力を見せていた。その高橋洋のイメージが、いま、変化している。奥深くねじれた「悪」から、道化の突き抜けた「笑い」まで、自分のフィールドに取り込んで、大人の俳優として立ち上がるその顔。また新しい展開への期待もこめて、高橋洋という俳優に正面から迫ってみた。

演劇のことを何も知らないまま劇研へ

——初めて演劇に出会ったのは？  
大学に入學してすぐ、ふらっと劇研に入ってしまったんです。ちょうど入學して、まだ授業がない、2週間くらいあるオリエンテーションとかのあいだで、新入生勧誘の時期だったんですが、フラフラと迷い込んでいったところが、たまたま劇団のある場所です。

——それまでになんとなく芝居への興味があったとか？  
全然。学校の授業の時間で狂言とか観に行きましたけど、ほとんど印象に残ってないし、高校の頃とかクラスで劇とかするじゃないですか、ああいうのはイヤで出たくなかったし。そういうとき演劇部の子とかが張り切って、ガッツとなりきって演技してるのを見てるのも恥ずかしかったし。演劇って気持ち悪いと思ってたほうですから。それなのになぜかそのときは、フラフラと大隈講堂の裏のほうに入っていくって、なんか怪しげな建物とか看板があつて、そこでそういうのを見てるうちに「もしかしたら自分が思ってるより面白い世界かもしれない」と感じて、フツと入っちゃったんですよ。ちょっとやってみようかなという感じで。

——小さいころは、何が好きだったんですか？  
野球が好きで、野球やってました。——そこでスタートだったとか、クラスの人気者でアイドル指向だったとかいうことは？  
いや、まったく普通の目立たない子で、逆に人前に出るのはいやなほうでした。大阪って前に前に出る人が多いけど、僕はそういうタイプではなかった

し。だから、小さいころの環境がストックになって、今の仕事とかに結びついてるなんてことはないと思います。むしろ人前に出ることをイヤがってた自分を変えてみたい、今までの自分ではない新しいところに行きたい、そういう気持ちがあったんでしょうね。当時は、別にそのことに自覚的でなかったと思うんですけど。

——とにかく衝動的だったんですね？  
そうですね。汚いアトリエみたいなところにお兄さんが1人いたので「入会したいんですけど」と言ったら、普通に「はい、すぐ入れますから。じゃ、名前書いて」って言われて、それで書くときに「授業には出られないですよ」って言われたんですけど、あまり意味がよくわからないままに「はい」とか答えて（笑）。入ってからわかったんですけど、確かに皆さん授業には出ないで芝居ばかりしてる人たちでした（笑）。

——90年頃の早稲田の劇研（※1）は、すでに鴻上尚史さんの「第三舞台」とか、安田雅弘さんの「山の手事情社」とかを中心に、すごい才能と人気者がいっぱいいたが。  
「第三舞台」も鴻上尚史さんも全然知らなかったんです。みんながそういうことを話してるのを聞いて存在を初めて知ったし、ここがそういう人たちを出しているサークルなんだということも、初めてわかったんです。

——1年で芝居をやめて卒業をめざしたわけは？  
——劇研に入ってみてどうでしたか。初めて経験することばかりだから、けっこう楽しかったんですよ。走ったり、

ストレッチしたり、ワーツと声出せと言われたり、泣けとか言われたり、アハとか笑ったり。いま考えるとあまり役に立たないようなことなんですけど、その頃は「やったことねー面白い」って感じだったし、人前に出るのは好きじゃなかったのに、それまで自分が面白いと思った感覚にはない面白さだったから、ちょっと続けてみようというのはありませんね。でも、そういう俳優にならいたとか、どういう芝居に出たいとか、どの劇団が好きとかは全然なくて、新しい体験に惹かれたという感じでした。

——そのころの劇研同期は？  
今も演劇関係にいますのは堺雅人くらいかな。やっぱり授業に出られないとやめていったりするので、半年後には全部で10人くらいになっていったと思います。それで半年経つと劇研の劇団に入るんですが、当時は「双数姉妹」と「東京オレンジ」の2つしかなくて、「東京オレンジ」（※2）は、上級生の横山仁一さんがこれから立ち上げるというので「じゃ、そっちにしようかな、新しいほうがいいし」という感じで。

——わりと簡単な動機なんですね。  
そうですね。思想がないんです（笑）。——「東京オレンジ」にはどのくらい？  
1年のあいだに公演を3本くらいやって、大学2年の途中でやめたんです。劇研も退会しました。ちゃんと大学へ行こうと思ったんです。2年の間に単位を16くらいしか取ってなくて、全部で100以上取らなくてはいいのに。それから3年間は、ちゃんと大学に行って授業を受けたんですよ。——きちんと卒業したかった？

卒業する意味はあまり考えてなかったというか、劇研をやめたのは「俳優をちゃんとやりたい」と思ったからなんです。それも学生演劇みたいなものではなくて、役を演じる」というようなことがやりたいなど。それにはどうすればいいかなと思って、まず大学を卒業しよう。卒業までのあいだに「俳優をやりたい」という自分の思いが本物かどうか試そうと思ったんです。単位は残り3年間を一生懸命がんばればなんとかなるというので、そこからは全然芝居とは関わらない学生生活を送りました。

——卒業資格も役に立ちますからね。  
そういう意識もなかったんです。卒業というブランドがほしいわけではなかったし、就職活動もする気はなかったんです。与えられた環境のなかでやることをやって、そのうえで、まだ芝居がやりたかったら本物だろうと。

——その後、劇研の人たちとは？  
いや、やめたあととは全然。やっぱり途中で投げ出したわけですから、一生懸命やってる人たちとは関われないですよ。——それで卒業した時点で、俳優をと決心したわけですね？  
とはいっても、実際はどこに行けばいいのか途方にくれちゃうわけですが（笑）。——でも、ちゃんとナガワスタジオ（※3）に入れたんですね？  
春になるとよくオーディション雑誌とかありますよね。ああいうのを見ていたんです。自分の条件、年齢とか、お金がないから授業料を取らないところとか、キャリアを問わないところとか

90年頃の早稲田の劇研（※1）  
早稲田大学演劇研究会、略して早大劇研。大隈講堂裏を拠点に活動する早稲田大学公認の演劇サークル。その成立は戦前にまでさかのぼり、早稲田では最も歴史ある演劇サークルで、多くの映画・演劇人を生みだしている。「アンサンブル制度」でサークル内に劇団を創設。そこから劇場ブームを牽引する人気劇団を輩出した。90年頃はすでに「第二舞台」や「山の手事情社」はプロの劇団になり、加藤昌幸が主宰する「Pick Wick」が91年に学外に出て以後は、小池竹見が主宰する「双数姉妹」が作品を発表していた。

「東京オレンジ」（※2）  
作・演出家の横山仁一が中心となり旗揚げした劇団。92年9月に第1回公演「マクロープ」（作・演出／嶋雅之）を大隈講堂裏特設テントで上演。高橋洋は、第2回公演「ワミカドワミル」（93年5月、第3回公演「楽しい週末」93年12月）まで在団。主演男役の堺雅人は大学演劇のスターとして人気が高かった。「東京オレンジ」は現在も活動中で、7月には下北沢駅前劇場で公演がある。

ニナガワスタジオ（※3）  
蜷川幸雄が主宰する若手俳優の養成カンパニー。84年に「ニサン」レイトの最上階を事務所兼稽古場として借り受け、GEORISH ANINAGAWA STUDIOがスタート。第1回公演は「稽古場」という名の劇場で上演される三人姉妹。その後、サングレ・ニナガワカバ、サングレ・ニナガワカバ、ニナガワカンバー・タッシュ、ニナガワスタジオと名前を変えながら、発表会と公演活動をしてきた。スタジオ出身者は、松重豊、勝村政信、大石健太などの俳優、演出家の鈴木裕美、スタッフでは原田保、井上弘、中越司、井上尊典、明石伸二など。





を考えて、なるべく真面目そうなところを選んで受けて、その中にたまたまニナガワ・スタジオがあつて、授業料もないし試験も演技だけでいいというので、受けたんです。そしたら通っちゃつて。

—— 蜷川幸雄という演出家は知っていましたか。

名前は知ってましたが、舞台は観たことがなかったんです。俳優として生きていくきっかけがほしかったというか、自分がやりたいことがすぐ実現すると

たぶん100人以上で10人ちょっとが受かったと思います。

—— スタジオはどんなシステムになっているんですか？

一般的な研究所とか養成所とは違って、何年いてもいいし、授業を受けるということもなくて、稽古場があるから、自分たちでその稽古場を使って勉強しなさいという、いわばほつたらかし状態です(笑)。自分たちで勝手にテキストを探してきて、作品に仕上げて、本数がたったら演出家に見てもらうというやりかたで、レッスンは一切なかったです。そのかわり蜷川さんの演出は見学していいし、そこから勝手に学びなさいという感じで。行ってるだけではなんの道も開けないんですけど、演出家にもし何かをアピールできたら、彼の仕事の枠に入れてもらえるチャンスがある。そのことは入ってからわかったんですが。僕はちょうど1年後にチャンスをもらったんですが、それがさいたま芸術劇場の蜷川シェイクスピア・シリーズ(※4)の第1弾で、『ロミオとジュリエット』(98年)だったんです。きっかけになったのはオーディションですか？

いや、自分たちが勝手に勉強して勝手に発表していたスタジオ公演です。集団内だけの発表会なんですけど、蜷川さんもそれは観にくるので。

—— テキストは、どんなものを上演していたのですか？

僕がやったなかで面白かったのは、ウィリアム・サローヤンの『おい、救けてくれ!』(※5)という作品かな。若者が犯罪者になって捕まって、その刑務所で鍵を預かっている女の子をだま

は思っていなかったんで、どんなに回り道をしてもいいから、まず入り口を見つけたいと思つて。きっかけを与えてくれる環境が必要だったんです。

## ニナガワ・スタジオから 蜷川演劇へのチャンス

—— あの頃のニナガワスタジオは、すごく活動が盛んだうたと思うんですが、受験生は何人くらい？

して出ようとするんだけど、女の子の純粹な心にふれて考えが変わるんですけども結局は殺されてしまうという。

—— そういう発表会で認められて、『ロミオとジュリエット』では、確かバルザードという、いちおうセリフがある役をもらったんですね。

バルザードは、最初からもらった役ではなくて、最初はいわゆる若者の1人みたいな役で出ることになってたんです。蜷川さんは稽古のなかで、「ここ誰かセリフ覚えてるヤツいるか、やってみる」みたいな感じで、いつも若い役者たちを競わせて、よかった役者には、本番直前に「お前でいくぞ」みたいな感じで役をつけてくれるんです。たいていセリフはほんの2言、3言だったり、観てる人には覚えてもらえないような役なんですけど、でも僕らにしてみれば嬉しいし、みんながやりたいと思ってるから競争して勝ち取るんです。そのときのバルザードは、僕1人ではなくて3人で、日替わりみたいな形で出演しました。だから3日に1回、「ジュリエットは死んでしまいました」というセリフをしゃべって、他の日は若者役で。でも自分で獲得した役ですからすごく愛着が湧きますし、他の2人は僕より先輩だったけど、絶対俺のほうがいいと思つたし(笑)。それはたぶん3人とも思つてたと思います。いま振り返って客観的に見ると、ドヘタだったなと思いますけど。何を言ってるかわからなかったんじゃないかな(笑)。

—— いきなりシェイクスピアからスタートでどうでした？

シェイクスピアは、それまで全然やったこともないし、本を読んでもよく意味がわからないし、「おお神よ」みたいな

セリフもあつて、なかなかキツイなと思いましたが(笑)。

—— 「東京オレンジ」の世界とは対極ですからね。でも最初にめざした「役を演じたい」という目的には近づいたのでは？

そうですね。役を徹底的に演じることで、それを体験できたし、翻訳劇であれ日本の作品であれ、演出家が俳優に求めていることが自分のやりたかったことと同じだったし、役を作ることの厳しさみたいなものも改めて感じて、ここに入つてよかったなと思いました。

## 灰皿ではなくパイプ椅子が 飛びそうになった

—— 蜷川さんの演出はやはり恐かったですか？

僕は罵倒されまくってました。主役級のかたたちには、蜷川さんはいろいろな距離の取り方をしますけど、僕らはスタジオの人間ですからボロカスに言われてました。今でもそうです(笑)。ただ、タバコはもうやめていたせいか灰皿は飛んでこなかったです(笑)。椅子は飛んできたというか、パイプ椅子を投げようとするのを見て、マジでびっくりしました(笑)。

—— スタジオ公演の「1998 待」とか「血の婚礼」(※6)で役をもらったり、大きな劇場の蜷川作品でも、だんだんいい役がついて、たぶん高橋さんは演技力があつたんでしょうね。

演技力はなかったと思います。というか、本当に演技力が必要とする役のときには、すごく苦しみましたから。蜷川さんも、演技の上手い下手で役をつける人ではなくて、とくに自分のスタジオで作る公演には、演技力みたいなことに基準をおいてないような気が

します。それよりも人としてなんか曲がつた人が好きだとか、自分と同じで屈折した人間が好きだとかで決めてたんじゃないかな。僕の、集団の中で他人どうまくバランスの取れないような、ちゃんと立ってられないような、そういう資質みたいなところと役をうまく合わせて、使ってくれていたんだと思います。『かもめ』(※7)のトレイプレンなんかは、きつと僕のなかに何かを見てくれていたのかなど。演技に関しては全然技術がないですから、現場で手取り足取り鍛えてもらいました。

—— 蜷川さんが指導してくれるんですか？ 自分でどんな考えてやるのではなく？

できる人はその人が自分で発見して作っていくので、蜷川さんも黙って見てますけど、できない人にはすごく細かく「手が違う、目が違う、言い方が違う」と、逐一言われます。僕はすごく言われるほうです。

—— それからずっと蜷川さんの舞台ばかりですね？

ずっと蜷川作品だけです。たぶん『ロミオと』からちょうど10年になるので、これを機会に、そろそろ他の演出家のものにも出てみたいという気持ちにはなっているんです。

—— 出演作品も古典が多いですね。シェイクスピアとかチェーホフとか、そういうものへのマンネリ感を感じたりはしませんか？

シェイクスピアとかチェーホフが古典で、他のものがそうでないという分け方は、ちょっと違うと思うんですけど、大きな意味での「似たようなフィールド」で、大きな意味での同じスタッフで同じ俳優たちでということであれば、自分の限界というのはあると思います。そ

さいたま芸術劇場 蜷川シェイクスピアシリーズ(※4)

この劇場の芸術監督である蜷川幸雄の監督で、シェイクスピア全37作の上演を目的に始められた「彩の国シェイクスピアシリーズ」。98年1月ロミオとジュリエット(大沢たかお・佐藤藍子主演)で始まり、最近作はリア王。次作の「から騒ぎ」で20作目を迎える。

ウィリアム・サローヤンの「おい、救けてくれ!」(※5)

ウィリアム・サローヤン(1908年11月8日～)作家・劇作家。アルゼンチン系移民の子としてアメリカに生まれる。1933年に『中ラン』に集った『無敵な青年』『アビー』『わが名はアラム』『人間喜劇』『ママアイラブ』『パニアクレジー』などユエータとベリスに溢れた作品を書いた。「おい、救けてくれ!」は戯曲。

「1998 待」とか「血の婚礼」(※6)

「待」シリーズは1991年から始まり毎年のように上演されてきたエチュード演劇。「1998 待」で、高橋洋はボクサーの役と「罪と罰」をモチーフにした場面のラスコリニコフを演じた。1999年の「血の婚礼」は1986年のNINGAWA少年少女鼓笛隊による「3の婚礼」と同じ発想で作られた群像劇。高橋洋は都会で孤独に生きるトランシーバー少年役。

「かもめ」のトレイプレン(※7)

99年上演。チェーホフの名作戯曲。トレイプレンは原田美枝子演じる大女優アルカジナの息子で、感じやすい芸術家の魂を持ち、若い女優「大の恋に苦しみ、文化村のユーク」稽古場にセツトを作った画期的な演出だ。



それは他人がどう思うかではなくて、自分で感じることもなんです。だから、違うフィールドでもやってみたいとは思いますが。でもシェイクスピアやチェーホフが多くて飽きたということはないです。

コントロールしながら  
なおかつ没頭する

――役者がキャリアを積んでいくと、自分の技術を意識的に使えるようになる段階があつて、それは高橋さんもどこかで経験したにちがいないと思うんですが。

それはたぶん、客観的になるということだと思ふんですが、没頭するって高校生でもできますよね。でもそれは観てる側にとつてちょっとツライ状態だったりする。ある程度コントロールしながらなおかつ没頭してるのと同じような状態を作り出しお客さんに見せる、というのなら、それを自覚したのは、ここ2、3年だと思ひます。それまで



高橋洋

たかはし洋 1972年生まれ、大阪府出身。92年早稲田大学入学とともに演劇研究会に所属し、東京オレンジ旗揚げに参加。97年ニナガワ・カンパニー・ダッシュ(現ニナガワ・スタジオ)の研究生になり、98年「ロミオとジュリエット」でデビュー。スタジオ公演の「1998・待つ」「血の婚嫁」などでも注目され、99年「近代能楽集〜卒塔婆小町」(00年、05年に再演)では詩人という大役を演じる。また99年「かもめ」や00年「三人姉妹」などのチュー・ホフ作品でも大きな役を演じる。01年には「真情あふる経濱さ」の青年役、「マクベス」ではマルカム役。以降のシェイクスピア劇では、03年「ハムレット」ホレシオ、04年「タイタス・アンドロニカス」カイロン、「お気に召すまま」ジェイクズ(07年再演)、「ロミオとジュリエット」マキューシオ、06年「間違ひの喜劇」ドローミオ兄と弟、06年「恋の骨折り損」ピローン、07年「オセロ」イアゴ、08年「リア王」エドガー。シェイクスピア以外では、03年「桜の園」トロフィーモフ、04年「オイディプス王」コロス、05年「幻に心もそぞろ狂おしのわれら将門」五郎、「KICHEN」ホール、「天保十二年のシェイクスピア」左吉、06年「白夜の女騎士」ライト弟(巨人2)、「あわれ彼女は娼婦」バーゲット、「タンゴ・冬の終わりに」清村重雄など。テレビドラマは07年12月「SP」(CX)に出演。

次回予定◇Bunkamura『道元の冒険』7/7〜28◇Bunkamuraシアターコクーン

りました。すごく面白かったです。

「それって引くよなー」と  
思ふこともやる面白さ

――これまでの出演作のなかで、転機とかエポックメイキングになったものはありますか？

結局、さっきの話と重なるんですけど、『間違ひの喜劇』(06年)(※9)の道化をやったとき、僕はその役を絶対に失敗するだろうなど、120%失敗するだろうなど思ってたんです。大きい役だったし、これでコケて役者としてもダメになるだろうなど、そのくらい恐怖心を持ってやっただけです。同時にその頃、みんなが「高橋洋という役者」に持っているイメージはこうなんだろうなというのを感じて、どうすればいい意味で裏切っていけるのかなとも思ってた。それが『間違ひの喜劇』をやったことで、俺ってこういう性質もあるんだとか、こういう面も見せちゃっていいんだ、という感じになったんです。自分で無意識にフタしてる自分らしくないところを、見せてもいいんだという気持ちになったというか。

――自分を晒すことを恐らなくなった？

たぶん人間って、自分を晒す場合でも自分にとつて恥ずかしいものしか晒さないじゃないですか。もちろん俳優は、こういう役だと言われたら、それが自分の自意識に引っかかる引っかかりに関わらず、晒さないといけないんです。その自意識のふりかたが、とくにコメディをやったときに、おどけるとか、ふざけるとか、「それって引くよなー」と思ふことをたくさんやらなきゃならなくなつて、でもやってみたら

逆に自分がラクになつて、「これアリだわ」って思えた。それはすごく大きかったですね。

――笑つてもらうって愛されないとできませんからね。

そういうことが恥ずかしかったんですよ。そもそもお客さんに向かって演技するのが恥ずかしかったんですから(笑)。僕を見てとか、僕を愛してっていうのが苦手なほうだったから。それをやらなきゃならなくなつて、なにか1つ開いたなど。演劇って本来は明るいところで、ささげるものがない状態で集まつてきた人の中でやってみせるものですからね。でも今までの僕の感性では、こっちでやってるんで勝手に見てく

ださい、入つてこないでください、みたいな感じで(笑)、観客に向かってやる俳優さんとか苦手だったんですよ。それを自分がムリやりやらされて、「そうかシェイクスピアのこのセリフって、お客さんに向かって言つてたんだよな」ということもわかつて、そうするとそういうセリフも言えるし。自意識をガードして

はたぶん無意識でやつてました。

――それは具体的なきっかけが？

喜劇的な役をもらうようになってからですね。それまではシリアスな役が多くて、そういう場合、役に向かって真っ直ぐに入つて、入り込めば入り込むほどいいというやりかたでしたが、コミカルな役ではそれは通用しないんです。コミカルな役は、ある程度自分から役を離して、演じてる自分を上から操つてる部分がないといけない。どこか乾いた視点がないと面白さが出ない。3年前にそういう役をもらったときに「あ、俺にはない、今までの俺じゃ足りない」って思つたんです。一生懸命やればやるほど面白くなくなるから、どうやれば役に対して乾けるのかというのを学ぼうと思つたし、初めて「技術がないといけないんだ」という感覚になりました。それまでは気持ちが入つていればいい、気持ち伝わればいい、と思つていたから。でもそれだけじゃ足

りないんだ、自分に対して客観的にならないと次に行けないと思つて。そのことは大きかったですね。声の出し方1つでも、自分でこう出したいというよりも、こう聞かせるという出し方を意識したし、お客さんから見た自分というものを意識しはじめました。

――喜劇をやるようになって、逆に変化したものもあるでしょうね。「オセロ」(07年のイアゴ)(※8)など、とても人間的なのに悪の魅力もありました。

面白さが違つてきたと思います。客観的に見る視点ができる、シリアスなことをやっても、凝縮ばかりしてつく作り方ではなく、役に距離をおいてコントロールできるからさらにシリアスになっていく。とくにイアゴというのは、二面性を見せなくてはいけない、劇中でも自分をコントロールするから、そこに通じる面白さがあつたし、細かく感情を切り換える演技とか、喜劇を経験したことでもやれた部分もたくさんあ

り開けてくれるようなところで仕事してみたいですね。

――そこで、まずは『道元の冒険』(※10)ですが、井上ひさしさんの作品は？

『天保十二年のシェイクスピア』(※11)で左吉をやってます。桶を叩きながら出てきて、「ロミオとジュリエット」をモチーフにした場面、最後は死んでいくという。

――出番は少なかつたけど切なさもあつていい役でしたね。井上ひさしさんの本にはどんな感想を持ちましたか？

シェイクスピアは読んで笑えないというか、笑わそうとしてるところは100個所くらいあるのに、笑えるところは1個所もないんです(笑)。井上さんののは読んで思わず笑つてたりするんですよ。でも戯曲って、俳優の肉体を通して初めて完成されるところがあるのに、読んでただでおかしいというのは、俳優にとってはプレッシャーですよ。

――この作品でどんなことを期待してますか？僕もそうなんですが、それぞれがあ

# acteur

【アクチュール】No.10



## 表紙巻頭インタビュー 東山紀之

藤原竜也と「身毒丸」の10年／内野聖陽×島田歌穂×笹本玲奈／村上淳／小栗旬／長塚圭史×戸田恵子／井上芳雄／三宅健 A4判変型／ムック／定価980円(税込)

## あの娘ぼくが こんなシネマ撮ったら どんな顔するだろう

河原雅彦＝著 中村まこと＝イラスト



才人・河原雅彦の小説が遂に単行本化！斬新なキャスティングで人気漫画の映画化を試みるも、ことごとく製作中止の憂き目にあう架空の映画製作会社を舞台にした“机上の空論キャスティング小説”。四六判／280頁／定価1470円(税込)

## 長塚圭史対談集 COFFEE SHOP2



長塚圭史がコーヒー店店主となって、ゲストを迎えるトーク集第2弾。登場ゲスト：岸部一徳／武田真治／塚本晋也／小日向文世／八嶋智人／松田龍平／加瀬亮／竹中直人／風間杜夫／山本浩司×山下敦弘 A5判／172頁／定価1890円(税込)

## FRANCE 172 ATSURO WATABE

渡部篤郎＝著 芝田満之＝撮影 A4判変型／オールカラー224頁／定価3675円(税込)

## 華麗なる ミュージカル・ガイド

A4判変型／オールカラー130頁／定価2100円(税込)

## 小栗旬 First Stage

A5判／144頁／定価1890円(税込)

キネマ旬報社  
東京都港区赤坂4-9-17 TEL 03-6439-6462  
http://www.kinejun.com



『天保十二年のシェイクスピア』(※11) 05年に上演、井上ひさしが74年に書いた人気戯曲を越川幸雄が演出した。シェイクスピア全37作の「ソフ」を盛り込んだ、天保12年の下総を舞台に描く任侠音楽劇。無宿の渡世人、佐渡の三世次、リチャード三世に唐沢寿明、そのほか藤原竜也、篠原涼子など豪華メンバーが出演。高橋洋の左目、花魁の浮舟、太夫と愛し合うが、誤解がもとでともに命を落とす。「ロミオとジュリエット」のアドヴァンション。

『間違ひの喜劇』(06年)(※9) シェイクスピアの初期の喜劇で、双子の主治が離ればなれな2人、別れと再会するまで、取り違え劇の面白さが楽しめる。主人のアドヴァンス兄弟を小栗旬が、従者のドローミオ兄弟を高橋洋が演じた。ロミオはの芝居のなかで知的な笑いを取る道化役。

『道元の冒険』(※10) 宗教家の苦悩と傲慢を、ブラックに陽性に歌いあげる井上ひさし作の音楽劇。71年にアトール・エーで初演され、72年に岸田國士戯曲賞と芸術選奨新人賞を受賞した。

演出：越川幸雄 出演：阿部寛、栗山千明、北村有起哉、横山めぐみ、高橋洋、大石継太、片岡サチ、池谷のぶえ、押保菜、木場勝己 他 7月7日・18日 Bunkamura シアターフライン(問い合わせ03-3471-7324 bunkamuraオンラインサイトhttp://bunkamura.co.jp 8月3日・10日 シアターBRAVA! キーボード大阪オフィシャルサイトhttp://kyodo-osaka.co.jp



ずいぶん昔のコトで、あれなんです、OMSの敷地内のゴミ置き場には色んなモノが捨ててありました。小道具の材料として使えるモノが結構あったりするのでよくあさっておりました、私。(なので未だに粗大ゴミの前で立ち止まる自分がおります)のぼりの棒も捨ててありました。拾ったのぼりの棒は「槍」に生まれ変わりました。

#### そんな感じで「ナガモノと私」

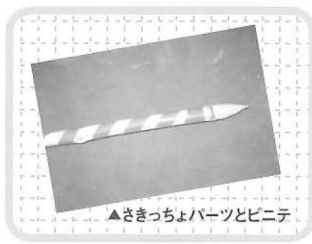
「槍」や「なぎなた」等1800mmぐらいの武器をとりあえず「ナガモノ」と私は呼んでます。デザインが特殊なモノには通称と言いますか、名前をつけます。ちなみに『阿修羅城の鐘・2003』の横山さんと藤家さん使用のナガモノの名前は「阪神・ハンシン」。阪神タイガースのマークに似てたから。「七芒星」で右近くん使用の武器は「ガラガラ」もしくは「バトン」。赤ちゃんの玩具風でバトン風だったので。

ま、それはさておき、ココは私のつたない文章ののけるコーナーではなくHow toモノのコーナーなので本日は作ります。久々で申し訳御座居ません。

では、「中華風なぎなた」の作り方、ざっくりとはありますが、いきますかい。

昔は、のぼりの棒やアルミパイプ、を使っておりましたが、どうしても曲がってしまいます。木の棒も使いましたが、強度を考えるとどうしても太いモノになってしまいます。細いと折れるし。で、そこで登場したのが、**丸竹**でございます。2Mもので太さは七分(ななぶ)のモノがよろしいかと。なるべく、まっすぐで割れてないものを選びましょう。ちなみに某竹材店にて購入しております。

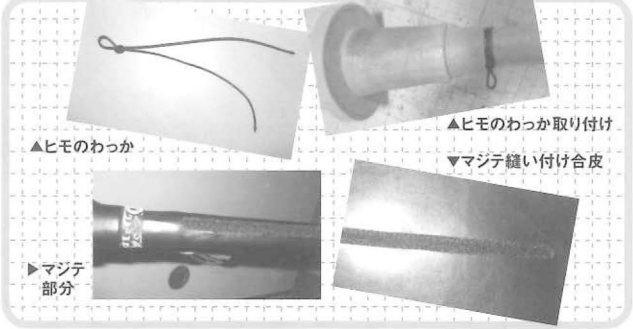
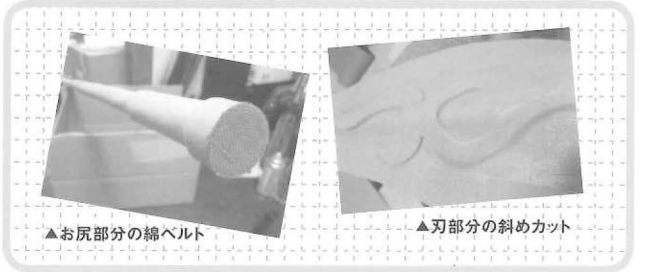
で、まずは竹にビニールテープを巻きましょう。割れ止めとして巻くのですが効果があるのかどうかは、よく解りません。何故巻く様になったのかも今となっては解りません。ま、私的にはおまじないみたいなモノかなと。ちなみに遮断機に似てます、どうでも良い話ですが。さらに、どうでも良い、ちなみに話ですが20本以上一気にまくと翌日**筋肉痛**になります。私の場合、翌日に来るだけ、まだましかなと。翌日に筋肉痛の来ない日がいつ



やって来るのか、40歳男(しじゅうおとこ)としては恐怖でもあり楽しみでもあります。ま、どうでも良い話はおいといてですね、続けましょう。刃の部分になる方の竹の直径に合わせてサンベルカで40mmぐらいの長さの円錐、名付けて「さきつちよパーツ」を取り付けましょう。刃部分が滑らかな仕上がりになります。

続きまして、竹に3mmのサンベルカをはろう。勿論、Gボンドで。竹の直径によって4mmサンベ\*を使うコトも有ります。サンベをはったら竹の節部分がどうしても、盛り上がるので、カッターで削り、ライター等で滑らかに。**火傷、火事に注意です**。竹のお尻部分には7mmサンベ+20mm幅の綿ベルトをはります。綿ベルトをはることによって強度が全然変わりますぜ。ナガモノを舞台上にドンと付いても大丈夫。綿ベルトではなく厚手のシーティングも可です。

そして、刃部分は4mmサンベで歪まない様にサンドしてください。集中です。刃部分は切れるという設定なので斜めカットしましょう。良く切れるカッターで一気に行くのがコツといえバコツでしょかね。



で、**どんどん、原型をつくって行こう**。刃部分の飾りパーツは角を斜めカットしたのちライター等で、やはり火傷、火事に注意しながら滑らかにしよう。合皮のはりこみも楽だし、仕上がりも美です。で1.5mmぐらいの丈夫なヒモで内径7～8mmの「わっか」を作り、それを取り付けます。飾りの、布やふさ等を取り付けるためです。

で、**はりこみです**。今回は棒部分に10mm幅のマジックテープ(やわらかい方)を縫い付けた合皮をはります。ナガモノの背中部分にマジックテープがあれば、いつでも、決まった、刃の向きで扱えますぜ。

#### 【はりこみの注意点】

合皮によってはボンドをかなり吸込むモノもあるの**で「ボンド2度ぬり」**が必要になる場合もあります。武器系はだいたい2度ぬりが多いです、私の場合。1度ぬりか、2度ぬりかの見極めはですね、経験をつんでは、おのずと解ってきます、たぶん。刃部分なんかの、はりあわせて、はりこんだ合皮のカットは**1～2mm残**してカットして下さい。ぎりぎりでカットすると、合皮がはがれてくる原因になります。



はりこめましたら必要に応じてタッチ、汚し等入れて下さい。てな感じで、ざっくりとはありますが、こんな感じで出来上がりです。ちなみに作って、すぐ、稽古でデビューさせるよりも**1～2日寝かしてから使う**方が良いでしょう。なぜならば、ボンドがキチンと乾いて強度が増すからです。

#### 「ナガモノ話」

ナガモノの長さなんです、私の場合、成人男子が使う場合1850mm前後です。勿論、使う人の身長や使い勝手によって変わってはきますが。そして、ナガモノは長いので、ある程度作るスペースが必要になります。しかも、本数が10本以上になると、さぁ大変。25本以上だと殺意をいだきます。知らないうちに作りながら人を刺したり、どついてもしたりします。人間、狭すぎるのと泣きそうになります。泣いててもしかたがないので、ここは前向きに。**とりあえず、笑うところから始めましょう**。ナガモノだけでなく他の作り物も、勿論あると思うので、効率の良い環境や作り出す時期、作り方の順番なんか考えながら、色々工夫してみてください。あと、大きいモノや大量生産する場合、お部屋の換気はこまめにしませう。と、いうわけで、貴方の素敵なナガモノライフを祈っております。

\*サンベ＝サンベルカの略称

では次回「お仕事と私」でお会いいたしましょう。たぶん。

## | 本日の Patchy と私 |

かたづけをしておりましたら、あら、懐かしいモノが出て来たじゃありませんか。大昔に作りました、ガーゼシャツが。『世界に一つだけインディ手作りインキガーゼシャツ・洗濯済み』を1名様にプレゼント。言い方を換えれば、洗濯はしてある「変な古着」プレゼントです。誰も、欲しくないと思うけどプレゼントです。

●Patchy商品取扱店●  
PUTUMAYO ラフォーレ原宿BF1.5  
PUTUMAYO 原宿路店  
VISIBLE 大阪市中央区西心斎橋2-8-33 アメ村スクエア2F

### 【NEWS!】

『特搜! エンブスクープ・関西版』では、皆さまからの依頼をお待ちしてます。「あの公演が見れなかったのレポートして欲しい」というものから「役者の\*\*さんの素顔が知りたい!」「▲▲劇場の近所にある〇〇という店が気になるので調べて下さい!」というもので、ミーハーなネタ、くだらないネタでもOKです。ただし、関西地方限定! 巻末ハガキにて『エンブスクープ係』まで。

3月25日(午後8時30分)『火曜日のシュウイチ』100ステージ目は、立錐の余地もないほどの満席でした。なんと会場であるIndependent theatre 1stの動員記録を塗り替えたそうです! 冒頭の月代わり1人芝居は、岸田戯曲賞作家 鈴江俊郎の作品。いじめで自殺した小学生が、大人の姿になって元いじめっ子の家に現れる。際どい題材を、ギリギリでエンターテインメントに

した手腕が見事。そしてゲストトークのコーナー「シュウイチの輪では」と坂口が所属した「TINYTRUTH」の元劇団員が全員集合! 当時を知る人にとつて、大変嬉しいハプニングでした。続く大河連載短編芝居「ミッド・ナイト・エクスプレス」は、阪急電鉄を愛する主人公、田々南徹がついに月面に阪急電車を走らせることに! この荒唐無稽なサクセスストーリーに、実

にふさわしい幕締めでした。後年まで伝説として語られるであろう偉業を達成した男に対し、最後は小劇場では異例の客席総立ち状態に。そんな光景を前にしても「男は涙を見せぬものです!」と、最後まで明るい笑顔で応えていた坂口。本当に心から、100ステージ達成おめでとう! & 1年間お疲れ様でした!

## 坂口修一が選ぶ 思い出のステージベスト5

※第1回と第100回は確実に思い出深いだろうので、それ以外で選んでもらいました

**第5位 第29回**  
(7/17マチネ)  
芝居中に会場のブレーカーが落ちて、不自然に長い暗転をしゃべりで何とかつなぎました。劇場プロデュースのロングラン公演期間中だったので、その作品のセットの中で演じたのも新鮮な体験でしたね。



**第4位 第35回**  
(8/7マチネ)  
声が出なくなり、場当たりはゲスト作家の森澤(匡晴)さんにアテレコしてもらったほど辛かった。本番で無事に声が出た時は感無量でした。自分でやってた前説が、これを機に演出助手の担当に(笑)。

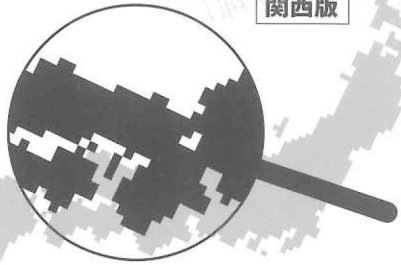


**第3位 第50回**  
(9/25ノゾレ)  
50回記念で、スタッフやお客さんがそれぞれ別途にサプライズを仕込んでくれたんですよ。くす玉や寄せ書き(写真)をいただいたり、励ましの声を集めたCD-Rをくれたり……いい折り返しでした。



# 特搜! エンブスクープ!

関西版



『火曜日のシュウイチ』(100ステージ目)  
作・演出〇サシムタカ 鈴江俊郎(月代わりゲスト) 出演〇坂口修一  
3/25〇In→dependent theatre 1st



**第2位 第97・98回**  
(3/18マチネ&ソワレ)

この日の『ミッド・ナイト・エクスプレス』は、大勢のお客さんが舞台上に上がることで、初めて成立する話だったんです。両方とも20名以上の方が協力してくれて、本当に嬉しかったです。ソワレでは、この3日後の舞台で一緒に絡した「水と油」の小野寺修二さんまで登場(笑)。あと、うちの父親がこの時初めて観に来てくれました。



**第1位 第19回**  
(6/5マチネ)

この月のゲスト作品『傘がない』は、本当に作るのに苦労しましたね。諸事情で突貫工事的に作らざるを得なかった上、なぜか関西弁の台詞が覚えられなくて……あまりの布さに、河原で叫びながら練習したぐらい(笑)。でもここで苦労のピークを迎えたからこそ、残り81回を無事に完走できたという思いがある。だからこれが1位です。



次点 ● **第53回**(10/9マチネ)

『ミッド…』で長台詞をド忘れし、他の登場人物の台詞をでっち上げてなんとかつなぎました。1人芝居の大変さを痛感(笑)。

## 依頼

坂口修一さんの1人舞台『火曜日のシュウイチ』が、ついに100ステージ目の最終回を迎えたそうですね。ぜひレポートよろしくです!



#### 坂口修一

さかぐちしゅういち〇75年生まれ、大阪府出身。97年に劇団TINYTRUTH(タンドリズム)を旗揚げし、02年解散後はフリーの役者として活動。07年4月、毎週火曜日に1人芝居を2ステージ上演する『火曜日のシュウイチ』を開始。他劇団への客演もこなしつつ、今年3月に100ステージを無事完走した。

次回予定〇ファントマ「イエス斬り捨て」5/8～12〇新・ABCホール

「思い出のステージベスト1」に輝いた回のゲスト作家作品「傘がない」のDVDと、ポストカードセットを1名様にプレゼント! 詳細はP88のプレゼント広場で。



蠅男

赤堀雅秋

あがりまきあさき○71年生まれ、千葉県出身。作・演出・俳優。96年劇団THE SHAMPOO HATを旗揚げし、以降全ての作品の作・演出を担当。今もっとも注目を集める演出家の一人。

-----

次回予定○THE SHAMPOO HAT「立川ドライブ」(作・演出)5/29〜6/8◎シアタートラム

目を閉じると、僕の身体の中の無数の昆虫がざわざわと蠢き始めた。左の瞼がピクピクし始めて、皮膚の裏側にアリンコでも侵入したのかと思ひ、指先で押してみたが一向にそのアリンコは死ぬことはなく、次第に増殖し始め、膝の裏側に二匹、手の甲に五匹、肛門の奥におそらく女王アリがピクピクピクピク蠢き始めた。それから二ヶ

得るのだが、僕の身体の中のそれは、何というか、明瞭に具現化出来る代物でもなく、何というか、生まれたてのカンガルーの子供のような肌質で、身体が大きくなってしまったからか異様に動きは愚鈍で、手足があるようにでなく、ましてや爪もなく牙もなく、ただ目だけが印象的で、何というか、落とし穴みたいな陳腐な闇なのだ。

僕は、僕の身体の中のその  
愚鈍な化身をサナギマンと呼ぶ  
ことにした。

分よりも大きな鳥に齒向かうための変態のごとく、アニメならそれは時に零戦にもなり、葉巻を啜えた筋肉の男にも成り

サナギマンに身体を支配されてしまうと、やはり身体は鉛のごとく重くなり、僕はベッドから起き上がることも億劫

で、学校にも行けなくなつてしまふ。ベッドに仰向けになつて、天井を眺め続ける。ふと悪戯に「俺はサナギマンだ」とだみ声で呟いてみたら、あまりも虚しくて、僕はひたすら笑い続け、とりあえずコンビニに行くことにした。昼下がりのコンビニは閑散としていて、店員の姿すらない。雑誌のコーナーに五十過ぎの中年男が一人、いやらしい本に没頭していた。僕も立ち読みをすることにした。オトナのファッション誌に手を伸ばす。ページをめくると白い歯の外国人が犬を散歩していた。ページをめくると和服の日本人が蕎麦を食べていた。次のページ

をめぐった時、ふと何やら視線を感じたので、その方を見ると、いやらしい本の中年男が僕を見ていた。僕は動揺を飲み込み、再びページをめくるが、未だに中年男の視線は僕を舐めまわし、その時僕の脳裏に「スパイ」という言葉が駆け巡った。

そうか。ヤツは俺がサナギマンだいうことを見破ったのだな。

僕の背中に冷たい汗が一筋つと流れ落ちる。

どうする。この危機をどう脱すればいいのだ。

中年男が僕を見つめたまま、いやらしい雑誌を棚に戻す。

僕もオトナのファッション誌

を柵に戻す。

音楽が聞こえる。幼い女が集団で愛を叫んでいる。

次の瞬間、僕は走り出す。中年男は咄嗟のことで身動きが出来なかつたようだ。僕は僕の意に反するスピードの自動ドアを手で強引にこじ開けながら転げるように外に飛び出す。

中年男の緑色の影が背後で揺らめくを感じつつ、僕はひたすら走り続ける。

気が付くと、いつの間にか夜にいた。

歩道橋の上で、僕は「死にたい」と呟いた。あまりにも無意識だったので僕は驚き、周囲を

見回したが、幸運なことに誰も僕には興味はなく、今度は改めて意識的に「死にたい」と呟いてみたら、その声はやはり先程の「死にたい」とは別のそれで、

し書き。僕は試し書きの際には必ず「するめ」なのだ。特に意味はない。意味はないが、やはりこの言葉が最適だという自負はある。

するめ、するめ、するめ、するめ。

た。僕は頭に来てしまい、サナギマンを殺してしまいたいと思  
い、いや今の僕の力ではサナギ

め。  
四色の「するめ」という字を  
書いてみた。

マンを殺すことなんて不可能だ。頭ではわかっているのだが、溢れる気持ちは抑えることが出来ず、僕は、闇雲に己の身体を己の拳で叩きつける。二の腕を、胸を、太ももを、尻を、力いっぱい叩き続ける。

ボールペンのコーナーは飽きたので、僕は再び店内を彷徨う。僕は最終的には文房具屋に逃げることにしている。とにかくここが一番好きなのだ。一番落ち着く場所なのだ。一番優しい場所なのだ。何というか、未来の匂いがした。

死にたくない死にたくない  
死にたくない死にたくない死に  
たくない死にたくない死にた  
くなくない死にたくない死にた  
くない死にたくない。闇雲に叩  
き続けるが、サナギマンの落ど  
し穴のような目が笑っているよ  
うで、吸い込まれそうで、僕も、  
小さく笑うしかない。

未来の匂いがした。

ガラスケースの中の高級な万年筆を眺める。金色、鼈甲、そして黒。僕の心が躍る。いつの日か万年筆を手に入れたら、僕はやはり「するめ」と書くのだろうか。いや、せっかくだから漢字の方がいいのではないか。

「するめ」という字を書いてみた。文房具屋のボールペンの試

「蟹」を書く。実際には書けない。書けないが、漠然と、万年筆



撮影◇スギノユキコ



# 私は「舞台」に立つ!

ヴォイストレーニング、演技基礎などの基礎力をつけながら、様々な演出家や俳優の実技指導を受け、実力、応用力を養い、最後に専任講師の演出で作品をつくり、劇場で発表します。

最終〆切  
5/20  
(火)

## 演劇コース1年間のスケジュール

| 5月<br>May | 6月<br>June | 7月<br>July | 8月<br>August | 9月<br>September | 10月<br>October | 11月<br>November |
|-----------|------------|------------|--------------|-----------------|----------------|-----------------|
|-----------|------------|------------|--------------|-----------------|----------------|-----------------|

### ガイダンス

登校初日は、校舎の使い方や授業についての説明を受けます。これから一年間ともに学ぶ仲間たちと最初のご対面です。



### 基礎講座

ENBUゼミは誰もがゼロから学べる場所。ヴォイストレーニング&ストレッチ、演技基礎など基礎を大切にしたい授業が充実しています。

担当講師

ヴォイストレーニング&ストレッチ／演技基礎：山の手事情社  
台本の読み解き方：板垣恭一  
リーディング：明神慈



### 夏休み

7月に専任講座4名の授業を受講し、希望講師を提出。8月に9月以降の授業を受ける講師を決定します。

### 専任講座

専任講師によるクラス別授業が始まります。クラス内でコミュニケーションと演技の基礎力をより深めていきます。

担当講師 赤堀雅秋、高井浩子、松村武、横山仁一

### ワークショップ講座

現在、最前線で活躍している演出家・俳優による実技授業。本物の迫力を間近で吸収します。

担当講師 青木豪、新井友香、今井朋彦、河原雅彦、近藤良平、志賀廣太郎、永井秀樹、平田オリザ

### 実践講座

これまで学んだことをもとに、3つのスタイルの演劇に挑戦します。

担当講師

ウェルメイド：黒川麻衣  
コメディ：きだつよし／故林広志  
ミュージカル：浅井さやか／田辺茂範

特別講義 以下6名の講義の他、卒業後の進路の参考となる講義などを行います。

#### ケラリーノ・サンドロヴィッチ

劇作家・演出家。93年にNYLON100℃を結成。外部作品への演出など、現在最も多忙を極める演出家の一人。07年には監督映画「グミ・チョコレート」(大槻ケンヂ原作)を公開した。

#### 後藤ひろひと

劇作家・演出家・俳優。89年〜96年まで宝塚歌座長として作、演出、出演をつとめる。97年以降、数々の舞台の脚本を手がける。08年には初の映画原作「(ハコと魔法の絵本」中島哲也監督)を担当した。

#### 成井豊

劇作家・演出家。85年に演劇集団キャラメルボックスを結成、以降現在にいたるまで脚本・演出を担当。脚本、演出を手がける。05年1月「顔」の森に棲む鳥(新橋演舞場)、08年1月「ZO」など、社団法人日本劇団協議会の常任理事を務める。

#### 細川展裕

プロデューサー。株式会社グレッシュ(劇団☆新感線)代表取締役。代表作に07年1月「顔」の森に棲む鳥(新橋演舞場)、08年1月「ZO」など、社団法人日本劇団協議会の常任理事を務める。

#### 宮沢章夫

劇作家・演出家・作家。80年代より演劇活動を開始。90年「遊園地再生意義」を結成。92年「ヒネミ」で岸田戯曲賞を受賞。ここ数年は京都造形芸術大学や早稲田大学、東京大学などで教鞭をとっている。

#### 柳家花緑

87年3月中学卒業後、祖父柳家小三さんに入門。94年戦後最年少の22歳で昇進。03年に結成された「六人の会」のメンバー。舞台での活動めざしく、劇団山の事務所社をはじめ、多くの舞台で活躍中。

オーディション講座

プロダクションの担当者によるオーディションに受かるためのポイントなどの講義。希望者は、講義の後に行為する入所オーディションに参加します。

#### 演劇制作講座

実際に劇団を運営している演劇制作者による講義。劇団運営に必要な知恵や工夫を学びます。

#### 俳優講座

現在、舞台や映像で活躍している俳優を招き、駆け出しの頃から現在のお仕事にいたるまでの話をうかがい、「俳優」という仕事について考えます。

## 卒業後は...

### 劇団を作る!

毎年多くの団体が結成されています。卒業後も公演のチラシを掲示したり、HPなどにて活動予定を紹介しています。

[卒業生が立ち上げた劇団] 劇団、本谷有希子、はえざわ、Oi-SCALE、メタリック農家、SQUASH、バジリコ・F・バジオ、劇26.25団、はなとゆめ、桜田ファミーリア など

### 劇団に入る!

オーディションに合格して、あるいは在校中の実力を認められて多くの卒業生がプロの劇団で活躍しています。

[入団実績] 演劇集団キャラメルボックス、NYLON100℃、青年団、維新派、山の手事情社、東京オレンジ、カムカムミニキーナ、拙者ムニエル、ロリータ男爵 など

### オーディションを受ける!

卒業後の進路先の一つとしてプロダクションを目指す人には、ENBUゼミ生を対象としたオーディションを実施しています。また掲示板などにて随時、集まったオーディション情報を公開しています。

[オーディション実施実績] アミューズ、キューブ、ダックス・ブ

### 冬休み



松村氏による授業



成井氏の講義

### 特別講義

様々な分野で活躍中の表現者たちによるオリジナル講義。表現世界の広さや奥深さを実感できる内容です。

担当講師

ケラリーノ・サンドロヴィッチ、後藤ひろひと、成井豊、細川展裕、宮沢章夫、柳家花緑

### 劇場公演

9月から学んだクラスメイトと専任講師とともに、劇場で公演を行います。



05年赤堀雅秋クラス公演



舞台設備の様子。仕込み1日、本番2日間の音響や照明などのスタッフワークは、プロのスタッフがいます。



いよいよお客さんを迎えての本番直前。開演のギリギリまで講師から細かい確認が行われます。

## 最終説明会、参加無料!

5/11(日)

13:30~  
演劇コース  
事前にご予約を  
お願いします。

## 資料請求は無料!

詳しいパンフレット、申込書一式を無料でお送りします。



[ENBUゼミナール最寄り駅] JR御茶ノ水駅徒歩2分 / 丸の内線御茶ノ水駅徒歩3分 / 千代田線新御茶ノ水駅徒歩3分

## 授業レポート

今回は、2007年度演劇コースの赤堀雅秋クラスと横山仁一クラスの初回の授業に潜入しました!

### 赤堀雅秋 (THE SHAMPOO HAT) クラス



赤堀クラスでは、存在しない「長縄跳び」を、なんと想像だけで跳ぶという課題! 縄を回す人、跳ぶ人、各々の縄のイメージが合致し、全員が縄を跳べた時、思わぬ感動が生まれちゃいました! イメージを共有する事で、見えない何かが見えてくる。そこにお芝居の基本があることを、身をもって体験した生徒たち。「こうしたゲームをどれだけ能動的に楽しむことができるか。それが役者にとって必要な才能」と、生徒に伝えた赤堀さんでした。

### 横山仁一 (東京オレンジ) クラス



横山クラスでは、表現に関する3つのポイントを実践。まずは様々なゲームを通じて「元氣/身体/衝動」を体感。次に、1つのセリフにどんな工夫をしたら言い方や声が変わるだろうというアプローチから「売!」魅力的なキャラクター」というポイント。最後には、順番に誰かの動きを真似し合い、次第にそれをクラス全体に派生させていくことで「仲間/コラボレーション」を実践。横山さんならではの独特な表現へのアプローチに、興味深げな生徒たちでした。

お問い合わせ  
申込先

# ENBUゼミナール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg. tel▶ 03-6895-9802  
fax▶ 03-5281-9339 mail▶ zemi\_info@enbu.co.jp HP▶ http://www.enbu.co.jp/zemi/



# 「監督」「俳優」になる!

最終〆切  
5/20  
(火)

基礎から学び、1年後には自分の作品を映画館で公開!  
自らの可能性を信じるなら、ここに飛び込め!

自分が撮りたい映画を撮れ!

## 映画監督コース

「映画を撮りたい」という共通項を持った仲間と囲まれて過ごす1年、どう過ごすかはアナタ次第。「檸檬のころ」(07)の岩田ユキ監督、びあフィルムフェスティバル2006準グランプリ受賞の市井昌秀監督(「隼」)など、卒業後めざましい活躍を見せる本校OBたちに続くのは、アナタかもしれません!

専任講師

### 昼 富永昌敬 監督

「VICUNAS/ビクーニャ」(02)で水戸短編映像祭グランプリを受賞するなど、自主制作時代からその才能を高く評価され、オダギリジョー・香椎由宇主演「バビリオン山椒魚」(06)で長編デビューを飾る。最新作は「コンナオトナオンナノコ」(07)。

message

僕も学校で映画を勉強したんですけど、結構みっちり学んだので後戻りできなくなっていました。皆さんにも、是非そうしてもらいたいですね。映画以外は先まっ暗だと思っています。

### 夜 古厩智之 監督

「まぶだち」(01)でロッテルダム国際映画祭グランプリ&国際批評家連盟賞受賞。代表作は、長澤まさみ主演「ロボコン」(03)、星野真里主演「さよならみどりちゃん」(04)、上野樹里主演「奈緒子」(08)。「ホームレス中学生」(田村裕原作)が今秋公開予定。

message

「自分は何をやりたいのか」ぼーっとこう思っているだけでは答えは出ません。「自分はどんなお話を語りたいのか」そんな風に具体的な課題を出します。全員に自分の映画を1本、作ってもらいます。とにかく自分をカタチにして行くこと。そいつを目指しましょう。

授業内容

### 5月-7月 基礎講座

- コラボ講座…映像俳優コースとの合同授業。俳優コースの生徒たちをキャスティングし、実際に演出をおこないます。
- 機材・撮影・録音・照明・編集入門…担当するのは最前線で活躍中の講師ばかり。本気の指導で、基礎から丁寧に学べます。

### 9月-2月 専任講座

(ひとり1本卒業制作を完成させることを目指します)

- 企画検討…「自分が本当に撮りたい映画は何か」を講師と一緒に考えていきます。
- 脚本執筆…ひとり1本、講師のアドバイスを受けながら脚本を書き上げます。
- ロケハン・キャスティングなど…クラスの仲間とともに、撮影に向け準備をおこないます。
- 撮影…ひとりひとりが「監督」となり、現場で撮影をおこないます。
- 編集・完成…講師からアドバイスを受け、各自編集作業をおこない、「作品」を完成させます。
- 3月…映画館にて劇場公開!

映画出演で、学内オーディションで、チャンスをつかめ!

## 映像俳優コース

役者が最も成長するのは、現場。だからENBUは現場主義。基礎をひとつとおり学んだあとは、プロの映画監督が生徒たちをキャスティングしてオリジナル映画を作り上げます。大手芸能プロダクション(※)とのパイプも太く、例年ENBU生だけのための、オーディションを実施しています(※2007年度実績:アミューズ、田辺エージェンシー、キューブ、ダックスープ)。

専任講師

### 昼 船橋淳 監督

「BIG RIVER」主な監督映画:「echoes」(01)(海外の映画祭で観客賞などを受賞)「BIG RIVER」(05)(ベルリン映画祭正式招待、オダギリジョー初海外進出作)

message

映画の演技にメソッドはありません。ただ場数を踏んで度胸をつける。それがキャサリン・ハッパバーンであり、ハンフリー・ボガードでした。自意識過剰なアクティングから、泣く子も黙る役者の実存へ。それが行き先です。

### 夜 亀井亨 監督

「病室流れて」主な監督映画:「心中エレジー」(05)(アメリカシネマ・パライダイ映画祭など3つの海外映画祭で最優秀賞受賞)「テレビばかり見てると馬鹿になる」(07)(病室流れて)「08/村上海津主」。

message

「映画」というものの魅力だと僕は思います。その中に楽しみを見出し、遊ぶ。その「映画」という大変な「遊び」を授業の中で皆さんと楽しみながら感じる事が出来れば良いと考えます。

授業内容

### 5月-7月 基礎講座

- 演技基礎…ドラマ「SP」「特命係長 只野仁」出演の近江谷太朗氏、映画「クライマーズ・ハイ」「純喫茶磯辺」出演の矢柴俊博氏から、俳優になるための基礎を学びます。
- ヴォイストレーニング&ストレッチ…役者としての体のあり方を学びます。
- コラボ講座…映画監督コースとの合同授業。監督コースの演出のもと、実際に作品の中で演じてもらいます。
- ワークショップ講座…様々な表現方法について学びます。

### 9月-2月 専任講座

(2本の映画に出演!)

- 専任講座…2〜3ヶ月に渡る専任講師の授業は、演技指導からはじまり、終盤は映画のオーディションを兼ねたものへと発展していきます。毎回が緊張感あふれる勝負の場。キャスティングが完了すると、いよいよ撮影となります。
- 3月…出演した作品は映画館にて劇場公開!

映像俳優コース授業

### ワークショップ講座

俳優として生き残るための在り方は、俳優の数だけある。俳優への丁寧な演出力に定評ある映画監督・熊澤尚人、篠原哲雄の両氏に加え、テレビ、映画で大活躍中の俳優・佐藤二郎氏を講師に迎え、自分の生き残る道を模索してゆきます。



### 熊澤尚人

(映画監督/「ニライカナイからの手紙」)  
香井優主演「ニライカナイからの手紙」(05)、市原隼人・上野樹里主演「虹の女神」(06)といった青春映画の名手。最新作「DIVE!!!」(08/林道都主演)は本年6月公開予定。



### 篠原哲雄

(映画監督/「地下鉄に乗って」)  
山崎まさよし主演「月とキャベツ」(96)での鮮烈デビュー後、「はつ恋」(00)「深呼吸の必要」(04)「地下鉄(外口に乗って)」(06)など、次々ヒットを飛ばす。最新作「山桜」(田中麗奈主演)は5月公開。



### 佐藤二郎

(俳優/「医龍-Team Medical Dragon-」)  
映画「ぐるりのこと。」、ドラマ「医龍-Team Medical Dragon-」など、話題作への出演が相次ぐ人気個性派俳優。ドラマ「恋する日曜日」などで脚本を執筆、初監督作「memo」が3月22日(土)公開と、マルチに活躍中。

映画監督コースと映像俳優コース合同の授業

### コラボレート講座

講師指導のもと、映画監督コース生徒達が、映像俳優コース生徒達が出演する短編作品を制作します。卒業制作へ向け、一気に実践的な力を身につけるチャンスです。

昼間部

### 富樫森

(映画監督)  
竹内結子主演「星に願いを」(03)、市原隼人・小西真奈美主演「天使の卵」(05)などを監督。最新作「あの空をおぼえてる」(08/竹内内聖・水野美紀主演)は4月26日よりロードショー。



「あの空をおぼえてる」  
4月26日(土)よりロードショー

夜間部

### 豊島圭介

(映画監督)  
テレビドラマ「怪談新耳袋」シリーズでデビュー。「劇場版 怪談新耳袋」の一編「視線」(堀北真希主演)や、夏目漱石原作のオムニバス「ユメト夜」の第五夜(市川実日子主演)などで知られる実力派。



「ユメト夜」

### 教養講座

講師陣はENBUゼミだけの豪華ラインナップ。一流中の一流から発せられる熱いメッセージに、耳を傾けてみませんか。

### 「THE 有頂天ホテル」相島一之

俳優。映画「THE 有頂天ホテル」ドラマ「新撰組」舞台「オケビ」など三幸喜作品でおなじみ、邦画界屈指の名バイプレイヤー。

### 「ナビの恋」佐々木史朗

映画プロデューサー。「ガキ帝国」(81)を産み出した生きる伝説。近年の代表作は「ナビの恋」(99)「カナリア」(04)など。

### 「好きだ。」石川寛

CMディレクター・映画監督。監督第2作「好きだ。」(05)がニュー・モントリオール国際映画祭で最優秀監督賞に輝いた。

### 「あしたの、喜多善男」下山天

ディレクター・映画監督。「SHINOBI」(オダギリジョー主演)を監督。久々のテレビドラマ演出作品「あしたの、喜多善男」も好評。

### 「えびボクサー」叶井俊太郎

「アメリカ」の買い付けで一躍有名となった世界的カリスマ映画バイヤー。個性的で幅広い買い付け・宣伝で、注目を浴び続ける。

### 「織われ松子の一生」中島哲也

CMディレクター・映画監督。「下妻物語」(04)「織られ松子の一生」(06)の異才。役所広司主演「バコと魔法の絵本」が公開待機中。

### 「NANA」久保田修

映画プロデューサー。「NANA」(ジョゼと虎と魚たち)「メゾン・ド・ヒミコ」など、プロデュースした映画が次々ヒット。

### 「天然コケッコー」山下敦弘

映画監督。代表作は「リンダリンダリンダ」(05)「松ヶ根乱射事件」(07)「天然コケッコー」(07)。07年報知映画賞最優秀監督賞受賞。

教養講座の様子 ~山下敦弘監督編~

撮影時には、カメラや照明などが極力視界に入らないよう帽子やタオルで完全防備し、俳優の演技しか見えない状態をつくるという山下氏。目の前で演じられる状況を、なるべく嘘だと思わないように捉えるためだといいます。また、「オーディションなどで100%の表現をする俳優はちょっと困ってしまふ。表現することに余白を持っていた、現場でなじむ俳優が好き」だとか。独特の撮影スタイルや、理想の俳優像など、山下氏ならではの独特のセンスが垣間見える濃密な講義でした。



## 自分の作品を映画館で上映してみませんか?

映画監督コースは、自分で監督した作品が!映像俳優コースは、自分が出演した作品が!一般の映画館で公開されます!生徒の皆さんの1年間の集大成を、ひとりでも多くの方に観てもらえるよう、ENBUゼミナールはサポートしています。

### ドロップシネマパーティー

2008年3月22日(土)~4月4日(金) 渋谷Q-AXシネマにて、ドロップシネマパーティー2008が開催されました。生徒たちのご友人・ご家族はもちろん、一般のお客様も大勢ご来場いただき、大盛況のうちに幕を閉じました。



監督作品/「最後のロッカールーム」



田原亮さん  
[映画監督コース]

「技術で劣るお前らはお話で勝負だ。人間味ある作品をつくれ」古原監督の一言から、僕がたどりついたのは、高校時代のサッカー部での実体験でした。上映当日、舞台挨拶の壇上から、Q-AXシネマの客席を見ました。一年前は、あっち側にいたんだ、と思うと感慨深かったです。自分の作品が上映された時は、ちょっと泣いてしまっていました。得られたのは、少しの達成感と多くの反省点。大きなスクリーンを前にした貴重な体験は、僕を次のステップへと進ませてくれそうです。



出演作品/「東京都、レイアウト。」(高橋泉監督)



平野敬子さん  
[映像俳優コース]

「感じる。こうだと自分で勝手に決めつけるな」これが、私がメインで出演した2作品の監督(高橋泉監督、斎藤久志監督)からの共通メッセージでした。やっとその言葉を理解しかけた頃にはもう卒業間近…。完成した作品を劇場の客席で見つめながら、「もっと早くこの感覚を手に入れたかった」と思いました。けれど、ENBUで過ごすことでやっと触れられたその感覚を、これからの役者活動の中でも大切にしていきたいと思っています。

お問い合わせ  
申込先

# ENBUゼミナール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.  
tel▶03-6895-9802 fax▶03-5281-9339  
mail▶zemi\_info@enbu.co.jp  
HP▶http://www.enbu.co.jp/zemi/

資料請求は無料!

詳しいパンフレット、申込書一式を無料でお送りします。  
tel>>>  
03-6895-9802  
e-mail>>>  
zemi\_info@enbu.co.jp

最終説明会、参加無料!

5/11 (日)  
11:00~ 映画監督系コース  
13:30~ 映像俳優コース  
事前にご予約をお願いします。

ENBUゼミナール  
2008年5月生

申込最終締切

お早めのご応募、お待ちしております!

5/20  
(火)



えんぶ  
情報館

2008年5月9日から  
7月10日分を掲載

ゴールデンウィークが終わり金欠だ! 6月は梅雨の季節で鬱陶しい!

そんな、まったくタイミングの悪い中、情報のページをリニューアルいたしました!

なにが変わったかという、一番は主催者の皆さんからの熱いメッセージが多数載っていること、そして小さいながらもイメージビジュアルが付き、ジャンルも少し広がりました。

だからといってお金が増えたり、雨がやむわけではありませんが、お楽しみいただけますと幸いです。

編集担当/白川早良、坂口真人

情報の人

池辺舞子

●「女子」と呼ばれる期間限定の人たちが持つエネルギーや、気持ち悪さ、独特の距離感や、空気感を思いっきりぶちまけます。女の私も気づかなかった「女子」的部分。見るのが恐ろしいけど、その先の得体の知らないパワーも感じます。みんなバラバラだけど怖いほど同じ。のぼせあがるような女子風風にどっぴり浸かってみませんか

女子% (じょしばーせんと) VOL.1  
「Water Cooler」  
作・演出◇池瀬格(smokers) 出演◇矢萩寛子 蓮見理 安藤梨子 池辺舞子 坂本あみ 真田アサミ 戸上恵津子 長尾美代子  
5月23日(金)19:00、24日(土)14:00/19:00、25日(日)14:00  
チケット◇前売り/当日共2500円(日時指定・全席自由)◇中野ウエストエンド

http://www.fullfull.info  
(稽古場日記など随時更新中!)

#### 風琴工房第25回公演 「hg」



●水俣病の原因である水銀の化学記号「Hg」をタイトルに抱いた本作は、1959年当時チッソ付属病院内で行われていた内部研究と、2008年現在の水俣を併せ描きます。取材のために訪れた水俣はとても美しい町でした。稽古の後半には出演者全員で水俣合宿も予定されています。力の入った新作。ぜひいらしてください。(詩森ろば:風琴工房/演出家)

●5/9〜18◎下北沢 ザ・スナリ  
作・演出◇詩森ろば 出演◇篠塚祥司 佐藤賢 金替康博 栗原茂 西山水木  
＜料金＞前売¥3200 当日¥3500(全席指定)ほか  
＜お問合せ＞風琴工房  
03-6809-8933  
http://windyharp.org

#### 虚構の劇団 旗揚げ公演 「グローブ・ジャングル」

●鴻上尚史主宰の新劇団、ついに旗揚げ!出演者は、2年間にわたり合計4回の公開オーディションで選ばれた平均年齢21.7歳の俳優たちです。「芝居がうまくなりたい」という夢と野心を抱えた個性的なメンバーが集まりました。一度しかない「始まり」の目撃者兼立会人として、ぜひ劇場に足をお運びください(虚構の劇団/制作)



●5/10〜25◎シアターグリーン BIG TREE THEATER  
作・演出◇鴻上尚史 出演◇大久保綾乃 小沢道成 小名木美里 小野川晶 杉浦一輝 高橋奈津季 三上陽寿 山崎雄介 渡辺芳博

#### ブラジル 『さよなら また逢う日まで』



●約1年ぶりにブラジルが贈りする本公演は、劇団「MCR」主宰・櫻井智也、フジテレビ系ドラマ「SP」出演の中川智明を客演に迎え、一癖も二癖もある男優たちを中心に、光と影のノワール風苦笑系「悲」劇です。「4年ぶりに再会した仲間たち。それが悪夢のはじまりだった」どうぞ期待ください。(ブラジリー・アン・山田:ブラジル/脚本・演出家)

●5/9〜20◎こまばアゴラ劇場  
脚本・演出◇ブラジリー・アン・山田 出演◇中川智明 西山聡 櫻井智也 辰巳智秋 鎌山幸治 他  
＜料金＞前売¥2500 当日¥2800 ペアチケット¥4000(5/9〜13のみ・要予約)  
＜お問合せ＞ブラジル事務局  
080-5172-8266  
http://www.medianetjapan.com/10/drama\_art/brazil/

#### play unit-fullfull 「ゆんぼーさんが来る」



●「愛」をテーマに、大切な人を亡くした人々の悲喜交々なお話。ほがらかムードが漂う中、残酷な現実が可笑しく悲しいお話です。フルフルらしく、のどかで優しく、ふふふ。と観せします☆アフタートークゲストは、今をときめきMONOの土田英生氏! また、舞台美術WSなど色々と企画しております!ぜひ、ご参加下さいませ!(劇団員・広瀬喜実子)

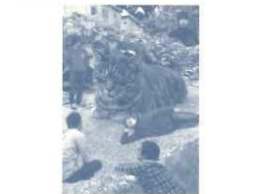
●5/9〜18◎サンモールスタジオ  
作・演出◇ヒロセエリ 出演◇杉木隆幸 広瀬喜実子 勝平ともこ 鹿野良太 小林至 他  
＜料金＞前売¥2600 当日¥2800 前半割引・学割¥2200  
＜お問合せ＞play unit-fullfull  
090-4200-1256

●5/8〜11◎吉祥寺シアター(東京公演)  
原作◇シェクスピア 翻訳◇坪内逍遙 構成・演出◇多田淳之介 出演◇夏目慎也 佐山和泉 永井秀樹 他  
＜料金＞  
前売/予約¥3000 当日¥3500  
東京デスロック 「3人いる!」(第4回スプリングシアター参加)  
●5/24〜25◎神戸アートビレッジセンター KAVCギャラリー(神戸公演)



作・演出◇多田淳之介 出演◇夏目慎也 佐山和泉 岩井秀人  
＜料金＞前売/予約/当日¥2500(日時指定・整理番号付自由席)  
＜お問合せ＞東京死旋  
090-1788-1676  
http://deathlock.specters.net

#### 興味第三回小公演 「Never, Neverland」



●ネバー・ネバーランド/①人々の夢に共通して現れる子供の国。心が美しい者にしか見えない/②満員電車の中にあるちょっとした空きスペース。器が小さい者にしか見えない/③興味第三回小公演。遊園地の話。段々見えてくる。(主宰)

●5/9〜11◎王子小劇場  
作・演出◇足利政紀 出演◇大竹篤中 崎ふく子 藤代和真 佐々木隆志 中込恭史 他  
＜料金＞当日・前売¥1500(全席自由)  
＜お問合せ＞080-2001-8779(興味制作部) http://roo.to/makeaji/

5/22〜23◎兵庫県立芸術文化センター・中ホール  
作・演出◇大宮エリー 出演◇片桐仁 石田ひかり 松村雄基 遠山景織子 山下真司 板尾創路  
＜料金＞東京公演◇¥6900(全席指定)兵庫公演◇A席¥6000 B席¥3000(全席指定)  
＜お問合せ＞ハウフルス03-5411-0855(東京公演)芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255(兵庫公演)  
http://eplus.jp/god/

#### 「日本語を読む 〜リーディング形式による上演」



●優れた日本の戯曲にある言葉の豊かさ、9人の若手演出家が探求する本企画。近・現代の多彩な日本語戯曲の中から、次代を担う演出家たちがそれぞれ一編を選び、日替わりでリーディング形式により上演します。「日本の戯曲」ひいては「日本語」の豊かさを再発見する契機となるでしょう。(世田谷パブリックシアター/広報)

●第1週5/7〜11、第2週5/14〜18、第3週5/21〜25◎シアタートラム  
演出◇今井朋彦 明神慈 桑原裕子 夏井孝裕 広田淳一 扇田拓也 上村聡史 森新太郎 桐山知也  
＜料金＞一般¥2000 学生席(TSSS)¥1000 高校生以下¥1000 3公演セット券¥4500 世田谷区民割引¥1800 劇場友の会会員¥1500  
＜お問合せ＞世田谷パブリックシアターチケットセンター-03-5432-1515

東京デスロック  
unlock#LAST/REBIRTH#1  
「WALTZ MACBETH」  
(第15回ガーディアン・ガーデン演劇フェスティバル参加)  
●今作は2006年に上演した「再生」をベースに坪内逍遙訳の「マクベス」を構成します。欲望、死、をキーワードに、ルールによって物語化された身体による、消費された日常語ではない、演劇としての言葉の獲得を目指します。神戸公演では「3人いる!」を上演します。どちらもどうぞお楽しみに。(多田淳之介:東京デスロック/演出家)

#### 演劇 ↓

##### モダンスイマーズ 「夜光ホテル」



●蓬萊竜太ホーム公演! その独特なタッチで生み出されるドラマはクセになります。しかも今回はドラマ・映画で活躍する萩原聖人が客演。モダンスイマーズはどう立ち向かうのか!? この濃密な「男空間」に、あなたも入り込めてください。特別企画として厳選した4タイトルを特別上映する13〜16日にも注目です!(編集部)

●5/3〜6/1◎下北沢OFF-OFFシアタービデオ上映会(5/13〜16の昼のみ)  
作・演出◇蓬萊竜太 出演◇萩原聖人 古山憲太郎 津村知与支 小椋毅 西條義将  
＜料金＞前売¥3500 当日¥4000(全席指定)/ビデオ上映会 前売¥1000 当日¥1500  
＜お問合せ＞Habanera  
03-5489-3740(平日11:00-18:00)  
info@modernswimmers.com

●チケット情報  
5/21(水)の19:30、2組4名

#### 演劇大宮エリー第一回公演 「GOD DOCTOR」



●多方面で活躍中の大宮エリーが舞台演出に初めて挑みます。世界初の「人間を幸せにする病院」を舞台に人間を幸せにする、という使命を与えられた5人の研修医と患者が繰り上げる。歌あり笑あり涙あり、休憩中も笑いあり! の前代未聞の本作品にご期待ください。(GOD DOCTOR/宣伝スタッフ)

●5/4〜18◎新国立劇場・小劇場、

※チケットプレゼントを希望される方は、巻末ハガキにご希望の公演名をご記入の上ご応募下さい。(チケットは「チケット情報」の記載がある公演のみです。)

# e+STAGE ENBU出張版

チケット・サービスでおなじみe+(イープラス)が、「演劇ぶっく」読者の皆さまに、  
オススメチケットをご紹介 & 読者特別先行予約受付を実施!!  
今回のオススメチケットはコレです!

## 新感線☆RX 「五右衛門ロック」



■作/中島かずき ■演出/いのうえひでのり  
■出演/古田新太 松雪泰子 森山未来 / 江口洋介 / 川平慈英 濱田マリ / 橋本じゅん 高田聖子 栗根まこと / 北大路欣也 / 他

【大阪公演】  
2008年8月8日(金)〜24日(日)  
大阪厚生年金会館大ホール  
チケット一般発売日:6月14日(土)  
※公演日時・料金は下記URL参照

ENBU読者特別先行受付:5月10日(土)12:00〜20日(火)18:00(抽選制)

チケットのお申込みは <http://eplus.jp/enbu/> PC 携帯

## 公演10日前になると手数料0円になる! 新サービス「すぐチケ」!



「すぐチケ」とは……公演日10日前より、e+(イープラス)で予約したチケットの支払・受取方法をセブン-イレブンにすると、全ジャンル・全地域の公演\*が、手数料0円で購入できます(チケット代以外の手数料は一切かかりません)。また、e+(イープラス)が特別にセレクトした一部の公演は、一般発売日初日から「すぐチケ」の対象になります。これからももっとe+(イープラス)をご活用ください!

詳しくは ⇒ <http://eplus.jp/sugu/> PC 携帯



下町ダニーローズ特別公演  
『「あした」～愛の名言集』



●敬愛する大林宣彦監督の映画で新尾道三部作の『あした』を舞台化します。原作は赤川次郎、「午前0時の忘れもの」です。この作品はファンタジーです。私は文学と落語とエンターテインメントが融合した大人が震えるファンタジー、つまり大人が楽しめるファンタジーをつくりたい。いまだかつてない魂に響く芝居『あした』にご期待下さい。(立川志らく)

●6/10～15◎新宿 紀伊國屋ホール  
原作◎赤川次郎 脚色・演出・出演◎立川志らく 出演◎峰岸徹 入江若葉 北原佐和子 森口博子 須藤温子 他  
＜料金＞前売¥5000 当日¥5500(全席指定)  
＜お問合せ＞  
立川企画 03-3754-6811  
info@shiraku.net  
下町ダニーローズウェブサイト  
http://shitamachi-dannyrose.com/

『シリーズ・同時代』



●映像・小説・プロデュース公演など、演劇内外で大きな話題を巻き起こしている現代の若手劇作家と、すでに豊富な経験をもつ演出家とのコラボレーション「シリーズ・同時代」3作品。その世代のギャップから生まれる演劇とは? 演劇ファンならずとも見逃せない、新国立劇場オリジナル企画です。(編集部)

『vol.1 鳥瞰図-ちやうかんず-』  
●6/11～22◎新国立劇場 小劇場  
●6/18終演後、シアタートークあり  
作◎早船聡 演出◎松本祐子 出演◎渡辺美佐子 浅野和之 野村佑香 八田勇一 弘中麻紀 浅野雅博 佐藤銀平 品川徹

『vol.2 混じりあうと、消えること』  
●6/27～7/6◎新国立劇場 小劇場  
●6/28終演後、シアタートークあり  
作◎前田司郎 演出◎白井晃 出演◎園村隼 橋爪遼 初音映莉子 南果歩  
『vol.3 まほろば』  
●7/14～21◎新国立劇場 小劇場  
●7/17終演後、シアタートークあり  
作◎蓬来竜太 演出◎栗山民也 出演◎秋山菜津子 中村たつ 髭涼子 前田亜季 黒沢ともよ 三田和代  
＜料金＞A席¥5250 B席¥3150(全演目共通) Z席¥1500(公演当日のみ) 3作品特別割引通し券(3公演A席セット¥14250)  
＜お問合せ＞  
新国立劇場ボックスオフィス  
03-5352-9999  
http://www.nntt.jac.go.jp

ドラマ・リーディング29  
『醜男(ぶおとこ)』



●同時代の戯曲と幅広く出会いその魅力により深く知る機会をくれるドラマ・リー



●バレエが題材の作品の再演です。思い返せば、映画『ウォーターボーイズ』に触発されたのが初演のきっかけでした。その影響から役者たちを井の頭公園へ連れいき、無理矢理シンクロをさせたりもしました。あの時の衝動を再び胸に、ウォーターボーイズの妻木木君の様に、そしてフラガールの蒼井優ちゃんの様に作・演出◎田辺茂範 出演◎大佐藤崇 斉藤マリ 役者松尾マリヲ 加瀬澤拓未 丹野晶子 他  
＜料金＞前売¥3000 当日¥3300(全席指定リザーブシート)  
＜お問合せ＞  
ロリータ男爵 080-5064-3581

動物電気 2008年初夏公演  
『すすめ!!観光バス』



●今回は旅をテーマに「すすめ!!観光バス」という作品をお届けします。年輩いた両親と30すぎで独身の息子が、すたれたリゾート地を訪れます。この先そんなにいし事が起きそうにない人達の、今だけは、幸せな風景を描いています。大きな笑いと、一瞬の感動めざして、今回も頑張ります。ひとつよろしく願っています。(政岡泰志:動物電気/作・演出家)

●6/6～15◎下北沢駅前劇場  
作・演出◎政岡泰志 出演◎小林健一 辻修 森戸宏明 伊藤美穂 他  
＜料金＞自由席/前売¥3000 当日¥3300 指定席/前売¥3500 当日¥3800 高校生&高齢者割引有り  
＜お問合せ＞  
動物電気 090-1734-4403  
http://www.doubutsu-denki.com/index.html  
●チケット情報/  
6/9-10-11 19:30の各回各2名様

北九州芸術劇場Presents  
『A MIDSUMMER NIGHT'S DREAM』  
～THEじゃなくてAなのが素敵～



●G2が遂にシェイクスピアに手を出した! 「スイング・ロンドンを感じのレトロポップな仕上がりしたい」と豪語した「潤色」ではなく、あくまで自らの「翻訳」にこだわったとどか、出演者も小劇場の怪優たちから元宝塚まで勢揃い! 案外ストレートで、やっぱり奇抜なG2版シェイクスピア。こんなシェイクスピア見たことない!! (G2プロデュース/制作)

●6/7～8◎北九州芸術劇場中劇場、6/13～15◎梅田芸術劇場 シアター・ドラマシティ、6/22～29◎東京芸術劇場中ホール  
翻訳・演出◎G2 出演◎山内圭哉 神田沙也加 掛里咲穂 陰山泰 他  
＜料金＞北九州公演◎前売¥5000 当日¥5500 大阪公演◎前売¥5800 当日¥6000 東京公演◎(S席)前売¥5800 当日¥6000 (A席)前売¥4800 当日¥5000  
＜お問合せ＞

間、東京の喜劇を熱海五郎一座で守ってきた三宅裕司。ゲストに戸田恵子を迎え、これにない豪華メンバーが集結! 笑いのドリームチームを間近でご覧下さい。(伊東四朗一座/制作)



●5/30～6/15◎本多劇場 作◎妹尾匡夫 演出・出演◎伊東四朗 三宅裕司 出演◎戸田恵子 渡辺正行 ラサール石井 小倉久寛 春風亭昇太 東真博  
＜料金＞¥7000(前売・当日共)  
＜お問合せ＞  
アタリ・パフォーマンス  
03-5572-7571(平日12:00～18:00)  
http://www.atari.co.jp/

ワワフラミンゴ  
『長春:ぐあいが悪くてお休み』



●04年初演の「ぐあいが悪くてお休み」を改訂致しました。「長春」のタイトルの通り、ウグイスが囀いて梅が咲くような話です。風がビュービュー吹いて、おかしな人がウロウロするような話です。ファンホールは下北沢の駅か5分ほどです。是非、お気軽においでください。(鳥山サチ:ワワフラミンゴ/作者)

●5/31、6/1、4、7、8◎下北ファインホール  
出演◎北村恵 菊池千里 穴戸円 すどうりえこ ニコ 菅谷和美  
＜料金＞前売・当日共¥1000  
＜お問合せ＞  
ワワフラミンゴ 080-3151-0309  
takota@t.vodafone.ne.jp

『王様とおばさん』  
～Japanese Lady in Hawaii～



●大好評を頂いた「しあわせのつば」から2年、あの優しい涙が帰ってきます。福島三郎最新作「王様とおばさん～Japanese Lady in Hawaii～」。

●作・演出の赤堀雅秋は「津田沼」[その夜の侍]と二年連続しての岸田國士戯曲賞最終選考にノミネート、昨年はグロブ座での、三宅健主演「殺人者」などを経て、久々の客演を招いてのTHE SHAMPOO HATシアタートラムでの新作本公演。是非ともお見逃しなく。(制作/武田亜樹)

●5/29～6/8◎シアタートラム  
作・演出◎赤堀雅秋 出演◎坂井真紀 萩原利映 野中隆光 日比大介 児玉貴志 他  
＜料金＞前売¥3800 当日¥4000  
＜お問合せ＞HOT LIPS  
チケット専用 090-3509-5904  
TEL/FAX 03-5879-8929  
TEL153-0053  
東京都目黒区五本木3-12-12-102  
http://www.shampoohat.com

伊東四朗一座～帰ってきた座長奮闘公演～

『喜劇 俺たちに品格はない』  
●喜劇ファンの熱い要望に応え、最強で“最笑の一座”が帰ってきます。座長は勿論、伊東四朗。番頭は伊東が留守の

ロリータ男爵 本公演  
『プリマ転生 Waltz of the Flowers』

作・演出・出演◎後藤ひろひと 出演◎寺脇康文 手塚とおる 水野真紀 森本亮治 大和田美帆 他  
＜料金＞¥7500(東京・新潟・広島・仙台公演)、S席¥8000 A席¥7000(名古屋公演)、S席¥7500 A席¥5500(大阪公演)、S席¥7500 A席¥6000(福岡公演)、(全席指定・税込)  
＜お問合せ＞  
パルコ劇場  
03-3477-5858  
http://www.parco-play.com



東京ハートブレイカーズ777  
『ソルジャー』



●男性キャストのみでの芝居を音楽にこだわって上演してきた東京ハートブレイカーズ。注目の若手作・演出家を起用し、その新鮮な魅力が好評を得ています。今回は最近成長著しい大岩美智子の書き下ろし。個性溢れる6人が、兵士となって戦わずして舞台上起きる事は…(東京ハートブレイカーズ777/制作)

●5/27～6/1◎シアターグリーンBIG TREE THEATER  
作・演出◎大岩美智子 出演◎石川よしひろ 西川浩幸 池田聡 萩野崇 首藤健祐 高塩誠  
＜料金＞前売¥4000 当日¥4500(全席指定)  
＜お問合せ＞  
Habanera  
03-5489-3740(平日11:00-18:00)  
劇団HP:  
http://www.tokyoheartbreakers.com/  
●チケット情報/  
5/27～29に1組2名様

THE SHAMPOO HAT  
第22回公演  
『立川ドライブ』



●作・演出の赤堀雅秋は「津田沼」[その夜の侍]と二年連続しての岸田國士戯曲賞最終選考にノミネート、昨年はグロブ座での、三宅健主演「殺人者」などを経て、久々の客演を招いてのTHE SHAMPOO HATシアタートラムでの新作本公演。是非ともお見逃しなく。(制作/武田亜樹)

●5/29～6/8◎シアタートラム  
作・演出◎赤堀雅秋 出演◎坂井真紀 萩原利映 野中隆光 日比大介 児玉貴志 他  
＜料金＞前売¥3800 当日¥4000  
＜お問合せ＞HOT LIPS  
チケット専用 090-3509-5904  
TEL/FAX 03-5879-8929  
TEL153-0053  
東京都目黒区五本木3-12-12-102  
http://www.shampoohat.com

伊東四朗一座～帰ってきた座長奮闘公演～

『喜劇 俺たちに品格はない』  
●喜劇ファンの熱い要望に応え、最強で“最笑の一座”が帰ってきます。座長は勿論、伊東四朗。番頭は伊東が留守の

GOVERNMENT OF DOGS  
ガバメント・オブ・ドッグス・コントライブ  
「Refresh!」



●90年代、関西を中心に活動したコントユニット、ガバメント・オブ・ドッグスの11年ぶりのライブです。古くからの観客にはあの頃の「笑わせるの食欲」を思い出してもらいたい、若い世代の観客には「かつてライブに不可欠だった笑いの力」に遭遇してもらいたい、そんな思いで作品作りに取り組みます。ご期待ください。(制作・垣脇純子)

●5/23～25◎新・ABCホール(大阪)、10/17～19◎三鷹市芸術文化センター星のホール(東京)  
台本◎故林広志 出演◎エディ・B・アッチャマン 犬飼若博 水沼健 土田英生 故林広志  
＜料金＞大阪公演◎前売¥3000 当日¥3500 学生¥2500(前売・当日共/全席指定) 東京公演◎前売¥3000円 高校生以下¥1000(前売・当日共)  
＜お問合せ＞  
キューカンバー 075-525-2195  
ガバメント・オブ・ドッグスウェブサイト  
http://governmentofdogs.com/  
●チケット情報/  
5/23(金)19:30の回、3組6名様(大阪公演)

龍昇企画公演  
『夫婦善哉』



●1999年にこまばアゴラ劇場にて初演された、平田オリザ氏書下ろしの「夫婦善哉」の再演です。初演時、各方面で評判をとり、イタリア語にも翻訳された、隠れた名作であり、約10年の歳月を経て、ほぼ初演と同じキャスティングで臨む今回の再演は、俳優達のそれぞれの10年間の(生きること、演じること)に対しての向かい方の深みが提出されることと思われます。演出にはテアトル・エコーの演出家、保科耕一氏を迎え、新たな境地を築くことが出来ればと思っています。(主宰・龍昇)

●5/24～6/1◎こまばアゴラ劇場  
作◎平田オリザ 演出◎保科耕一(テアトル・エコー) 出演◎龍昇 井上加奈子 黒木美奈子 谷風樹 西嶋達矢  
＜料金＞前売¥3500 当日¥3700(税込・全席自由・日時指定なし) 学生¥3000(要事前電話予約)  
＜お問合せ＞予約・問合せ S.T.S  
TEL 03-5272-4393  
FAX 03-5272-5444  
劇団WEBサイト  
http://www.ryusyokikaku.com/  
●チケット情報/  
5/29(木)19:30の回に3名様

PARCO PRODUCE  
『恐竜と隣人のボルカ』  
—K/T BOUNDARY—  
ケー・ティー・バウンダリー

●どこにもあるようなフツの住宅街。仲の良い二軒の家の庭から恐竜の骨が出たことから大紛争に発展! 舞台上にドラマに活躍する寺脇康文を主演に迎え、大主・後藤ひろひとによる爆笑間違えなしのコメディです。(編集部)

●5/24～6/15◎PARCO劇場、6/19◎愛知厚生年金会館、6/26◎新潟市民芸術文化会館(リゅうとびあ)・劇場、6/28◎福岡市民会館、6/30◎広島アステールプラザ大ホール、7/2◎仙台電力ホール、7/4～6◎シアター・ドラマシティ

●5/20◎SANTA HALL(岡山)、5/22◎青少年文化センターホール(名古屋)、5/28～6/2◎銀座博品館劇場(東京)、6月◎福岡・長崎公演  
原作◎松田環 演出・出演◎水木英昭 佐藤浩之 出演◎宮本大誠 高嶺ふぶき 曾我泰久 白土直子 他  
＜料金＞前売¥5000 当日¥5300  
＜お問合せ＞  
水木英昭プロデュース  
http://www.mizu-pro.com/  
衛オレガ 03-6820-9001

ブルドッキングヘッドロックvol.14  
『役に立たないオマエ』



●「スカートが脱がれるためにあるように」放課後の美術室。生徒達は大胆に、あるいは密やかに互いの恥部をさらけ出す。それは思わず見えてしまった女子のスカートの中身のように、グロテスクでシヤッキングで、だけどやっぱりニヤついてしまう光景だ。自らの愚かさにのたう回する若者の姿を、ひっそりと描くこれは喜劇です。(喜安浩平:ブルドッキングヘッドロック/作・演出家・俳優)

●5/22～6/1◎サンモールスタジオ  
作・演出◎喜安浩平 出演◎小島聡 深澤千有紀 三科喜代 西山宏幸 寺井義貴 他  
＜料金＞前売¥3200 当日¥3500(全席指定) ☆平日昼割¥2800(前売・当日共) 学割¥2500(前売)  
＜お問合せ＞ブルドッキングヘッドロック  
080-3526-9587 http://www.bull-japan.com  
●チケット情報/  
5/29(木)19:30、5/30(金)19:30、5/31(土)14:00/19:00、6/7:00の回、各回2名様

●「ヒール入門」のチシ。蛭子能取のイラストがアタリ過ぎる! デザインも(タイトルも)テキストも、でもここまで来ると貰ったテキストとチニールの美しヘナヘナの芯が本通って、安心して笑える、培ってきた個性のテキストな勝利。

●5/24～6/1◎こまばアゴラ劇場  
作◎平田オリザ 演出◎保科耕一(テアトル・エコー) 出演◎龍昇 井上加奈子 黒木美奈子 谷風樹 西嶋達矢  
＜料金＞前売¥3500 当日¥3700(税込・全席自由・日時指定なし) 学生¥3000(要事前電話予約)  
＜お問合せ＞予約・問合せ S.T.S  
TEL 03-5272-4393  
FAX 03-5272-5444  
劇団WEBサイト  
http://www.ryusyokikaku.com/  
●チケット情報/  
5/29(木)19:30の回に3名様

●5/24～6/15◎PARCO劇場、6/19◎愛知厚生年金会館、6/26◎新潟市民芸術文化会館(リゅうとびあ)・劇場、6/28◎福岡市民会館、6/30◎広島アステールプラザ大ホール、7/2◎仙台電力ホール、7/4～6◎シアター・ドラマシティ

今号のチラシ 東

●5/20◎SANTA HALL(岡山)、5/22◎青少年文化センターホール(名古屋)、5/28～6/2◎銀座博品館劇場(東京)、6月◎福岡・長崎公演  
原作◎松田環 演出・出演◎水木英昭 佐藤浩之 出演◎宮本大誠 高嶺ふぶき 曾我泰久 白土直子 他  
＜料金＞前売¥5000 当日¥5300  
＜お問合せ＞  
水木英昭プロデュース  
http://www.mizu-pro.com/  
衛オレガ 03-6820-9001

今年はどうな秘策を携えてやってくるのか? NHK「サリーマンNEO」や「からだであそぼ」でも人気沸騰! 学ラン姿の男たちのロックなダンスに乞うご期待!! (広報担当)



●5/17～18◎彩の国さいたま芸術劇場  
構成・映像・振付・出演◎近藤良平 出演◎青田潤一 石淵聡 オクダサトシ 勝山麻晴 鎌倉道彦 他  
＜料金＞前売 一般¥4000 当日¥4500 学生◎¥2,000  
＜お問合せ＞  
彩の国さいたま芸術劇場  
048-858-5511  
http://www.saf.or.jp/

水木英昭プロデュース  
new wave Vol.6  
『眠れぬ夜の電波ハイジャック』  
～銀座でLAZY MIDNIGHT



●毎回様々な分野から多彩なメンバーを集結させ、独自のエンターテインメントな演劇を展開! 動員数を増やしている水木英昭プロデュース。今回は1997年初演作品の再リメイク版でキャストを大幅に入れ替え、よりパワーアップした新しい作品をお届けする。ステージングには「おしりかじり虫」の振付で話題の南流石を迎える(水木英昭プロデュース制作)

つ芸術劇場うらら大ホール(小松公演)、5/31◎湘南台文化センター(藤沢公演)  
作・演出◎倉持裕 出演◎ともさかりえ 近藤公園 村岡希美 玉置匡匡 六角精児  
＜料金＞前売¥5500 当日¥5800(全席指定)  
＜お問合せ＞  
森崎事務所 03-5475-3436

シーエーティーブロデュース  
『エンバース 燃え尽きぬものら』



●その一室には41年ぶり再会を待つヘンリックと彼の乳母であったニーニが居るだけだ。そこにかつての旧友コンラッドが訪れることから始まる。二人は既に75歳。41年前に起きたある事件の深い謎を明かして。長塚京三、櫻山文枝、益岡徹の競演が光る第一級のミステリードラマ。(江口剛史:シーエーティーブロデュース/プロデューサー)  
●5/15～6/1◎俳優座劇場  
翻訳◎長塚京三 演出◎板垣恭一 出演◎長塚京三 櫻山文枝 益岡徹  
＜料金＞¥7000(全席指定)  
＜お問合せ＞CATチケットBOX  
03-5485-5999  
http://www.stagegate.jp/ (PC&携帯)

コンドルズ  
埼玉スペシャル公演2008  
『大いなる幻影』  
●もはや5月の風物詩、クールで熱いコンドルズがさいたま再上陸。彩の国さいたま芸術劇場を知り尽くしたコンドルズが、

周年)記念ツアーです。(広報担当)



●5/11◎栗東芸術文化会館さくらホール(滋賀)、5/15～17◎京都府立文化芸術会館、5/23～25◎愛知県芸術劇場小ホール、6/5～9◎新・ABCホール(大阪)、6/17◎アステールプラザサホホール(広島)、6/20～21◎イムズホール(福岡)、8/19～25◎あうるすぽっと(東京)  
作・演出◎上田誠 出演◎石田剛太 酒井善史 諏訪雅 中川樹樹 永野宗典 本多力 他  
＜料金＞各々で異なりますので下記までお問い合わせください。  
＜お問合せ＞ヨーロッパ企画  
www.europe-kikaku.com

M&Oplays プロデュース  
『まどろみ』



●繊密な構成と不思議な状況設定で、ミステリー仕立てのドラマを得意とする倉持裕の新作書き下ろし。同じ顔を持つ二人の男と、男の恋人。そこに第三の男が加わり、さらに謎が深まっていく……。あらすじを読んでいるだけで、じんわりと不思議な雰囲気感が伝わってきます。ともさかりえ、近藤公園ほか、魅力的なキャストにも注目。(編集部)

●5/15～25◎あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)、5/29◎こま

＜料金＞前売¥3300 当日¥3500  
＜お問合せ＞  
サードステージ 03-5772-7474  
http://www.thirdstage.com/k

シス・カンパニー公演  
『「嘘の母」』



『「嘘の母」』  
●時代劇というとチャンバラの面白さを想像してしまいがちだが、親子の情愛をヒューマンに描いた作品である。主人公は幼い頃に別れた母をたずねて歩く無宿者、だがその母は豊かな暮らしの中にいる。そんな二人の想いのズレと底に流れる真情を、巧みな会話劇で描き出す長谷川伸の名作。草薙剛と大竹しのぶの初顔合わせを、渡辺えりが演出する。(編集部)

●5/10～6/8◎世田谷パブリックシアター  
作◎長谷川伸 演出◎渡辺えり 出演◎草薙剛 大竹しのぶ 三田和代 篠井英介 他  
＜料金＞S席¥8500 A席¥6500(全席指定)  
＜お問合せ＞シス・カンパニー  
03-5423-5906  
http://www.siscompany.com/

ヨーロッパ企画第26回公演  
『あんなに僕しかったゴレム』  
～やっとな10周年ツア～

●ツアースタートに先駆けて、滋賀県・栗東芸術文化会館さくらにて、5日間の劇場リハーサルを経たプレビュー公演を行い、更に京都府立文化芸術会館に移って3日間の入念なリハーサルを重ねて5月15日に開幕。初日の広島市、2年ぶりの名古屋市を含む全7都市・31公演の「10

東から1枚!

0 1 6

久住昌之

くすみまさゆき◎泉島之(泉晴紀との合作ペンネーム)、Q.B.B.(実弟・卓也との合作)で知られる漫画家。泉島之「善快さんだっ! 完全版」(河出書房文庫)、そして、新装版の「孤独のグルメ」原作:久住昌之/作画:宮口ジロー(扶桑社)、どちらも絶賛売中で、  
http://www.qusumi.com/







# 演劇ぶっく 広告料金表

演劇ぶっくでは、各種広告スペースをご用意させて頂いております。

これまでも「演劇公演のご案内」、「劇団員の募集広告」、「学校・スクールの生徒募集広告」、「稽古スペースのご案内」など効果的な宣伝媒体としてご利用いただいております。

## 広告料金表(税込)

| 掲載面 | スペース   | 色数 | 料金      | サイズ     |
|-----|--------|----|---------|---------|
| 表4  | 1P     | 4  | 577,500 | 275×195 |
| 表2  | 1P     | 4  | 420,000 | 276×187 |
| 本文  | 1P     | 4  | 315,000 | 276×187 |
| 本文  | 1P     | 1  | 210,000 | 276×187 |
| 本文  | タテ1/3P | 4  | 105,000 | 276×55  |
| 本文  | タテ1/3P | 1  | 84,000  | 276×55  |
| 本文  | タテ1/6P | 1  | 52,500  | 130×61  |

etc.....

この他にも用途・目的等に合わせた各種スペースがございます。広告掲載のご検討や詳しい入稿方法など、お気軽にお問い合わせ下さいませ。

## 演劇ぶっく

- 創刊／1986年4月25日
- 発行形態／隔月刊／奇数月9日発売
- 定価／750円(税込み)
- 判型／A4判・平綴じ

演劇ぶっくは、小劇場や新しい演劇の流れを中心に幅広く舞台をとりあげるエンタテインメント・フォト・マガジンです。

## ■お問合せ

〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台2-3  
DH2001Bldg.3F  
演劇ぶっく編集部  
tel:03-5281-9223  
fax:03-5281-9229

## 第53回

# 『伝える伝わる』

おめでとございます!! キャラメルボックスが初めてサンシャイン劇場で公演をしたのが1994年12月の「フリーズドミュージック」、それから「きみがいた時間 ぼくのいく時間」まで14年間で35公演もお世話になっていきます。サンシャイン劇場も、お芝居を始

めた二十代の頃は、その舞台に立てるなんて思いもしなかった場所です。凄いいことだな。サンシャイン劇場は、ロカ大幅改装中です。キャラメルボックスの「グッバイ」きみがいた時間 ぼくのいく時間の千秋楽の翌日から改装工事に入り、やはりキャラメルボックスサマーツアー「嵐」になるまで待つて、リニューアルするのです。歴史のあるサンシャイン劇場の節目に出会えることは、とても幸せなことです。そして、私事ではありますが、きみがいた時間 ぼくのいく時間」2008年4月5日(土)19時の回で、西川浩幸はキャラメルボックス舞台出演通算2500回を迎えました。記録を残すためにお芝居をやっているのではないので、2500という数字には何の思いもありませんが、ひとことづつ積み重ねてこれたのは、一緒に舞台を作ってくれた仲間やスタッフさんのお陰です。そして何よりキャラメルボックスのお芝居を観に来てくださったお客様のお陰です。心から感謝しています。ありがとございませう。

節目節目を大切に、いろんな人に言われた気がするし、そうしなきゃって自分でも思っています。でも、それを実行するには結構なエネルギーが必要ですよ。僕は、仮にも上手にできているとは言えませんが、お誕生日のプレゼントを選ぶのは楽しいけれど、毎年続けていると「今年は何にしよかな?」と悩んでしまうのが現実です。そういうお祝い事を、さらにと上手に実行できる大人になりたいと、この年になって強く思います。今はメールという便利なものがあるお陰で、遠く



にしかわひろゆき◎64年生まれ、埼玉県出身。85年に演劇集団キャラメルボックスに入団。以来看板役者として活躍。

次回予定◎東京ハートプレイカース「ソルジャー」5/27～6/10シアターグリーンBIG TREE THEATER

# 西川浩幸の 素晴らしき2008 ギャグ人生

皆さん、お元気ですか? 新緑の季節ですね。さて、今年の東京の桜は、日本で一番に開花したそうです。別に、それが特別偉いことではありませんが、なんだか春っぽい書きですね。ナンバリー!! 金メダル!! うさぎ!! ししも、今年の桜はお天気の良かった日が続いたせいか、いつもより長い開花しむことができました。お花見の季節つて、日本中がウキウキして喜んでいるんじゃないかって、なんだかとても好きです。お散歩の「人々も増えますしね。桜の季節に、空から日本を眺めてみたいなあ。僕の夢の一つです。さてさて、僕はいま、東京ハートプレイカース公演「ルジャー」の稽古の真っ最中です。同一年の主幹、前藤健祐さんのお誘いで、初めて東京ハートプレイカースに出演することになりました。嬉しい。しかも、公演を行う劇場が池袋シアターグリーンなのです。僕が大学一年生の時に、てあたり、50公演「キャラメルぱらーど」で初舞台を踏んだ思い出の劇場なのです。劇場自体は、改装されて当時とは違った空間になっていますが、23年振りに帰ってこれたことは、感慨深いものがあります。あの頃は、40歳を過ぎてもお芝居をしていられるなんて、思いませんでした。そして、同じ池袋にあるサンシャイン劇場が2008年4月6日で開館30周年を迎えました。おめでとございませう!! キャラメルボックスが初めてサンシャイン劇場で公演をしたのが1994年12月の「フリーズドミュージック」、それから「きみがいた時間 ぼくのいく時間」まで14年間で35公演もお世話になっていきます。サンシャイン劇場も、お芝居を始

めた二十代の頃は、その舞台に立てるなんて思いもしなかった場所です。凄いいことだな。サンシャイン劇場は、ロカ大幅改装中です。キャラメルボックスの「グッバイ」きみがいた時間 ぼくのいく時間の千秋楽の翌日から改装工事に入り、やはりキャラメルボックスサマーツアー「嵐」になるまで待つて、リニューアルするのです。歴史のあるサンシャイン劇場の節目に出会えることは、とても幸せなことです。そして、私事ではありますが、きみがいた時間 ぼくのいく時間」2008年4月5日(土)19時の回で、西川浩幸はキャラメルボックス舞台出演通算2500回を迎えました。記録を残すためにお芝居をやっているのではないので、2500という数字には何の思いもありませんが、ひとことづつ積み重ねてこれたのは、一緒に舞台を作ってくれた仲間やスタッフさんのお陰です。そして何よりキャラメルボックスのお芝居を観に来てくださったお客様のお陰です。心から感謝しています。ありがとございませう。

にいる人とも簡単に連絡を取ることができそうですよね。たとえば「誕生日おめでとう」の一言、たとえば「昨日もありがっつ」の一言、「こんなさい」二元?」「大好き」「会いたいよ」……、一面と向かっているなかなか言いにくい言葉を、瞬で送ることができます。物を贈るだけが気持ちを伝える術ではないのだから、せめてメールで言葉を送る、贈ることが、節目を大事にすることに繋がるかもしれません。僕が使っているPHSのメール受信ボックスには、ずっと長い間、仕事のメールばかりが入っていました。最近になって、仕事のメールよりも、プライベートなメールの方が多くなりました。しかも、ほとんど会えない方からのメールがびゅくりするくらい増えました。手書きの手紙を捨てるのができなかったように、今はそんなメールを削除できなくなっています。これは、嬉しい悩みです。

先日、やつと字を読んだり書いたりするようになった四歳の女の子から、お手紙をもらいました。ひらがなだけで書かれたお手紙には、話し言葉で伝えられたよりも、たくさん気持ちが詰まっているような気がしました。彼女の顔を思い出しながら、たくさん気持ちを想像して、僕のものにもたくさん気持ちを浮かんで、それを口にもすることで、文字にすることで、初めて伝えることができる。心の中は見えないから、見える形に変えて届けるんだ。そう、自分に言い聞かせています。毎日何度も何度も、ではまた再来月、☆☆☆☆優勝しようぜ、浦和レッズ!! ☆☆☆☆

新しいことにチャレンジしたい方。経験問わず。【締め切り】5/16(金)必着 【応募方法】下記の宛先に履歴書・写真2枚(全身・上半身)を締切日までに郵送。HP・携帯・FAX・ハガキにて資料請求が出来ます(5/9まで)。【選考方法】一次審査／書類選考、二次審査／オーディション(実技・面接)

●とことんまで「感動」を追求した練られた脚本。フリを捨て「演じない」事を目的とした自然な表現。そしてそれを実現に導く確かな演技指導をモットーとする。よりレベルの高い演劇活動を目指し、様々な個性、より多くの人材を発掘したいと考えている。また、実力次第ではTV・CM等へも出演のチャンスがあります。

<連絡先>  
〒206-0023 東京都多摩市馬引沢2-15-1-101 ハードレインオープンカフェ「新メンバー募集」E係042-356-2822  
劇団HP  
http://www.hardrainopencafe.com/  
携帯HP  
http://www.hardrainopencafe.com/mobile/

# etc

## 第5回 近松賞 2009 戯曲募集

【応募規定】募集作品は、現代演劇の戯曲とします。【作品内容】近松作品が発揮した演劇の力強さ、深さ、それを生んだ人間把握の新鮮さとの現代的連関を感じさせる作品。【応募資格】一切問いません。【応募内容】日本語によるオリジナルの未発表、未上演の作品に限り、(脚色は不可)○400字詰め原稿用紙(縦書、A4サイズ)、150枚以内とします。○パソコン原稿の場合は、A4サイズに20字×20行(縦書)で150枚以内とします。○読みにくい漢字には必ずルビを付けてください。○【作品の概要、あらすじ】を800字以内にとまとめて、応募作品に添付してください。○他の戯曲、小説、映画などから引用した場合は、その作品名を明記してください。【応募方法】○作品原稿1部のみ【作品名、枚数、氏名(ペンネームがあればカッコ書き)、住所、電話番号、年齢】を明記し、そのコピー2部には、作品名のみの記入してください。(計3部)○送付又は持参してください。○原稿をとし、本文には左下にページ番号をいれてください。○応募作品は一切返却しません。あらかじめコピーをとっておいてください。【賞】受賞作(1篇)一正賞プロデュース及び副賞 300万円(ただし、副賞には出版権料、上演権料、放送権料、税を含みます)【応募期間】平成21年5/1～7/1(当日消印有効)【発表】平成21年11月頃発表します。なお、受賞者には直接通知します。

<ご応募・問合せ先>  
〒660-0881兵庫県尼崎市昭和通2丁目7番16号 尼崎市総合文化センター「近松賞」係  
TEL 06-6487-0818  
FAX 06-6482-3503  
主催 劇団尼崎市総合文化センター／尼崎市

## 激弾SOUL SCRATCH

【募集内容】キャスト・スタッフ【締め切りなど】随時募集中  
●観客の心に爪痕を残す芝居作りをコンセプトとする新劇団を結成につき、旗揚げメンバー募集中。名古屋市内及び近郊在住の方なら、年齢・経歴等不問。興味を持たれた方、是非ご連絡を。<連絡先>  
〒464-0003 愛知県名古屋市中千種区新西2-2-25 エンゼル千種107号  
act-or-die@mopo.jp

## workom

【募集内容】キャスト・スタッフ  
●次回作に向けて募集。皆で自由に世界に通用する迫力ある前衛劇を創っています。現代社会と自己との間にズレを感じてる方、自己表現をしたい方ぜひ。稽古は池袋周辺です。<連絡先>  
〒203-0053東京都東久留米市本町1-3-28TKバウム403号 紫崎

## 劇団「ハードレインオープンカフェ」

【募集内容】新メンバー(劇団員)オーディション【応募資格】18～28才までの男女、プロを目指している方はもちろん、

### We舞台(うえぶたい)

●【募集内容】「わしと共演せーへんか!」(ガネーシャ)新作舞台の出演者をウェブでオーディション!【応募資格】13歳以上なら誰でも応募できます。【詳細】http://transform.jp.msn.com/webtai/すでに自己PRを投稿しよう!【締め切り】5/31

# We舞台

●ハリウッド映画のキャスティングで有名な奈良橋陽子の総合監修、水野敬也のベストセラー「夢をかなえるゾウ」のエッセンスが織り込まれた舞台にマイクロソフトがコラボレーション。最終審査は公演の劇中で行われる。画期的な「We舞台」(うえぶたい)のオーディションの参加者を募集します。最終審査の合格者は、2009年以降にキティフィルムが製作する映画や舞台の出演チャンスが与えられます。<お問合せ>03-3770-2834 We舞台係(受付時間:月曜～金曜 11～19時)

## 早稲田大学演劇研究会 新入会員募集



【応募資格】18歳以上の男女【日程】お試し稽古4/30～6/8 新入稽古6/18～8月下旬【会場】いずれも大塚講堂裏早大劇研アトリエ【時間】14:40～21:30  
●早大劇研では入会希望者を対象とした新人稽古を行います。新人稽古の前にお試し稽古という期間がありますので、まずは気軽に参加してください。稽古内容は身体訓練やゲームやエチュードなど様々です。8月には新人試演会という役者として舞台に立つ公演がありますので本気で芝居をやりたい方、初心者の方、早大生じゃない方でも大歓迎です!【稽古担当・松崎みゆき】<お問合せ>  
http://park.zero.ad.jp/gekiken/

### 劇団創劇舎

【募集内容】劇団員【応募方法】写真(顔1、全身1)、自己PR文、履歴書、80円切手5枚同封の上郵送。  
●稽古優先で来れるプロを目指す方!16才以上(学生可)経験不問。  
<連絡先>  
〒114-0014 北区田端4-3-4サニーハウス田端301 劇団創劇舎劇団員募集係

### 激弾SOUL SCRATCH

【募集内容】キャスト・スタッフ【締め切りなど】随時募集中  
●観客の心に爪痕を残す芝居作りをコンセプトとする新劇団を結成につき、旗揚げメンバー募集中。名古屋市内及び近郊在住の方なら、年齢・経歴等不問。興味を持たれた方、是非ご連絡を。<連絡先>  
〒464-0003 愛知県名古屋市中千種区新西2-2-25 エンゼル千種107号  
act-or-die@mopo.jp

### workom

【募集内容】キャスト・スタッフ  
●次回作に向けて募集。皆で自由に世界に通用する迫力ある前衛劇を創っています。現代社会と自己との間にズレを感じてる方、自己表現をしたい方ぜひ。稽古は池袋周辺です。<連絡先>  
〒203-0053東京都東久留米市本町1-3-28TKバウム403号 紫崎

## 劇団「ハードレインオープンカフェ」

【募集内容】新メンバー(劇団員)オーディション【応募資格】18～28才までの男女、プロを目指している方はもちろん、



「nostalgia」撮影:清水俊洋

●PART1:3/1～8/3◎早稲田大学坪内博士記念演劇博物館3階「現代」コーナー PART2:6/2～8/3◎演劇博物館1階特別展示室 2階企画展示室Ⅱ パフォーマンス5/28◎早稲田大学小野講堂  
<料金>いずれも入場無料  
<お問合せ>  
早稲田大学坪内博士記念演劇博物館03-5286-1829  
http://www.waseda.jp/enpaku/index.html  
維新派公式サイト  
http://www.ishinha.com/

## 「芸能山城組春祭2008」



●第1部は「いのちを癒す」重低音＝バリ島の巨竹交響打楽ジャゴグの演奏。公開20周年となる映画「AKIRA」の曲をはじめ、山城組オリジナル曲などを最新の構成で披露します。第2部は群芸「鳴神」。歌舞伎十八番「鳴神」を日本や世界各地の伝統芸能、最先端の音響・照明などでダイナミックに新構築した人気のスペクタクルです。(芸能山城組／広報・田村)  
●5/24◎なかのZERO大ホール 演出・指揮◎山城祥二 出演◎芸能山城組 祭仲間山城組 舞台進行監修◎金一浩司 照明◎山形多聞 音響◎山本能久  
<料金>前売 S席¥4000 A席¥3000 当日 S席¥5000 A席¥4000  
<お問合せ>  
芸能山城組 03-3366-4741  
http://www.yamashirogumi.jp/

グル魂と一緒にばっぴんばっぴん2日間を! 『グルー魂のばっぴんばっぴんフェスティバル』



●あの奇跡の「大人計画フェスティバル」から早2年。08年6月、グルー魂による野外フェスが開催されます! スチャダラパーや向井秀徳などゲスト陣も豪華。5/21発売のニューアルバムをiPodに入れたら、いざ、お蕎麦の美味しい埼玉県秩父市へ。ばっぴんばっぴん2日間を満喫するために、当日の体調管理や天候対策はお忘れなく。(編集部)

●6/21～22◎秩父ミュージズパーク野外ステージ 出演◎6/21＝向井秀徳アコースティック&エレクトリック JAPAN-狂劇-SPECIAL グルー魂 他。6/22＝スチャダラパー 悠聖天 グルー魂 他  
<料金>前売◎¥6500(全席指定)※3歳以上チケット必要  
<お問い合せ>  
ディスクガレージ 03-5436-9600

# オーディション

自叙伝「病葉流れて」待望のDVD第二章が5/25リリース。心の隙間を埋めるように賭博の魅力に堕ちていく主人公を演じた村上淳は劇場公開時「この映画に出会えたことは大きな節目」と舞台挨拶で語るほどの本作への意気込みは熱い。随ちてゆく…溺れてゆく…夢の果てに。その世界観に酔入! (GPミュージアムソフト／宣伝担当:山本)



●原作◎白川道(『病葉流れて』幻冬舎文庫) 監督◎アランスミシー 出演◎村上 淳 吉野紗香 田中哲司 仁科克基 綾田俊樹 池内博之 洞口依子 坂井真紀 他  
価格◎¥3990(税込) 発売日◎5/25 発売元◎サテライト 販売元◎GPミュージアムソフト

# 本

鴻上尚史の大人気舞台を小説化。『僕たちの好きだった革命』 鴻上尚史・著 ¥1700(税別)  
発行 角川学芸出版 発売 角川グループパブリッシング



●鴻上で。自分で言うのもなんですが力作の小説です。舞台を見て下さった方には、舞台で書き切れなかったエピソードを色々加えたので、楽しめるかと。舞台を見てない方には、とても分かりやすい作品だと思います。堤幸彦監督の原案をもらい、この世に出す意味のある作品を作ろうとしました。ぜひ、読んでみて下さい。(鴻上尚史)

## 「舞台を観る眼」

渡辺保・著 ¥1900(税別)  
発行 角川学芸出版 発売 角川グループパブリッシング



●歌舞伎、ミュージカル、ドラマ、舞踏――。半世紀余りにわたり舞台を見つづけている当代きっての演劇評論家が、研ぎ澄まされた眼で捉えた舞台の華と影。白洲正子をはじめ、折口信夫や三島由紀夫の文学と芸能から、大野一雄の舞踏、シェイクスピア、ミュージカルまで。芸術・文学・人を綴った滋味あふれるエッセイ集です!(編集部担当)

# イベント

### 「維新派という現象」

●PART1では、主に「nostalgia」(07)で実際に使われた小道具や台本を展示。6月からのPART2では、既存の資料を陳列するのではなく、維新派を構成する様々な断片を通して、観る人それぞれの「維新派」をイメージしてもらいたいという意図から、今回用に製作された映像作品や写真を展示予定。今秋、4年ぶり

購入者限定!抽選で3名に古田新太の直筆サイン入りモノマスクが当たる! (初回生産分のBOX商品に貼付の応募シールを官製ハガキに貼ってご応募ください) 特製1フレット(豪華オールスターキャスト対談) 発売元◎読売テレビ キューブ ジェネオン エンタテインメント 販売元◎ジェネオン エンタテインメント

阿佐スバ中山祐一朗出演! 青春ロボットムービー『ROBO☆ROCK』



●デジタルアニメーションの先駆者・GONZOが手掛ける初の実写映画。巨大ロボットが飛び回るこのスリルと感は観た者にしかわからない! (編集部)  
●原案・監督◎須賀大観 脚本◎竹内利光 渡辺雄介 出演◎塩谷瞬 中山祐一朗 美波 他  
価格◎¥4935(税込) 発売・販売◎メディアファクトリー 4/25DVD発売&レンタル同時リリース  
http://www.roborock.jp

古田×ケラのタッグが繰り広げる破天荒ナセンスコメディ! 『犯さん哉』



●最高のコンビ? 最悪の組み合わせ? 「大人の毒氣」と「子供の奔放さ」を併せ持つ2人の中年、ケラリーノ・サンドロヴィッチと古田新太ががつりタッグを組む! 待望の新作は、古田新太演じる「アラタ」の一代記。この「データラメ世界」をDVDで何度も楽しんじゃってください! (発売元 キューブ DVD制作担当)  
作・演出◎ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演◎古田新太 中越典子 犬山イヌコ 藤雄 大倉孝二 八十田勇一 入江雅人 山西惇  
価格◎¥5800(税込) 発売日◎5/21 発売元◎(株)キューブ  
HP http://www.cubeinc.co.jp/

夢かうつつか…。 幻想的空間をもう一度。 劇団黒色綺譚カナリア派公演 『葦ノ籠～アシノカゴ～』



●黒色綺譚カナリア派、初の青山円形劇場作品。AoyamaFirstAct#9「葦ノ籠～アシノカゴ～」 賛否両論を巻き起こした赤澤ムックの異色作が、早くも映像化。円形舞台の周囲を囲む、枯れた葦に観客の視界は遮られた。覗き見るのは、大沢健、下総源太郎ら実力派を迎えた総勢21名で紡がれる、昭和河原悲劇! (黒色綺譚文鳥派／田中)  
作・演出◎赤澤ムック 出演◎大沢健 下総源太郎 堀越涼 真藤ヒロシ 星耕介 宮地大介 伊藤新  
価格◎¥4800 今秋発売予定

果てしなく、あがき続ける… 『病葉流れて』 ●ハードボイルド小説の巨匠・白川道の



劇団EXILE第2回公演

# THE IRON FIST

「CROWN」眠らない、夜の果てに……

制作協力：オール・ユー・ビー  
制作：ネルケプランニング

企画・製作：EDH



2008年5月16日(金)~26日(月) 青山劇場

16 fri 17 sat 18 sun 19 mon 20 tue 21 wed 22 thu 23 fri 24 sat 25 sun 26 mon

料金=S席/9,500円 A席/8,000円 (前売・当日共 全席指定) ※未就学児大人入場不可

【チケット】  
◎キョードー東京/03-3498-9999 ◎電子チケットびあ/0570-02-9999 (Pコード:385-776)  
◎ローソンチケット/0570-084-003 (Lコード:77777) ◎イープラス/http://eplus.jp  
◎CNプレイガイド/0570-08-9999  
※0570から始まるダイヤルはNTTのナビシステムです。  
※PHS一部電話からのご利用が受けませんのでご了承ください。  
【お問い合わせ】  
◎公演に関して：ネルケプランニング/03-5469-5280(平日11:00~18:00) http://www.nelke.co.jp/  
◎チケットに関して：キョードー東京/03-3498-9999 (全日10:00~18:00)

MATSU USA

ゼネラルプロデューサー：HIRO EXILE

音楽：ATSUSHI

脚本・和田憲明  
演出・岡村俊一

石本真樹  
伊藤主桂子  
特原和子  
白川早良  
Art Direction  
釣巻敏康  
Design  
内山絵美  
諸橋聖

千原ジュニア

吉瀬美智子

平沼紀久

小林顕作

天野浩成

秋山真太郎

水野絵梨奈

松本有樹純

黒川恭佑

城戸愛莉

こぐれ修

# FROM HARDERS

暖かくなったかと思えば急に肌寒くなったり雨が降ったり……。そんな気まぐれな春の気候に翻弄されている今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。この号が発売される頃は、すっかり暖かくなっているのかな? 今回もたくさんのおハガキをいただきました。最近では、女性のみならず男性からのハガキも増え、とても嬉しいです。皆様からいただいたいろいろなご意見、ぜひ誌面作りの参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます!

◆昨年の大河ドラマの主演に決まって以来、様々な雑誌に表紙として登場する機会が増えた内野聖陽さんですが、演劇ぶっくでも表紙を飾ってください嬉しいです! インタビューの内容も、写真も良かったです。私は大阪での『ベガーズ・オペラ』を、なんと最前列で観ました! 1年ぶりの舞台での内野さんはかっこよくてセクシーでしたね(笑)。これからの舞台も楽しみです。

(鳥根県 調理員 Pooh)

◆『ベガーズ・オペラ』をステージサイドシートで観ていた僕は、フィナーレで、ミセス・ウィグセン役の泉里沙さんに誘われるまま舞台に進み出てダンスに参加、そして、偶然(奇跡かな!)にも内野さんと手を繋ぐことになったのです。その間、1分程度の出来事でしたが、『風林火山』の山本勘助の力強い握りに感動してしまいました。モチロン舞台は素晴らしい、内野さんの、時にはハードにそしてソフトに変幻自在な演技はヨダレモノでした。

(埼玉県 会社員 おじいちゃん)

◇内野聖陽さんの表紙には、多くの女性ファンからのおハガキが殺到しました。やっぱり超人気者なんですね。『風林火山』で

新しい山本勘助像を作り上げた内野さんですが、今年は舞台でも大活躍です。『ベガーズ・オペラ』は、リピーターが続出し、大盛り上がりだったようです。ステージサイドシートで内野さんと踊れた方、羨ましいです!

◆『えんぶチャート2007』では、俳優チャート、作品チャートともに小林賢太郎さんが一位ということで、大変驚きました。私は受験のため『TAKEOFF』を観に行くことはできませんでしたが、やはり素晴らしいのだなと実感させる結果でした。自分が小林さんと同じ言語を使う人で良かったなあと本当に思います。

(千葉県 大学生 湯けむり殺人)

◇ほかに小林さんファンの方から、喜びのおハガキを多数いただきました。それから、『えんぶチャート』に掲載されている号は必ず買っています」という方、ありがとうございます! 今年はどの作品が、どの俳優さんがランクインされるのでしょうか。編集部員も読者の皆様同様、大変楽しみにしております。

◆『IZO』の舞台レボ、見開きの三三九度の舞台写真を観た瞬間、本当に涙そうでした。森田剛くんや田辺誠一さん、栗根さん・山内さん・池田さんのインタビューも読み応

えがあり、特に山内さんの「とにかく森田くんはホームランを打った」というコメントがとても嬉しかったです。もう以蔵さんには逢えないと淋しい想いをしていましたが、この舞台レボを読んでとても素敵なプレゼントをいただいた気がしました。

(大阪府 OL IZO)

◆『IZO』の見開きの以蔵さんとおミツちゃんの写真にやられました。この2ページだけで、あの素晴らしい舞台が思い出されて、本屋で涙が出そうでした。以蔵さんが指を立てて「2回?」と聞いて、ミツちゃんが「3回」と答えているのが、とても可愛らしく微笑ましいシーンなのですが、この後、涙なんですよ……。インタビューも、森田さんを中心としてくれている皆さんの思いが伝わってきて、すごく嬉しかったです。名セリフが活字で大きく載っているのも嬉しかったです。ありがとうございます!

(兵庫県 医療事務 モモミヨ)

◇『IZO』は、本当に素晴らしい舞台でした。青木豪さんによる切ない物語、いのうえひでのりさんによるスピード感溢れる演出も素晴らしいのですが、やはり以蔵を演じられた

森田剛さんが最高に良かったです。満作の花びらが舞うラストシーンも、切なく美しく、思い出したくなくて泣けてきます……。

◆演ぶが案外、私のような学生さんにも読まれてるんだーとちょっと感動しています。私のような中学生は、お金がなく観たい公演があっても観られず、語りたいのに演劇好きな友達はおらず……で大変ですが、FROMリーダーズを読んで(一方的にですが)友達が増えたような気分です!

(兵庫県 学生 さくら)

◇もはや恒例? またもや中学生の方からおハガキをいただきました。12歳のミカさんから、「4月に『ラ・マンチャの男』を観に行きます! 誰か話す人いないかなあ〜」というおハガキをいただきました。ちなみに、内野さんファンと思いきや82歳の女性の方からも「今回の表紙のヒトは、記事も面白い、写真がとても美しく、楽しみに読みました」というおハガキをいただきました! 下は12歳から上は82歳まで、本当に幅広い方々が演ぶを読んでくださっているんですね。編集部員は感無量です。今号でも皆様からのおハガキをお待ちしています!

## プレゼント 広場!!

巻末のアンケートハガキに、希望するプレゼントをお書きの上お申し込みください。応募者多数の場合は抽選になります。発表は発送をもってかえさせていただきます。締切は5月31日消印有効。どしどし応募ください!!

古田新太サインボラ/1名

取材時は、ちょうど「49日後……」の稽古中だった古田新太さん。稽古終了後にスタジオまで駆けつけてくださり、お疲れのはずなのに丁寧にインタビューに答えてくださいました。スタジオから少し離れた公園での撮影では、満開の桜の下にワイルドな古田さんが立つと、「かっこいい!」という声が思わずスタッフから漏れました。そんな古田新太のボラにサインを入れて1名に。



「傘がない」

DVD&ポストカードセット/1名

In→dependent theatre 1stで一年間にわたり、一人舞台「火曜日のシェイク」を上演した坂口修一。100ステージのなか、坂口自身が「思い出のステージベスト1」と語る、ゲスト作家作品「傘がない」のDVDと、ポストカードセットを1名様にプレゼント!



演劇集団キャラメルボックス

『きみがいた時間』のくく時間』サイン入りフォトブック/1名

P.14~のインタビュー中にある通り、入団期というキャラメル同期にあたるお2人。当時のエピソードを懐かしそうに語る姿が印象的でした。そんな上川隆也と坂口理恵のサインが入ったフォトブックを1名に。

きみがいた時間

Editor  
園田喬  
遠辺敏恵

石本真樹  
伊藤主桂子  
特原和子  
白川早良  
Art Direction  
釣巻敏康  
Design  
内山絵美  
諸橋聖

OFFICIAL HOME PAGE  
http://www.enbu.co.jp

次号8月号は7月9日発売

演劇ぶっく 第23巻 第3号 通巻133号  
2008年5月9日発売  
定価750円(本体価格714円)  
発行人 藤本真佐  
編集人 坂口真一  
発行 デジタルハリウッド株式会社  
編集 演劇ぶっく編集部  
〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台2-3  
DH2001Bldg.3F  
TEL:03-5281-9223  
FAX:03-5281-9229  
E-mail:info@enbu.co.jp  
印刷 株式会社マルス

高橋洋サイン入りパンフ/2名

雄川作品の常連で、公演ごとに後援をいただいていた高橋洋。今回のロングインタビューでも、新しい作品や人との出会いを期待しているようだ。そんな彼の最近の2作品「オセロ」「リア王」のパンフにサインを入れて(希望の順を明記)2名に。



コンドルズ

サイン入り写真集

『第2ボタン コンドルズ写真集1996-2007』&サイン入りTHE CONDORS 1stフルアルバム

「無条件幸福」/1名

コンドルズからは2つ頂きました! 写真集には近藤良平、勝山康晴、小林顕作の3名のサインが、CDには近藤、勝山両氏のサインが入っています。生涯コンドルズファンを貫きます! と宣言出来る方、2セットで1名に。



EXILEサイン入りCD/1名

劇団EXILEとして2回目の公演を打つEXILEのパフォーマーMATSU&USA。よりクオリティの高い舞台作りをファイト満々な2人に、ゼネラルプロデューサーのHIROの応援も力強い。そんな彼らの最新CDにサインを入れて。

TAKARAZUKA



宝塚サイン入りパンフ/1名

雪組の人気男役で、5月~6月にパワホール「凍てついた明日」に主演する星橋かなめ。アウトローという初めての役柄に意欲を燃やしている。その星橋の出演した東京公演のパンフにサインを入れて1名に。



盗盆 釜 茹 上 等  
浜の ん で  
尽きる 真砂 まで  
の 人



企画・製作 /  
VILLAGE

東京公演 プレビュー公演 7月6日(日)  
2008年7月8日(火)~28日(月)  
新宿コマ劇場

【料金/全席指定・税込】S席:12,500円 A席:10,000円 B席:7,500円  
(プレビュー公演) S席:10,000円 A席:7,500円 B席:5,000円

【チケット取扱プレイガイド】

●電子チケットぴあ=0570-02-9999 (Pコード:384-615) / <http://pia.jp/t/goemon-rock/>  
●イー プラス=<http://eplus.jp/goemon/>  
●CNプレイガイド=0570-08-9999 / <http://www.cnplayguide.com/goemon/>  
●ローソンチケット=0570-084-003 (Lコード:30033)・0570-000-407 (オペレーター対応)  
<http://l-tike.com/goemon/>

●新宿コマ劇場=03-3200-2213 (オペレーター対応 9:30~18:00)

【主催】ヴィレッジ 【お問合せ】サンライズプロモーション東京=0570-00-3337 (10:00~19:00)  
<http://www.sunrisetokyo.com/>

大阪公演  
2008年8月8日(金)~24日(日)  
大阪厚生年金会館大ホール

【料金/全席指定・税込】S席:12,500円 A席:10,500円 Z席:6,500円

【チケット取扱プレイガイド】

●電子チケットぴあ=0570-02-9550 (6/14のみ) / 0570-02-9999 (Pコード:384-724) (6/15以降)  
<http://pia.jp/t/goemon-rock/>

●イー プラス=<http://eplus.jp/goemon/>

●CNプレイガイド=0570-03-9911 (6/14のみ) / 0570-08-9999 (6/15以降)  
<http://www.cnplayguide.com/goemon/>

●ローソンチケット=0570-084-658 (6/14のみ)  
0570-084-005 (Lコード:S3667)・0570-000-407 (オペレーター対応) (6/15以降)  
<http://l-tike.com/goemon/>

●阪神プレイガイド(窓口販売のみ)

【主催】関西テレビ放送/サンライズプロモーション大阪  
【お問合せ】キョードーチケットセンター=06-7732-8888 (10:00~19:00)  
<http://www.kyodo-osaka.co.jp/>

SHINKANSEN☆RX GOEMON-ROCK

新感線☆RX『五右衛門ロック』  
作/中島かずき  
演出/いのうえひでのり  
出演/  
古田新太  
松雪泰子  
森山未來  
江口洋介  
川平慈英  
濱田マリ  
橋本じゅん  
高田聖子  
栗根まこと  
北大路欣也

東京公演  
前売発売中!  
大阪公演  
'08年6月14日(土)  
前売開始!!

| 東京 7月 | 6日 | 8日 | 9日 | 10日 | 11日 | 12日 | 13日 | 14日 | 15日 | 16日 | 17日 | 18日 | 19日 | 20日 | 21日 | 22日 | 23日 | 24日 | 25日 | 26日 | 27日 | 28日 |
|-------|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 12:30 | ●  | ●  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   |
| 18:00 | ●  | ●  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   |
| ★     | ★  | ★  | ★  | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   | ★   |

| 大阪 8月 | 8日 | 9日 | 10日 | 11日 | 12日 | 13日 | 14日 | 15日 | 16日 | 17日 | 18日 | 19日 | 20日 | 21日 | 22日 | 23日 | 24日 |
|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 12:30 | ●  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   |
| 13:00 | ●  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   |
| 18:00 | ●  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   |
| 18:30 | ●  | ●  | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   |

「五右衛門ロック」公式HP  
[www.goemon-rock.com](http://www.goemon-rock.com)

